

◆ 杉並区 ◆  
中小企業の景況

令和3年度第1四半期  
(令和3年4～6月)



杉並区産業振興センター

目 次

都内中小企業の景況（令和3年4月～6月期）	1
杉並区内中小企業の景況（令和3年4月～6月期）	2
杉並区内各業種別業況の動きと来期の予想	2
業種別業況の動き（実績）と来期の予想（東京都・杉並区の比較）	4
・ 製造業	6
・ 卸売業	9
・ 小売業	12
・ サービス業	16
・ 建設業	20
・ 不動産業	23
経営者の声	26
日銀短観	27
杉並区と東京都全体の企業倒産、休廃業・解散動向	28
特別調査「中小企業の事業継続について」	30
中小企業景況調査 比較表	33
中小企業景況調査 転記表	37

調査方法・対象と回収状況

- 1 調査機関 一般社団法人東京都信用金庫協会 業務部業務課
- 2 調査方法 信用金庫営業店から企業へ直接面接調査
- 3 調査時期 令和3年4～6月期を対象に令和3年6月上旬に実施
- 4 実施状況 136事業所

※新型コロナウイルス感染拡大にともない、調査にご協力いただけない事業所が多数生じていることから、「調査対象事業所数」及び「未集計事業所数」は把握不能となっております。

[回答事業所数の規模別内訳]

単位：事業所数（％）

	有効回答 事業所数	4人以下	5～9人	10～ 19人	20～ 29人	30～ 39人	40～ 49人	50～ 99人	100～ 199人	200～ 300人
製 造 業	11	2	4	3	0	1	0	1	0	0
卸 売 業	15	9	1	2	2	1	0	0	0	0
小 売 業	33	20	11	2	0	0	0	0	0	0
サ ー ビ ス 業	32	15	7	3	0	3	1	2	1	0
建 設 業	27	10	8	4	3	0	2	0	0	0
不 動 産 業	18	10	4	2	0	2	0	0	0	0
業 種 計	136	66 (48.5)	35 (25.7)	16 (11.8)	5 (3.7)	7 (5.1)	3 (2.2)	3 (2.2)	1 (0.7)	0 (0.0)

判断表 業種別定点指標値

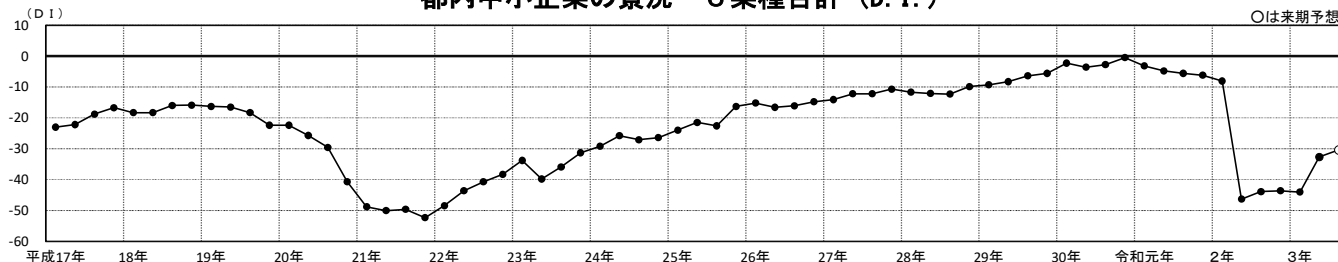
	大きく上昇 A	上 昇 B	やや上昇 C	横ばい D	やや下降 E	下 降 F	大きく下降 G
製 造 業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
卸 売 業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
小 売 業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下
サ ー ビ ス 業	15以上	14～5	4～-5	-6～-15	-16～-25	-26～-35	-36以下
建 設 業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
不 動 産 業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下

好調 ← → 不調

# 都内中小企業の景況（令和3年4月～6月期）

## コロナ第3波の影響も業況悪化踏みとどまる

### 都内中小企業の景況・6業種合計（D.I.）



業況判断DI（季節調整済、「良い」企業割合－「悪い」企業割合）は3度目の緊急事態宣言発令で飲食店関連企業など苦境が続いたが、全体で△32.7（前期は△44.4）と前期に比べ11.3ポイント改善した。全業種で下降幅が縮小したものの、コロナ以前の水準への回復ははまだ見通せない。

来期は、緊急事態宣言解除後の消費拡大や、ワクチン接種拡大により経済活動の正常化が期待され、卸売業・製造業・サービス業・小売業でゆるやかな改善が続くと予想している。一方、資材高騰の影響を受ける建設業・不動産業は足踏み状態と見ている。

	前期	今期	増減	来期予想	今期との増減
製造業	-50.2	-37.8	12.4	-33.7	4.1
卸売業	-46.9	-38.2	8.7	-33.7	4.5
小売業	-50.2	-42.2	8.0	-40.3	1.9
サービス業	-45.7	-35.8	9.9	-33.4	2.4
建設業	-27.3	-9.8	17.5	-11.4	-1.6
不動産業	-23.4	-12.5	10.9	-13.5	-1.0
総合	-44.0	-32.7	11.3	-30.4	2.3

※前期(令和3年1～3月)

来期(令和3年7～9月)

#### <製造業>

世界的なデジタル化に伴う需要の拡大により精密機械を中心に業況は改善し、9期連続していた悪化傾向から持ち直しの動きが見られた。売上額・受注残・収益においても減少・減益幅を縮小させた。価格面では、販売価格はわずかに持ち直し、原材料価格は資材の不足や仕入値の高騰を受けて上昇傾向を強めた。資金繰りは厳しさが和らいだものの、原材料在庫については前期並の不足感が続いている。

来期の業況は、水面下ながらわずかに改善し、持ち直しの動きを続けると見ており、売上額・受注残・収益も減少度を弱めると予想している。価格面では販売価格、原材料価格はともに今期並の水準で推移すると見ている。

#### <卸売業>

世界的な半導体需要が追い風となり機械器具を中心に改善し、業況は水面下ながら回復の動きが進んだ。売上額・収益についても改善傾向が続いている。価格面では販売価格の下降傾向が一服し、仕入価格は上昇を強めた。

来期の業況は、ゆるやかな回復を進めると予想しており、売上額・収益ともに改善すると見ている。価格面では販売価格、仕入価格は今期同様の水準で推移すると予想している。

#### <小売業>

業況は、家電・燃料・食料品等生活需要品類を中心に改善し、悪化幅を縮小させた。売上額・収益についても持ち直した。価格面では、販売価格は厳しさが和らぎ、仕入価格は厳しい状況に転じた。

来期の業況は、変異ウイルスの拡大懸念等、消費行動に及ぼす影響が不透明なこともあり、回復速度は遅く今期並に推移すると予想している。売上額・収益はやや改善し、厳しさが和らぐと予想している。価格面では販売価格・仕入価格ともに変動なく推移すると見ている。

#### <サービス業>

娯楽・サービス・観光では緊急事態宣言の再発令に伴う一部活動自粛要請により痛手を受けたものの、影響範囲は限定的となり、業況は全体的に改善が見られた。売上額・収益においても悪化に歯止めがかり水面下ながら回復した。価格面では料金価格は前期同様の低下基調が続き、材料価格はわずかながら上昇し厳しさを強めた。資金繰りは水面下ながら改善が見られた。

来期の業況は、ワクチン効果を期待しながらの状態と今期同様の水準で推移し、売上額・収益は緩やかな改善が続くと予想している。価格面では料金価格・材料価格ともに変化なく推移すると予想している。

#### <建設業>

業況は続いてきた足踏み状態から改善が見られた。売上額・受注残・施工高・収益の減少幅も縮小された。価格面では請負価格は下降傾向が一服し、材料価格は世界的な木材価格高騰等の煽りを受けて上昇を強めた。

来期の業況は、今期並に推移すると予想している。売上額・受注残・施工高・収益についても今期同様の水準が続くと見ている。価格面では木材などの建築用資材不足による価格高騰が懸念されるものの、請負価格・材料価格ともに今期並で推移すると予想している。

#### <不動産業>

停滞していた業況は改善が見られた。売上額・収益についても減少幅が縮小された。価格面では、販売価格が好転したものの、建築資材の需要の高まりを受けて、仕入価格は上昇傾向を強めた。資金繰りは厳しさが和らいだ。

来期の業況は、売上額・収益ともに今期並に推移すると予想している。価格面では、販売価格は今期同様に変動がないものの、仕入価格はわずかに落ち着きを取り戻すと見ている。

（一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ）

#### [注]

○D. I (Diffusion Indexの略)

D. I (ディーアイ) は、増加（又は「上昇」「楽」など）したと答えた企業割合から、減少（又は「下降」「苦しい」など）したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

○D. I. (季節調整済)

季節調整済とは、各期ごとに季節的な変動を繰り返すD. I を過去5年間まで遡って季節的な変動を除去して加工したD. I 値です。修正値ともいいます。

○傾向値

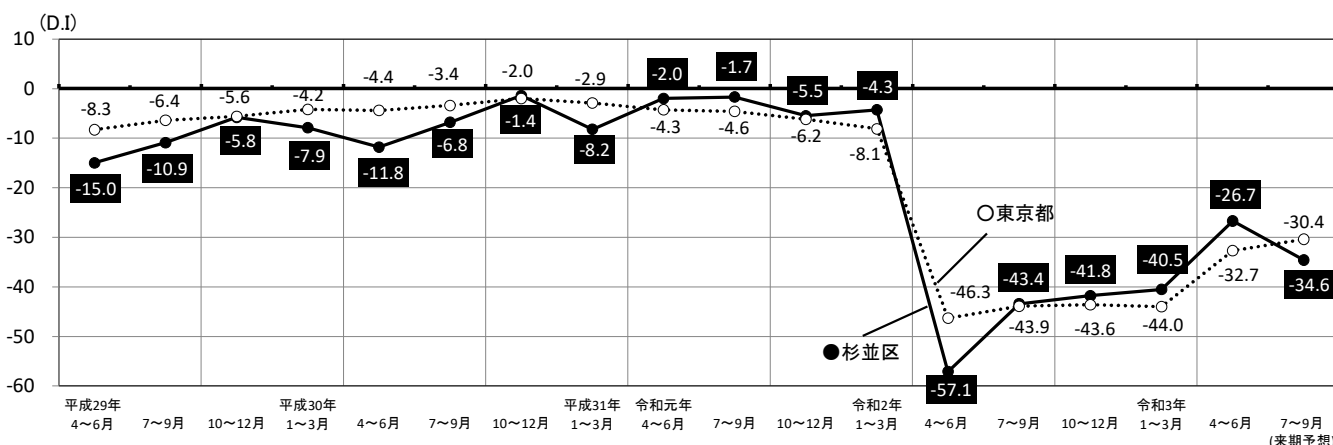
傾向値は、季節変動の大きな業種（例えば小売業）ほど有効で、過去の推移を一層なめらかにして景気の方角をみる方法です。

## 杉並区内中小企業の景況（令和3年4月～6月期）

業況判断D.I.（季節調整済、「良い」企業割合－「悪い」企業割合）は-26.7と前期（令和3年1月～3月）の-40.5に比べ13.8ポイント上昇した。業種別に見ると、建設業と不動産業は厳しさが大幅に弱まり、製造業と卸売業は厳しい状況ながらもかなり持ち直した。小売業とサービス業は前期同様の厳しさが推移した。

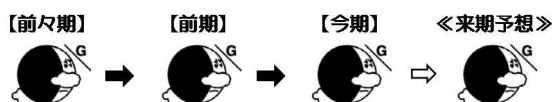
4期前のコロナショックで全業種が大幅に低迷して以降、目立った改善がなかったが、今期は不動産業がプラスに転じ、建設業は極端に持ち直して明るさが見えてきた。

来期（令和3年7月～9月）は悪化幅が強まると予想されている。業種別に見ると、製造業は厳しさが大きく和らぎ、卸売業と小売業はかなり悪化幅が強まると予想されている。サービス業と不動産業はほぼ横ばいで推移し、建設業は再び悪化が極端に強まると見込まれている。



## 杉並区内各業種別業況の動きと来期の予想

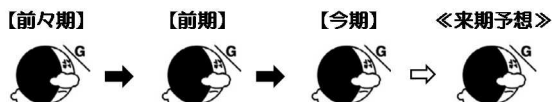
### 製造業



業況は厳しい状況ながらもかなり持ち直した。売上額、受注残、収益はともに減少・減益傾向が非常に大きく改善した。販売価格は前期同様の減少幅で推移したが、原材料価格は上昇に転じて厳しさが現れた。原材料在庫は過剰感が改善され、適正水準となった。

来期の見通しについて、業況は今期に続いて改善傾向が進むと見込まれている。売上額と受注残は今期並の水準で推移するが、収益は減少幅がかなり縮小すると予想している。

### 卸売業

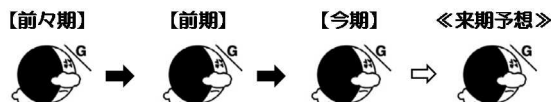


業況は厳しい状況ながらもかなり持ち直した。売上額は減少傾向が極端に和らぎ、収益も減益幅が大きく縮小した。

販売価格は下降がかなり縮小し、仕入価格は上昇傾向が多少弱まった。在庫は不足感が解消され適正範囲となった。

来期の見通しについて、業況は再び悪化傾向が強まると見込まれているが、売上額と収益はともに減少・減益幅が大幅に改善されると予想されている。

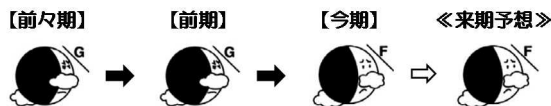
## 小売業



業況は前期同様の厳しさが続いた。売上額は減少傾向が大幅に弱まり、収益も減益幅が改善してきている。販売価格は下降傾向が一服したが、仕入価格は更に上昇し厳しさが増した。在庫は過剰感がかなり強まった。

来期の見通しについて、業況は再び悪化傾向が強まると見込まれているが、売上額と収益は今期並の減少・減益幅で推移すると予想されている。

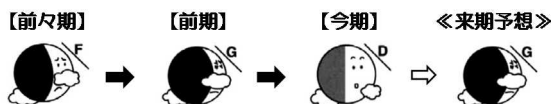
## サービス業



業況は前期同様の厳しさが続いた。売上額と収益はともに減少・減益幅が幾分縮小した。料金価格は減少傾向が大きく和らいだ。材料価格は上昇が多少強まった。

来期の見通しについて、業況は悪化傾向がわずかに弱まると見込まれており、売上額と収益はともに大幅に改善すると予想されている。

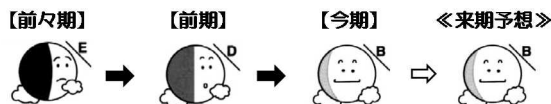
## 建設業



業況は極端に持ち直して明るさが見えた。売上額と収益は減少・減益幅が非常に大きく縮小し、受注残と施工高も極端に改善しわずかに増勢に転じた。請負価格は下降傾向が一服し、材料価格は上昇が弱まり落ち着きを見せた。在庫は前期同様の不足感で推移した。

来期の見通しについて、業況は再び悪化傾向を極端に強めると見込まれている。売上額と収益は減少・減益幅がかなり拡大し、受注残と施工高は下降に大きく転じると予想している。

## 不動産業

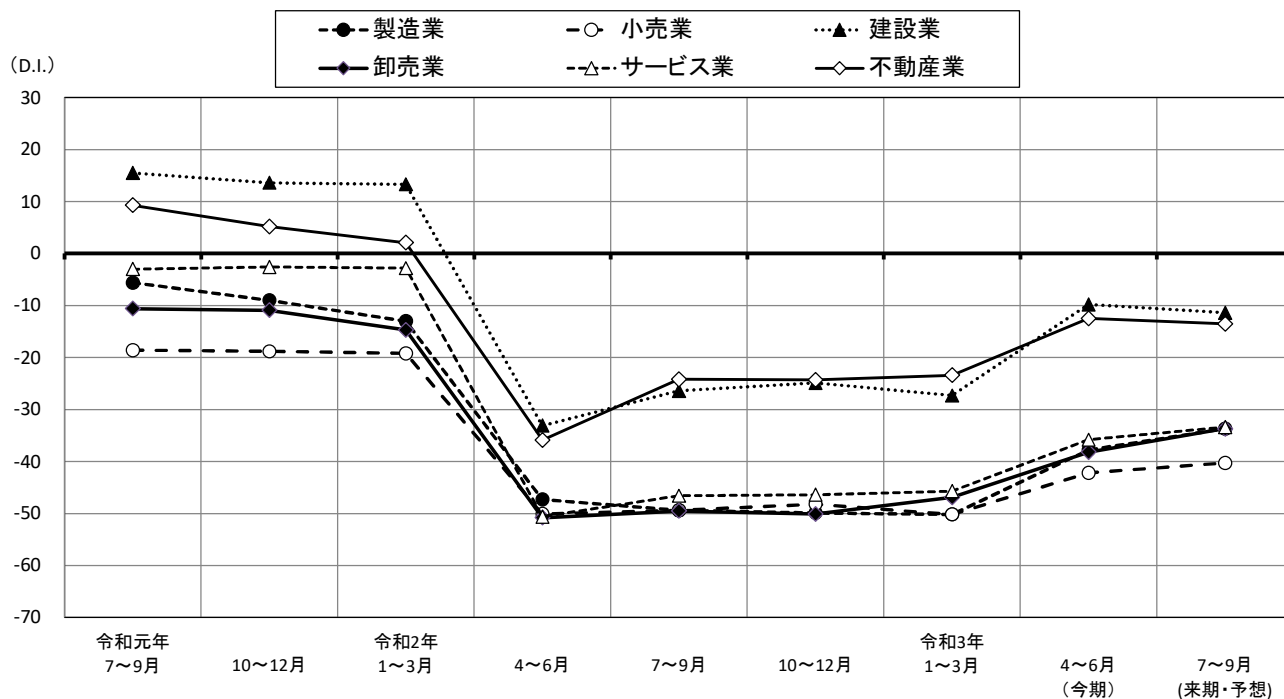


業況は大幅に改善しプラスに転じた。売上額は再び減少傾向を大きく強めたが、収益は前期並の厳しさを推移した。販売価格は厳しさが一服したが、仕入価格は大幅に上昇し厳しい状況に転じた。在庫は不足感がかなり増した。

来期の見通しについて、業況は今期同様の落ち着いた水準が続くと見込まれているが、売上額と収益は減少・減益傾向が大幅に改善されると予想している。

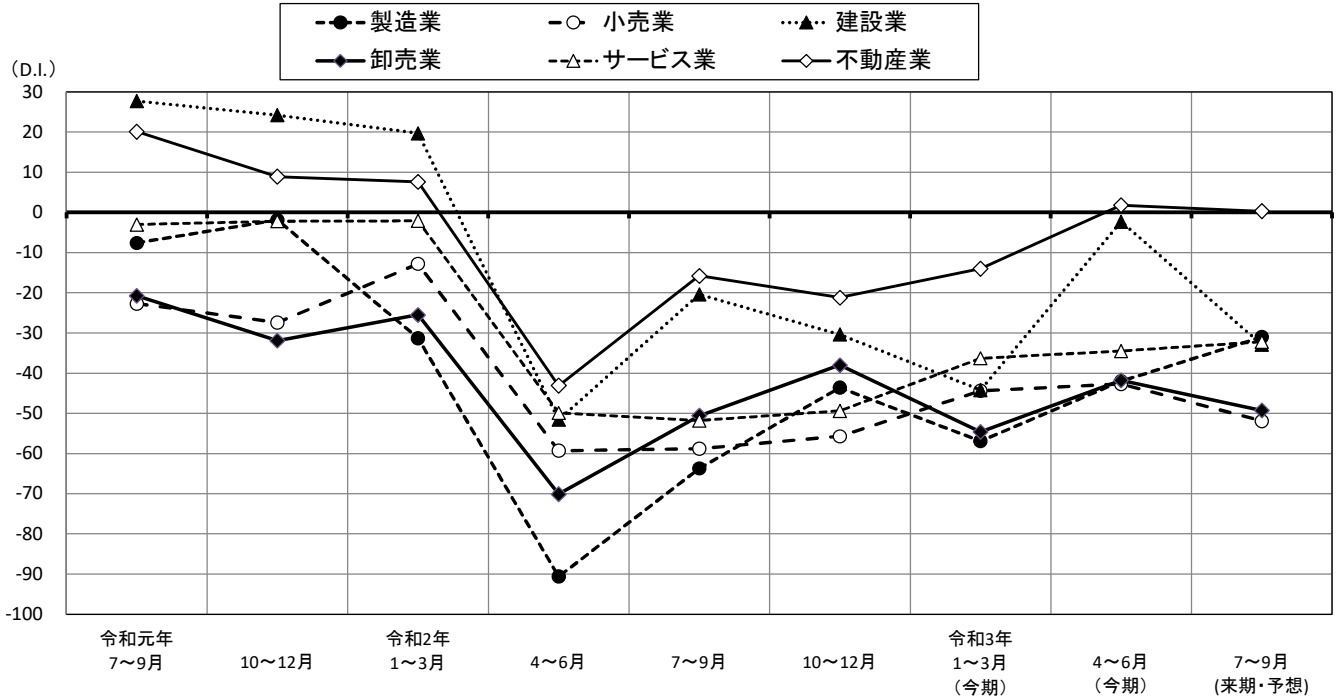
業種別業況の動き(実績)と来期の予想(東京都・杉並区の比較)

東京都



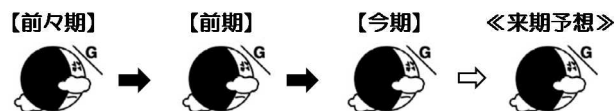
	令和元年 7~9月	令和元年 10~12月	令和2年 1~3月	令和2年 4~6月	令和2年 7~9月	令和2年 10~12月	令和3年 1~3月	令和3年 4~6月 (今期)	前期からの増減	令和3年 7~9月 (来期・予想)	今期からの増減
製造業	-5.6	-9.0	-13.0	-47.3	-49.4	-49.9	-50.2	-37.8	12.4	-33.7	4.1
卸売業	-10.6	-10.9	-14.7	-50.8	-49.5	-50.1	-46.9	-38.2	8.7	-33.7	4.5
小売業	-18.6	-18.8	-19.2	-50.1	-49.4	-48.2	-50.2	-42.2	8.0	-40.3	1.9
サービス業	-3.0	-2.6	-2.8	-50.6	-46.6	-46.4	-45.7	-35.8	9.9	-33.4	2.4
建設業	15.5	13.6	13.3	-33.1	-26.4	-24.9	-27.3	-9.8	17.5	-11.4	-1.6
不動産業	9.3	5.2	2.1	-35.9	-24.2	-24.3	-23.4	-12.5	10.9	-13.5	-1.0
総合	-4.6	-6.2	-8.1	-46.3	-43.9	-43.6	-44.0	-32.7	11.3	-30.4	2.3

# 杉並区



	令和元年 7~9月	10~12月	令和2年 1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	令和3年 1~3月	4~6月 (今期)	前期からの増減	7~9月 (来期・予想)	今期からの増減
製造業	-7.6	-1.9	-31.3	-90.6	-63.7	-43.6	-56.9	-42.0	14.9	-31.0	11.0
卸売業	-20.8	-31.9	-25.5	-70.1	-50.6	-38.0	-54.6	-41.8	12.8	-49.3	-7.5
小売業	-22.7	-27.4	-12.8	-59.3	-58.8	-55.7	-44.4	-42.7	1.7	-51.9	-9.2
サービス業	-3.0	-2.2	-2.1	-49.9	-51.8	-49.4	-36.3	-34.5	1.8	-32.2	2.3
建設業	27.7	24.2	19.7	-51.6	-20.4	-30.4	-44.2	-2.3	41.9	-32.9	-30.6
不動産業	20.1	8.9	7.6	-43.1	-15.8	-21.2	-14.0	1.8	15.8	0.3	-1.5
総合	-1.7	-5.5	-4.3	-57.1	-43.4	-41.8	-40.5	-26.7	13.8	-34.6	-7.9

# 製 造 業



注：コメント中の ( ) 内の D. I. 値は (前々期→前期→今期) となっている。

## 業 況

業況 ( $\Delta 43.6 \rightarrow \Delta 56.9 \rightarrow \Delta 42.0$ ) は厳しい状況ながらもかなり持ち直した。

## 売上額・収益・受注残

売上額 ( $\Delta 53.7 \rightarrow \Delta 55.5 \rightarrow \Delta 32.1$ )、受注残 ( $\Delta 60.8 \rightarrow \Delta 65.1 \rightarrow \Delta 42.5$ )、収益 ( $\Delta 52.1 \rightarrow \Delta 57.5 \rightarrow \Delta 34.4$ ) はともに減少・減益傾向が非常に大きく改善した。

## 価格・原材料在庫動向

販売価格 ( $\Delta 7.8 \rightarrow \Delta 7.9 \rightarrow \Delta 8.6$ ) は前期同様の減少幅で推移したが、原材料価格 ( $1.1 \rightarrow \Delta 1.8 \rightarrow 2.5$ ) は上昇に転じて厳しさが現れた。

原材料在庫 ( $\Delta 9.0 \rightarrow 7.6 \rightarrow 1.1$ ) は過剰感が改善され、適正水準となった。

## 資金繰り・借入難易度・設備投資動向

資金繰り ( $\Delta 13.7 \rightarrow \Delta 8.8 \rightarrow 6.8$ ) は大幅に改善され容易な状況となった。借入難易度 ( $11.1 \rightarrow 20.0 \rightarrow 20.0$ ) は前期同様の楽な状態が続いた。

設備投資を「実施した」企業 ( $18.2\% \rightarrow 9.1\% \rightarrow 9.1\%$ ) は前期から増減なく推移した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」(72.7%) が今期も最多となり、以下「利幅の縮小」(45.5%)、「大手企業との競争の激化」と「同業者間の競争の激化」(各27.3%)、「原材料高」と「工場・機械の狭小・老朽化」、「販売納入先からの値下げ要請」(各9.1%) の順であった。

重点経営施策では、「販路を広げる」(100.0%) が全企業が挙げて今期も最多となった。以下は「経費を節減する」(63.6%)、「提携先を見つける」(18.2%)、「人材を確保する」、「工場・機械を増設・移転する」、「新製品・技術を開発する」、「情報力を強化する」、「教育訓練を強化する」(各9.1%) の順であった。

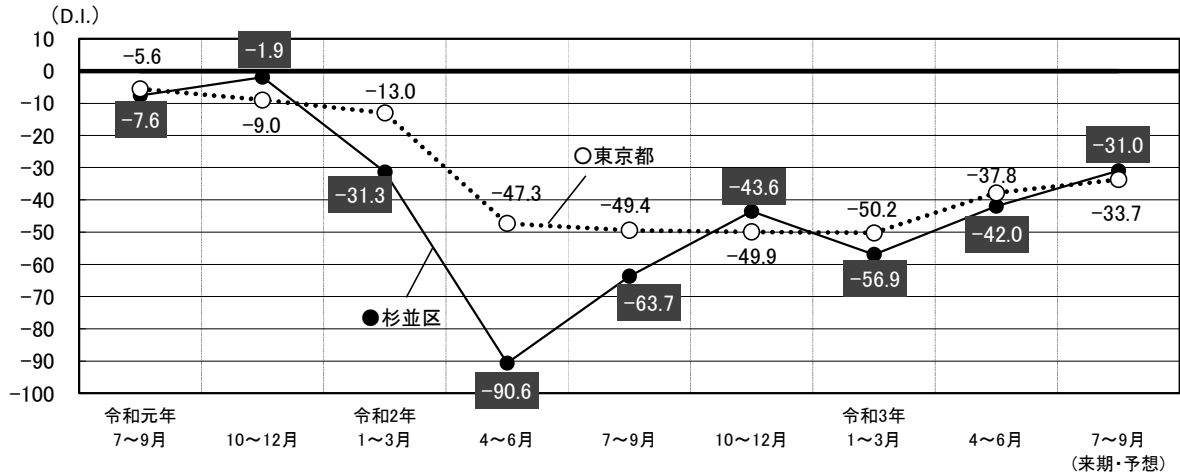
## 来 期 の 見 通 し

来期の見通しについて、業況 ( $\Delta 31.0$  予想) は今期に続いて改善傾向が進むと見込まれている。売上額 ( $\Delta 31.7$  予想) と受注残 ( $\Delta 43.2$  予想) は今期並の水準で推移するが、収益 ( $\Delta 27.1$  予想) は減少幅がかなり縮小すると予想している。

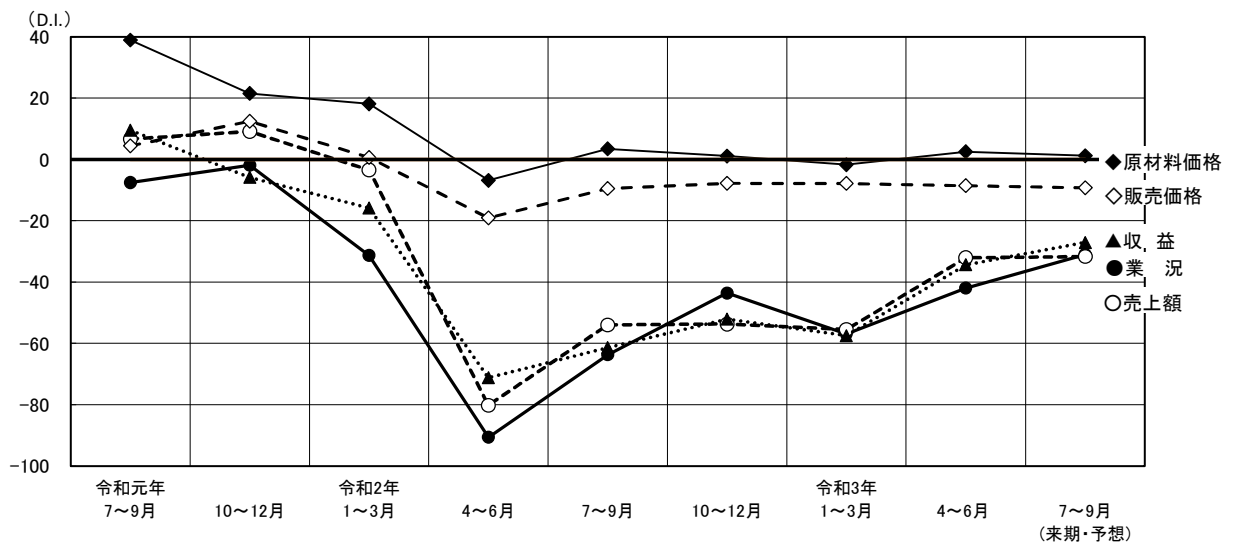
価格面では、販売価格 ( $\Delta 9.3$  予想) は今期並の下降幅が続き、原材料価格 (1.2 予想) は今期同様の停滞水準で推移すると予想している。



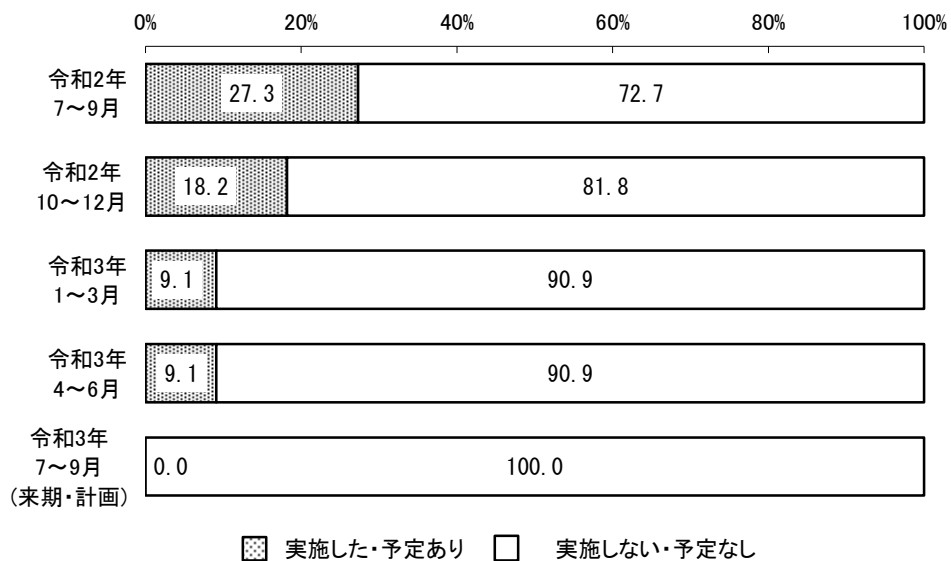
## 【製造業】杉並区と東京都全体の業況の動き（実績）と来期の予想



## 業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予想

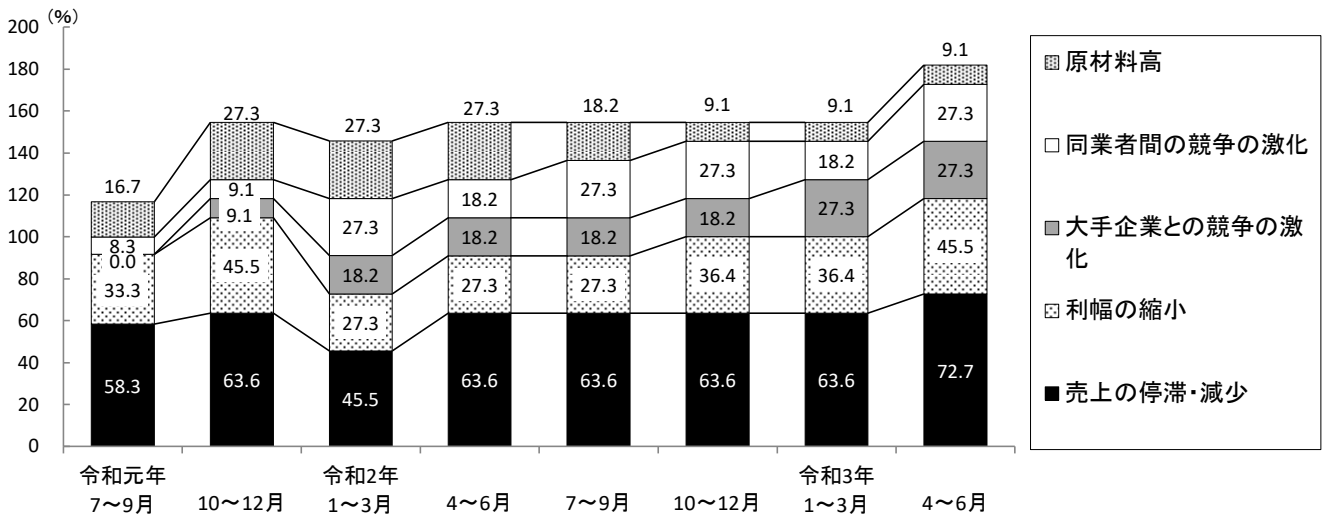


## 設備投資動向



## 経営上の問題点

(複数回答)

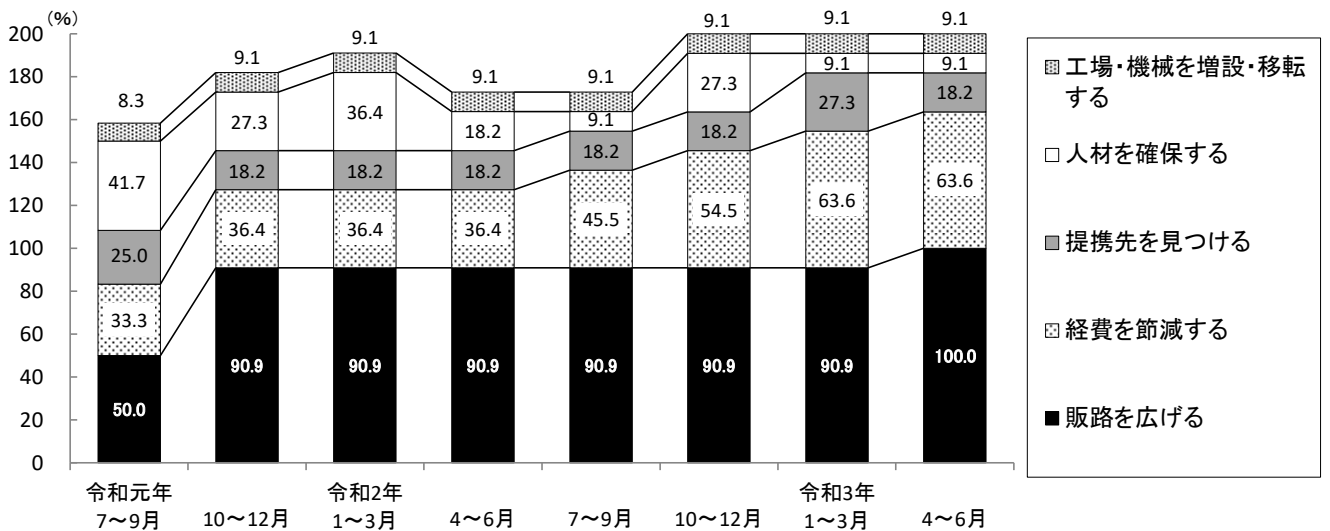


(注:今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和2年7~9月期		令和2年10~12月期		令和3年1~3月期		令和3年4~6月期	
売上の停滞・減少	63.6%	売上の停滞・減少	63.6%	売上の停滞・減少	63.6%	売上の停滞・減少	72.7%
同業者間の競争の激化	27.3%	利幅の縮小	36.4%	利幅の縮小	36.4%	利幅の縮小	45.5%
利幅の縮小		同業者間の競争の激化	27.3%	大手企業との競争の激化	27.3%	大手企業との競争の激化	27.3%
大手企業との競争の激化	18.2%	人手不足 大手企業との競争の激化	18.2%	同業者間の競争の激化	18.2%	同業者間の競争の激化	27.3%
原材料高				原材料高 工場・機械の狭小・老朽化 販売納入先からの値下げ要請	9.1%	原材料高 工場・機械の狭小・老朽化 販売納入先からの値下げ要請	

## 重点経営施策

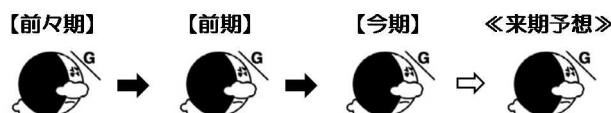
(複数回答)



(注:今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和2年7~9月期		令和2年10~12月期		令和3年1~3月期		令和3年4~6月期	
販路を広げる	90.9%	販路を広げる	90.9%	販路を広げる	90.9%	販路を広げる	100.0%
経費を節減する	45.5%	経費を節減する	54.5%	経費を節減する	63.6%	経費を節減する	63.6%
提携先を見つける 新製品・技術を開発する	18.2%	人材を確保する	27.3%	提携先を見つける	27.3%	提携先を見つける	18.2%
人材を確保する 工場・機械を増設・移転する 情報力を強化する	9.1%	提携先を見つける	18.2%	人材を確保する 工場・機械を増設・移転する 新製品・技術を開発する 情報力を強化する	9.1%	人材を確保する 工場・機械を増設・移転する 新製品・技術を開発する 情報力を強化する 教育訓練を強化する	9.1%
		工場・機械を増設・移転する 機械化を推進する	9.1%				

# 卸 売 業



注：コメント中の ( ) 内の D. I. 値は (前々期→前期→今期) となっている。

## 業 況

業況 ( $\Delta 38.0 \rightarrow \Delta 54.6 \rightarrow \Delta 41.8$ ) は厳しい状況ながらもかなり持ち直した。

## 売上額 ・ 収益

売上額 ( $\Delta 40.3 \rightarrow \Delta 54.9 \rightarrow \Delta 35.0$ ) は減少傾向が極端に和らぎ、収益 ( $\Delta 28.9 \rightarrow \Delta 53.5 \rightarrow \Delta 40.1$ ) も減益幅が大きく縮小した。

## 価格 ・ 在庫動向

販売価格 ( $\Delta 11.4 \rightarrow \Delta 13.3 \rightarrow \Delta 7.3$ ) は下降がかなり縮小し、仕入価格 ( $12.9 \rightarrow 19.1 \rightarrow 15.2$ ) は上昇傾向が多少弱まった。

在庫 ( $\Delta 7.4 \rightarrow \Delta 2.9 \rightarrow 1.7$ ) は不足感が解消され適正範囲となった。

## 資金繰り ・ 借入難易度 ・ 設備投資動向

資金繰り ( $\Delta 28.2 \rightarrow \Delta 19.1 \rightarrow \Delta 13.3$ ) は窮屈感が幾分緩和されたが、借入難易度 ( $\Delta 21.5 \rightarrow \Delta 23.1 \rightarrow \Delta 21.5$ ) は前期同様の厳しさが続いた。

設備投資を「実施した」企業 ( $13.3\% \rightarrow 7.1\% \rightarrow 21.4\%$ ) は前期から14.3ポイント増加した。

## 経営上の問題点 ・ 重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」(66.7%) が今期も最多となった。以下、「同業者間の競争の激化」(33.3%)、「利幅の縮小」(20.0%)、「取引先の減少」、「為替レートの変動」、「大手企業・工場の縮小・撤退」(各13.3%) の順であった。

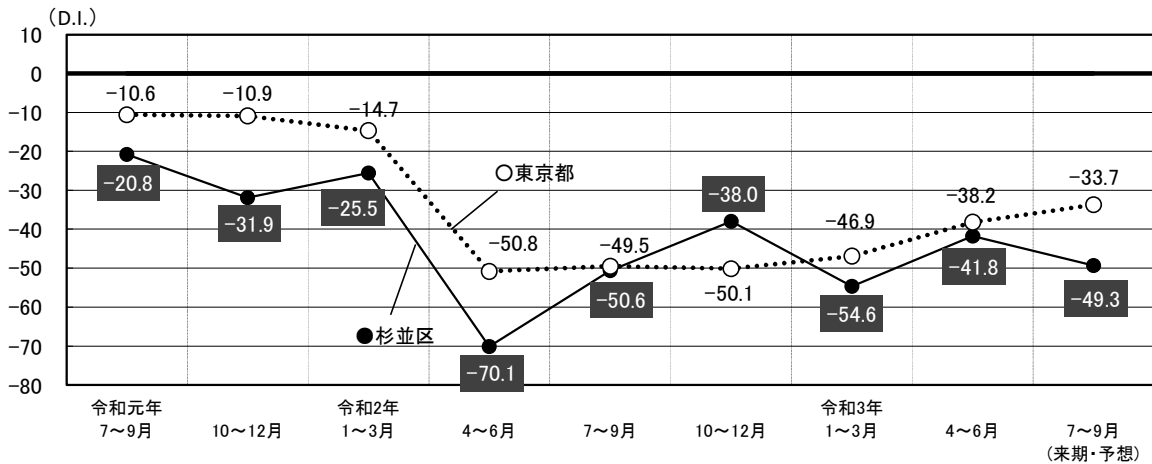
重点経営施策では、「販路を広げる」(66.7%) が今期も最多となった。以下、「経費を節減する」(60.0%)、「情報力を強化する」(33.3%)、「流通経路の見直しをする」(13.3%)、「人材を確保する」、「品揃えを充実する」、「労働条件を改善する」、「教育訓練を強化する」、「取引先を支援する」、「提携先を見つける」、「新しい事業を始める」(各6.7%) の順であった。

## 来 期 の 見 通 し

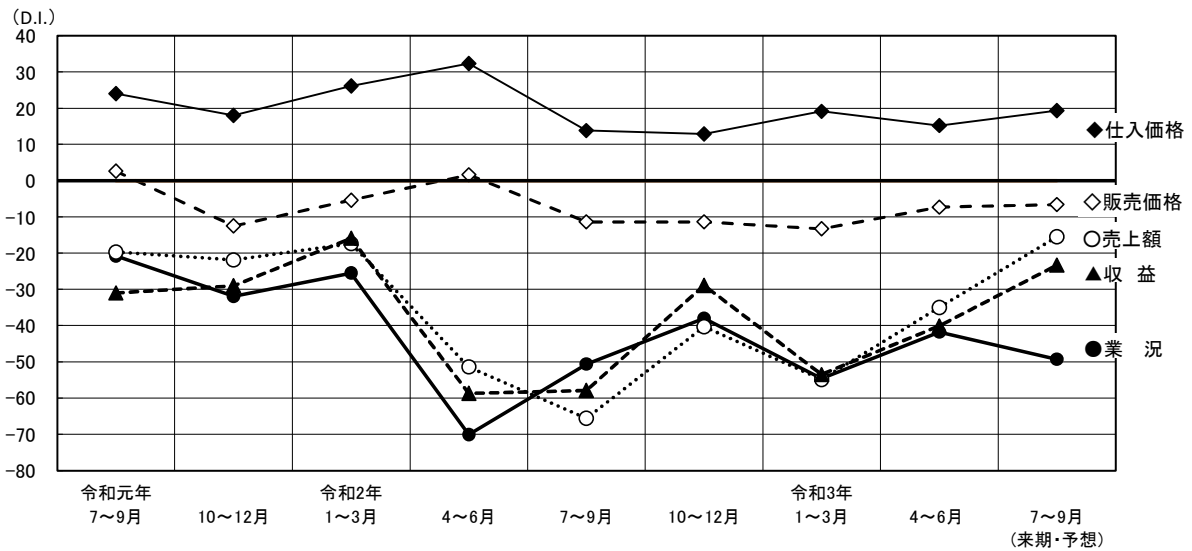
来期の見通しについて、業況 ( $\Delta 49.3$  予想) は再び悪化傾向が強まると見込まれているが、売上額 ( $\Delta 15.5$  予想) と収益 ( $\Delta 23.3$  予想) はともに減少・減益幅が大幅に改善されると予想されている。

価格面では、販売価格 ( $\Delta 6.6$  予想) は前期並の下降幅で推移するが、仕入価格 (19.3 予想) は上昇傾向が強まると見込まれている。

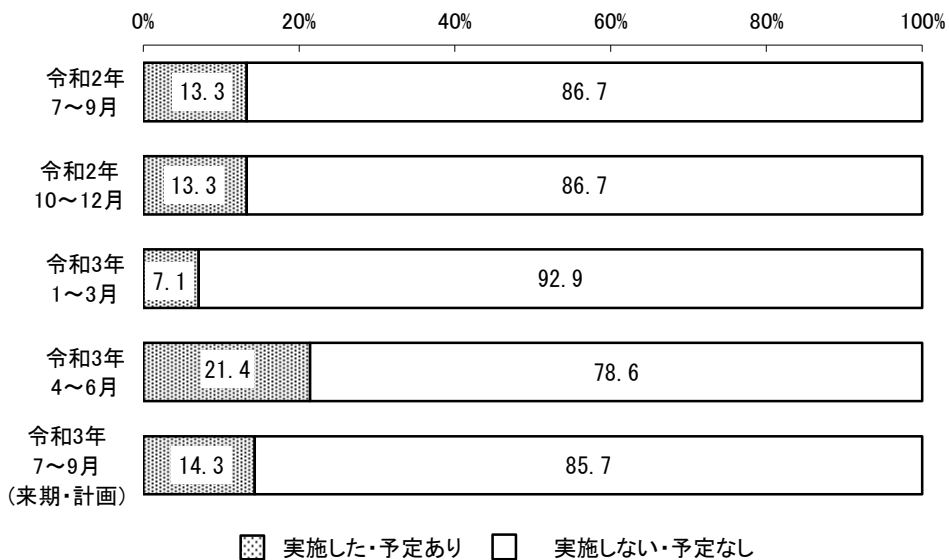
【卸売業】 杉並区と東京都全体の業況の動き（実績）と来期の予想



業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予想

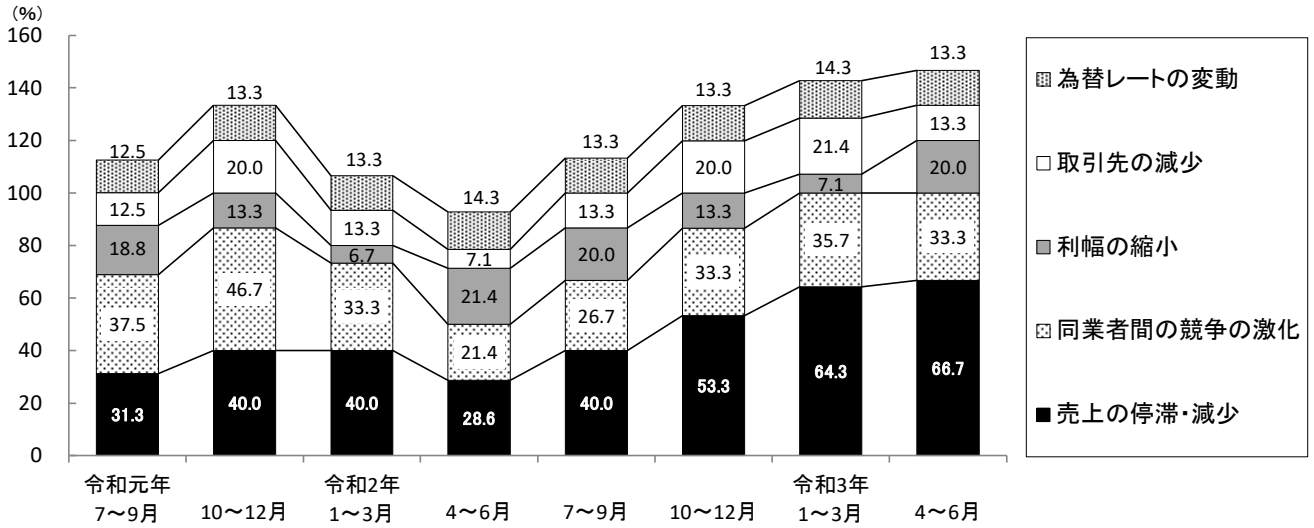


設備投資動向



## 経営上の問題点

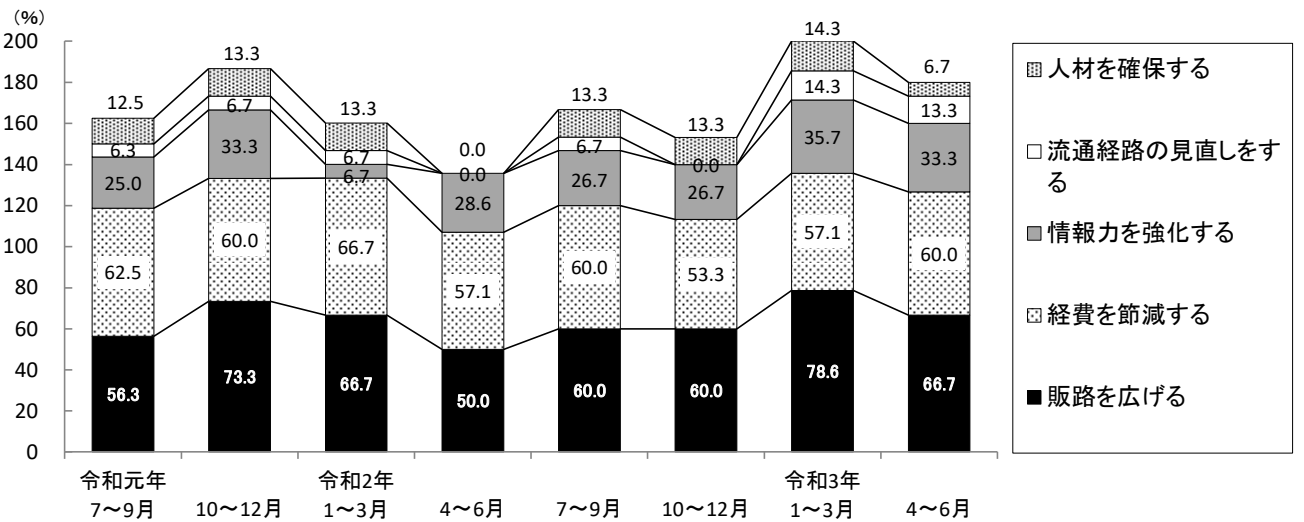
(複数回答)



令和2年7~9月期		令和2年10~12月期		令和3年1~3月期		令和3年4~6月期	
売上の停滞・減少	40.0%	売上の停滞・減少	53.3%	売上の停滞・減少	64.3%	売上の停滞・減少	66.7%
同業者間の競争の激化	26.7%	同業者間の競争の激化	33.3%	同業者間の競争の激化	35.7%	同業者間の競争の激化	33.3%
利幅の縮小	20.0%	取引先の減少	20.0%	取引先の減少	21.4%	利幅の縮小	20.0%
人手不足 為替レートの変動 大手企業・工場の縮小・撤退 取引先の減少 仕入先からの値上げ要請	13.3%	利幅の縮小 人手不足 為替レートの変動 大手企業・工場の縮小・撤退 販売商品の不足	13.3%	人手不足 為替レートの変動 仕入先からの値上げ要請	14.3%	取引先の減少 為替レートの変動 大手企業・工場の縮小・撤退	13.3%

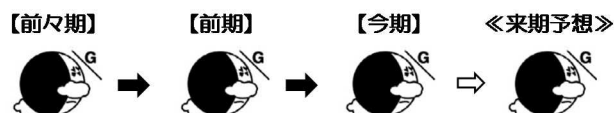
## 重点経営施策

(複数回答)



令和2年7~9月期		令和2年10~12月期		令和3年1~3月期		令和3年4~6月期	
経費を節減する 販路を広げる	60.0%	販路を広げる	60.0%	販路を広げる	78.6%	販路を広げる	66.7%
情報力を強化する	26.7%	情報力を強化する	26.7%	情報力を強化する	35.7%	情報力を強化する	33.3%
人材を確保する 品揃えを充実する	13.3%	人材を確保する 教育訓練を強化する	13.3%	人材を確保する 流通経路の見直しをする 機械化を推進する	14.3%	流通経路の見直しをする 人材を確保する／品揃えを 充実する／労働条件を改 善する／教育訓練を強化 する／取引先を支援する／ 提携先を見つける／新しい 事業を始める	6.7%

# 小 売 業



注：コメント中の ( ) 内の D. I. 値は (前々期→前期→今期) となっている。

## 業 況

業況 ( $\Delta 55.7 \rightarrow \Delta 44.4 \rightarrow \Delta 42.7$ ) は前期同様の厳しさが続いた。

業種別で見ると、「衣服、呉服、身の回り品」( $\Delta 28.8 \rightarrow \Delta 32.7 \rightarrow \Delta 6.0$ ) は大きく持ち直し、「飲食店」( $\Delta 89.5 \rightarrow \Delta 82.0 \rightarrow \Delta 75.3$ ) は低調感が多少弱まったが、「飲食料品」( $\Delta 36.9 \rightarrow \Delta 2.7 \rightarrow \Delta 24.2$ ) は再び悪化傾向を非常に大きく強めた。

## 売上額 ・ 収益

売上額 ( $\Delta 56.6 \rightarrow \Delta 43.1 \rightarrow \Delta 35.9$ ) は減少傾向が大幅に弱まり、収益 ( $\Delta 53.0 \rightarrow \Delta 44.1 \rightarrow \Delta 40.2$ ) も減益幅が改善してきている。

## 価格 ・ 在庫動向

販売価格 ( $\Delta 8.2 \rightarrow \Delta 3.3 \rightarrow 0.0$ ) は下降傾向が一服したが、仕入価格 ( $\Delta 11.2 \rightarrow 3.1 \rightarrow 7.0$ ) は更に上昇し厳しさが増した。

在庫 ( $11.5 \rightarrow 12.1 \rightarrow 18.0$ ) は過剰感がかなり強まった。

## 資金繰り・借入難易度・設備投資動向

資金繰り ( $\Delta 43.3 \rightarrow \Delta 46.2 \rightarrow \Delta 36.0$ ) は苦しい状況が続くもののかなり緩和され、借入難易度 ( $7.4 \rightarrow \Delta 8.0 \rightarrow \Delta 3.9$ ) も多少改善された。

設備投資を「実施した」企業 ( $2.9\% \rightarrow 6.3\% \rightarrow 6.1\%$ ) は前期から0.2ポイント減少した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」(54.5%) が今期も最多となり、以下、「同業者間の競争の激化」(36.4%)、「大型店との競争の激化」(24.2%)、「商店街の集客力の低下」(21.2%)、「人手不足」(18.2%) の順であった。

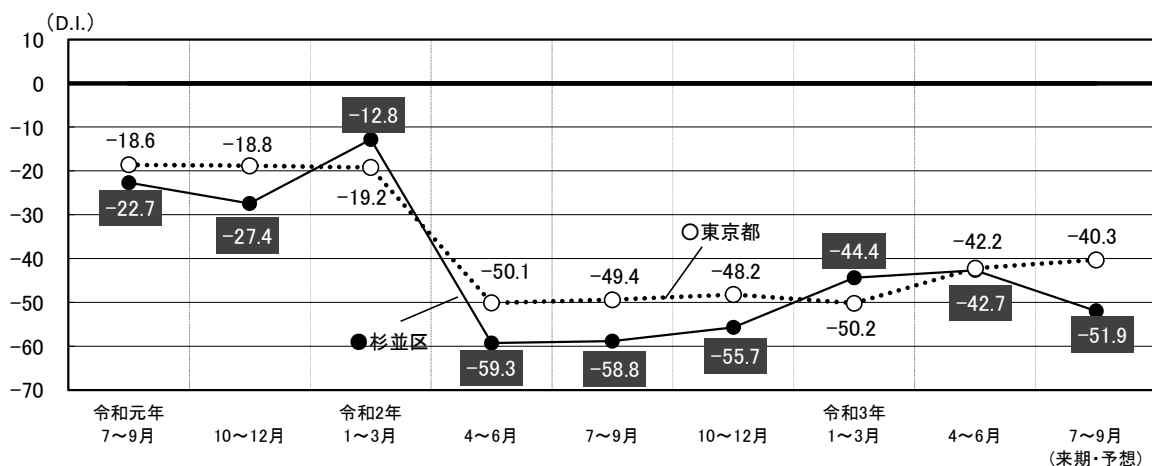
重点経営施策では、「経費を節減する」、「宣伝・広告を強化する」、「品揃えを改善する」(各33.3%) がともに最多となった。以下は、「人材を確保する」(15.2%)、「売れ筋商品を取り扱う」と「商店街事業を活性化させる」(各12.1%) の順であった。

## 来 期 の 見 通 し

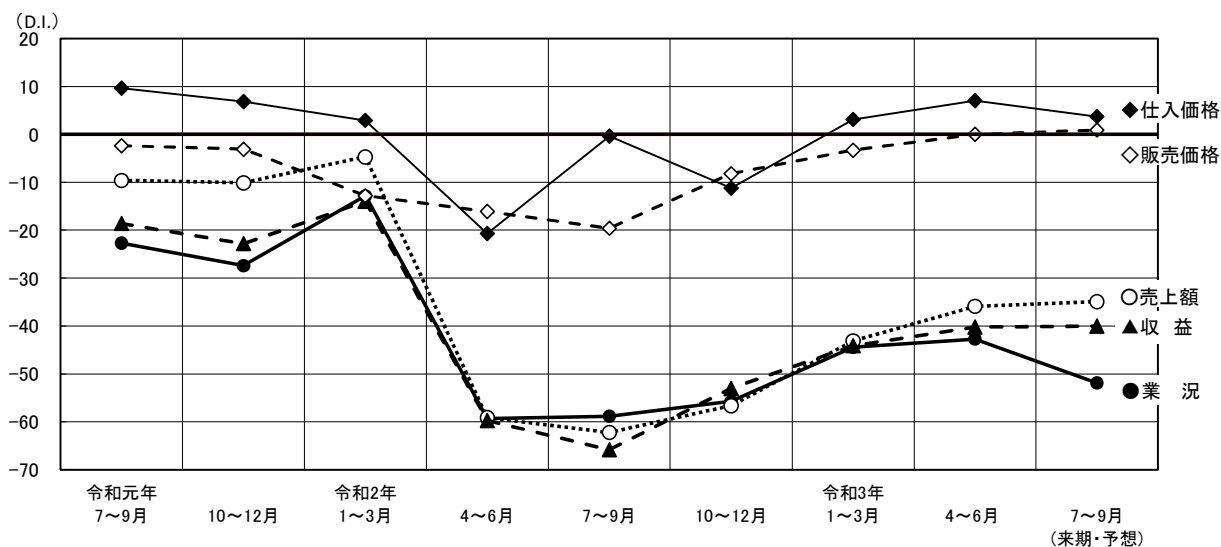
来期の見通しについて、業況 ( $\Delta 51.9$  予想) は再び悪化傾向が強まると見込まれているが、売上額 ( $\Delta 34.9$  予想) と収益 ( $\Delta 40.0$  予想) は今期並の減少・減益幅で推移すると予想されている。

価格面では、販売価格 (0.9 予想) は横這いで推移し、仕入価格 (3.7 予想) は再び上昇が弱まり落ち着きを見せると予想している。

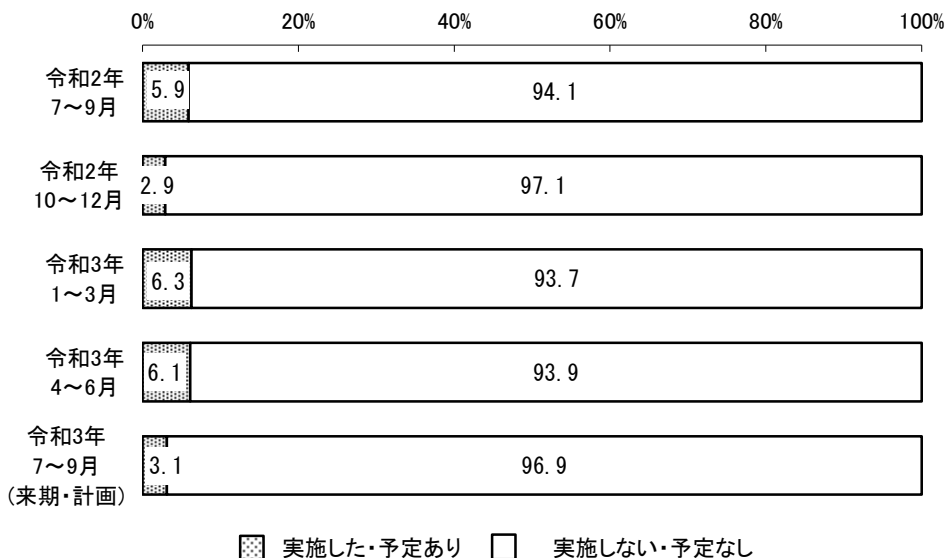
## 【小売業】杉並区と東京都全体の業況の動き（実績）と来期の予想



## 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予想

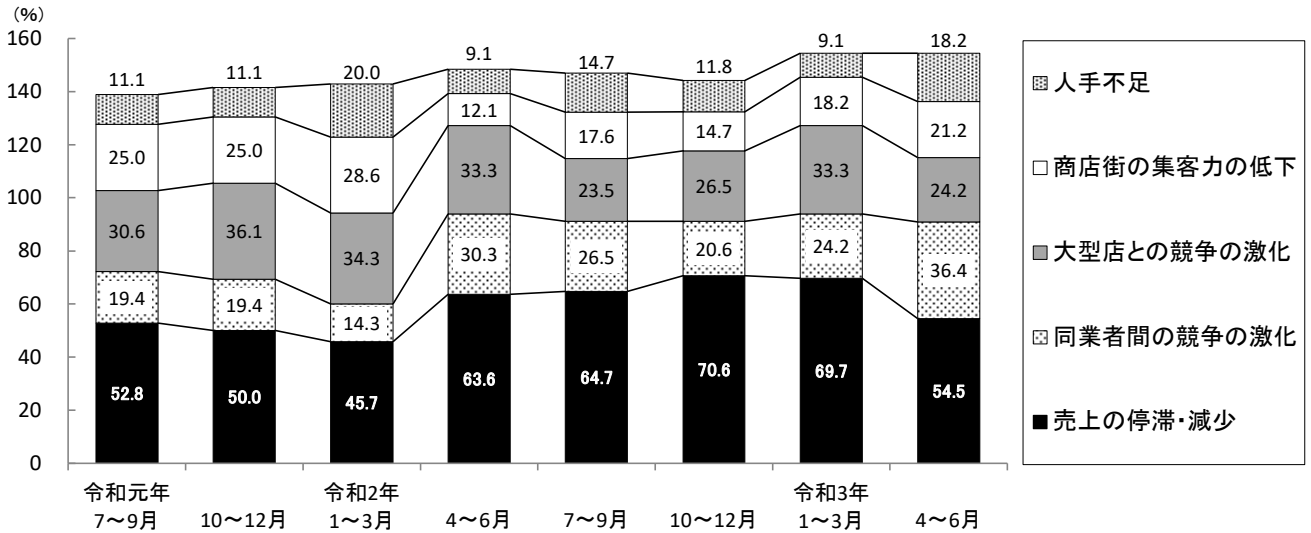


## 設備投資動向



## 経営上の問題点

(複数回答)

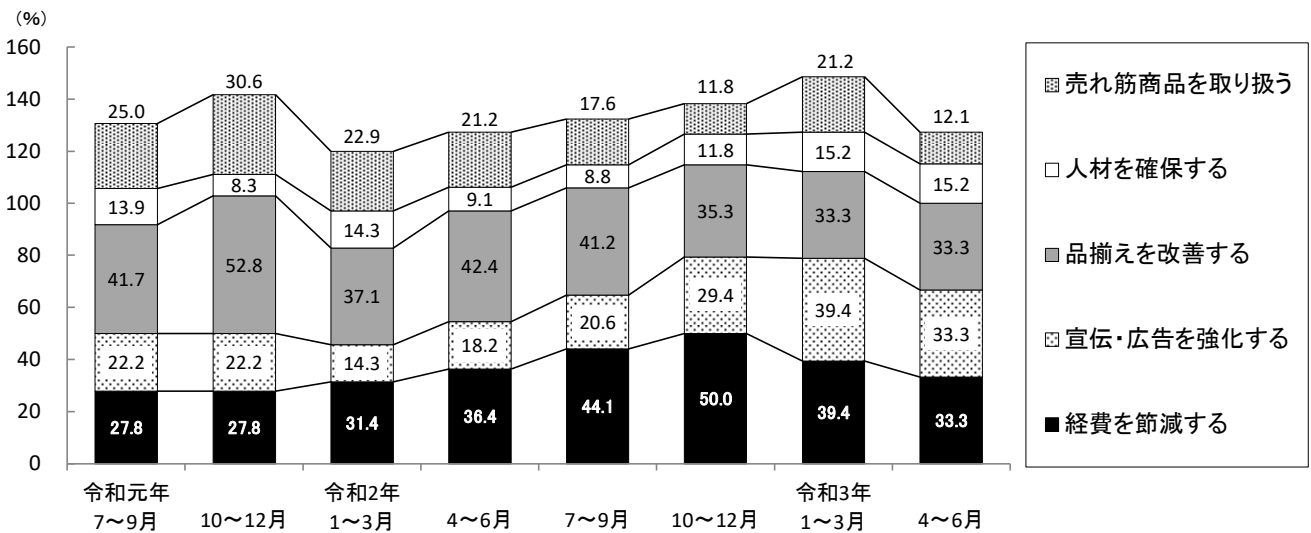


(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和2年7～9月期	令和2年10～12月期	令和3年1～3月期	令和3年4～6月期
売上の停滞・減少 64.7%	売上の停滞・減少 70.6%	売上の停滞・減少 69.7%	売上の停滞・減少 54.5%
同業者間の競争の激化 26.5%	大型店との競争の激化 26.5%	大型店との競争の激化 33.3%	同業者間の競争の激化 36.4%
大型店との競争の激化 23.5%	同業者間の競争の激化 20.6%	同業者間の競争の激化 24.2%	大型店との競争の激化 24.2%
利幅の縮小 商店街の集客力の低下 17.6%	商店街の集客力の低下 14.7%	商店街の集客力の低下 18.2%	商店街の集客力の低下 21.2%
	人手不足 11.8%	利幅の縮小 15.2%	人手不足 18.2%

## 重点経営施策

(複数回答)



(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和2年7～9月期	令和2年10～12月期	令和3年1～3月期	令和3年4～6月期
経費を節減する 44.1%	経費を節減する 50.0%	経費を節減する 宣伝・広報を強化する 39.4%	経費を節減する 宣伝・広告を強化する 品揃えを改善する 33.3%
品揃えを改善する 41.2%	品揃えを改善する 35.3%	品揃えを改善する 33.3%	宣伝・広告を強化する 品揃えを改善する
宣伝・広報を強化する 20.6%	宣伝・広報を強化する 29.4%	売れ筋商品を取り扱う 21.2%	人材を確保する 15.2%
売れ筋商品を取り扱う 17.6%	商店街事業を活性化させる 14.7%	売れ筋商品を取り扱う 15.2%	売れ筋商品を取り扱う 商店街事業を活性化させる 12.1%
商店街事業を活性化させる 14.7%	売れ筋商品を取り扱う 人材を確保する 11.8%	人材を確保する 15.2%	



## 中分類業種別動向

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

### ●衣服、呉服、身の回り品●

業況（ $\Delta 28.8 \rightarrow \Delta 32.7 \rightarrow \Delta 6.0$ ）は大きく持ち直し、売上額（ $\Delta 21.0 \rightarrow \Delta 23.8 \rightarrow \Delta 9.3$ ）と収益（ $\Delta 21.0 \rightarrow \Delta 22.5 \rightarrow \Delta 7.6$ ）も減少・減益幅が大きく改善した。販売価格（ $\Delta 18.3 \rightarrow \Delta 19.1 \rightarrow \Delta 11.3$ ）は下降傾向がかなり弱まったが、仕入価格（ $\Delta 20.9 \rightarrow \Delta 17.4 \rightarrow 4.0$ ）は上昇に転じて厳しい状況となった。在庫（ $\Delta 3.6 \rightarrow \Delta 14.2 \rightarrow \Delta 15.8$ ）は前期並の不足感が続いた。

来期の見通しについて、業況（ $\Delta 27.8$ 予想）は悪化傾向が再び極端に強まると見込まれている。売上額（ $\Delta 12.4$ 予想）は減少がやや強まり、収益（ $\Delta 15.4$ 予想）も減益幅がかなり拡大すると予想されている。販売価格（ $\Delta 14.6$ 予想）はわずかに下降を強め、仕入価格（ $4.2$ 予想）は今期同様の水準で推移すると見込まれている。在庫（ $\Delta 17.4$ 予想）は今期並の不足感が続くと予想されている。

### ●飲食料品●

業況（ $\Delta 36.9 \rightarrow \Delta 2.7 \rightarrow \Delta 24.2$ ）は再び悪化傾向を非常に大きく強めた。売上額（ $\Delta 40.7 \rightarrow \Delta 0.7 \rightarrow \Delta 29.4$ ）と収益（ $\Delta 26.9 \rightarrow \Delta 3.5 \rightarrow \Delta 30.1$ ）も減少・減益幅が極端に拡大した。価格面では、販売価格（ $\Delta 4.0 \rightarrow 12.5 \rightarrow \Delta 2.7$ ）は大きく低下しマイナスに転じ、仕入価格（ $\Delta 18.2 \rightarrow 9.1 \rightarrow 6.5$ ）は上昇が若干弱まった。在庫（ $27.7 \rightarrow 18.1 \rightarrow 20.1$ ）は不足感がわずかに強まった。

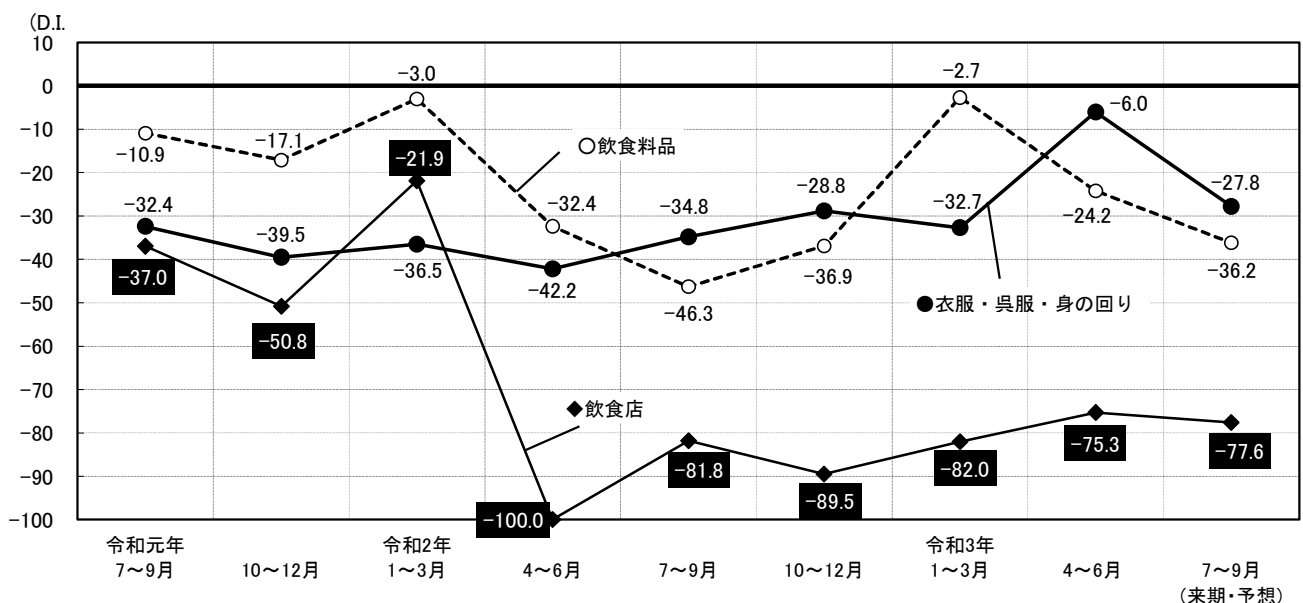
来期の見通しについて、業況（ $\Delta 36.2$ 予想）は厳しさが更に強まると見込まれており、売上額（ $\Delta 35.2$ 予想）と収益（ $\Delta 33.9$ 予想）も減少・減益傾向が拡大すると予想されている。販売価格（ $1.4$ 予想）は再び好転し、仕入価格（ $\Delta 2.3$ 予想）は上昇から下降に転じて良好感が出てくると見込まれている。在庫（ $16.3$ 予想）は不足感が幾分緩和されると予想されている。

### ●飲食店●

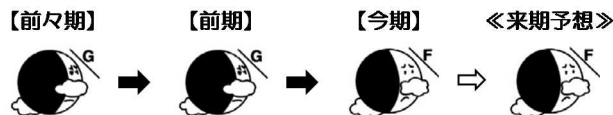
業況（ $\Delta 89.5 \rightarrow \Delta 82.0 \rightarrow \Delta 75.3$ ）は低調感が多少弱まり、売上額（ $\Delta 91.0 \rightarrow \Delta 89.9 \rightarrow \Delta 61.9$ ）と収益（ $\Delta 89.5 \rightarrow \Delta 91.1 \rightarrow \Delta 63.4$ ）は低迷が続くものの減少・減益幅が大幅に縮小した。販売価格（ $\Delta 2.5 \rightarrow 1.1 \rightarrow 12.0$ ）は上昇がかなり強まり、仕入価格（ $\Delta 2.8 \rightarrow 12.6 \rightarrow 10.9$ ）は前期並の上昇水準で推移した。在庫（ $0.4 \rightarrow 20.0 \rightarrow 34.1$ ）は更に過多感が強まった。

来期の見通しについて、業況（ $\Delta 77.6$ 予想）は今期並の低調感が続くと見込まれており、売上額（ $\Delta 61.2$ 予想）と収益（ $\Delta 63.2$ 予想）も今期同様の減少・減益幅で推移すると予想されている。販売価格（ $10.6$ 予想）と仕入価格（ $10.8$ 予想）は今期並の水準が続くと予想されており、在庫（ $34.6$ 予想）も今期同様の過多感で推移すると予想されている。

【小売業】中分類別の業況の動き（実績）と来期の予想



# サービス業



注：コメント中の ( ) 内の D. I. 値は (前々期→前期→今期) となっている。

## 業況

業況 ( $\Delta 49.4 \rightarrow \Delta 36.3 \rightarrow \Delta 34.5$ ) は前期同様の厳しさが続いた。

業種別で見ると、「洗濯、理容、美容業」( $\Delta 38.2 \rightarrow \Delta 40.2 \rightarrow \Delta 26.8$ ) は悪化傾向が大きく改善し、「自動車整備業、駐車場業」( $\Delta 83.1 \rightarrow \Delta 52.6 \rightarrow \Delta 49.5$ ) も悪化傾向が若干弱まった。

## 売上額・収益

売上額 ( $\Delta 51.6 \rightarrow \Delta 39.1 \rightarrow \Delta 34.8$ ) と収益 ( $\Delta 52.1 \rightarrow \Delta 39.4 \rightarrow \Delta 36.2$ ) はともに減少・減益幅が幾分縮小した。

## 料金・材料価格動向

料金価格 ( $\Delta 9.9 \rightarrow \Delta 8.9 \rightarrow \Delta 2.0$ ) は減少傾向が大きく和らいだ。材料価格 ( $6.3 \rightarrow 4.8 \rightarrow 7.3$ ) は上昇が多少強まった。

## 資金繰り・借入難易度・設備投資動向

資金繰り ( $\Delta 23.9 \rightarrow \Delta 18.1 \rightarrow \Delta 10.5$ ) は厳しさがかなり和らいだが、借入難易度 ( $32.0 \rightarrow 23.1 \rightarrow 15.4$ ) は容易さが大幅に後退した。

設備投資を「実施した」企業 ( $0.0\% \rightarrow 3.1\% \rightarrow 15.6\%$ ) は前期から12.5ポイント増加した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」(62.5%) が今期も最多となった。以下、「同業者間の競争の激化」(40.6%)、「利幅の縮小」(12.5%)、「人件費の増加」と「材料価格の上昇」、「取引先の減少」(各9.4%) の順であった。

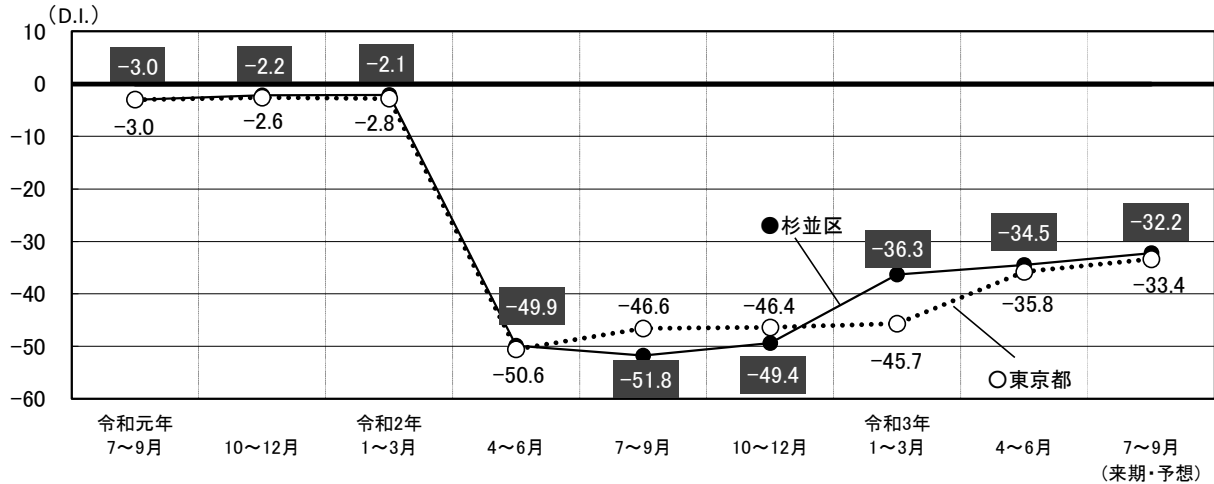
重点経営施策では、「経費を節減する」(56.3%) が今期は最多となった。以下、「販路を広げる」(50.0%)、「宣伝・広告を強化する」(31.3%)、「技術力を強化する」(18.8%)、「人材を確保する」(12.5%) の順であった。

## 来期の見通し

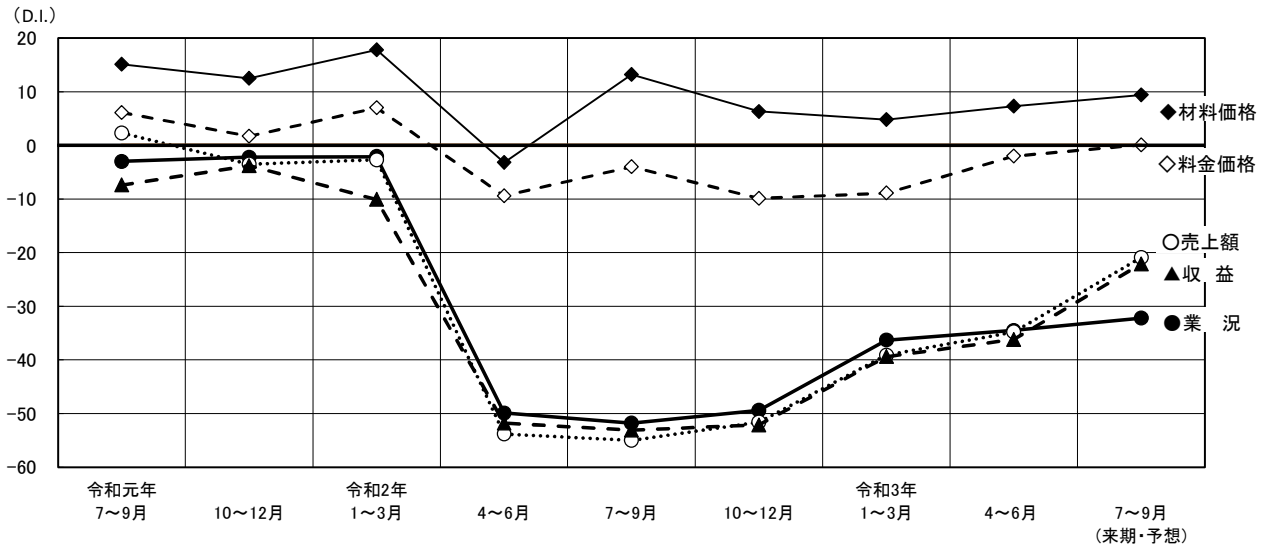
来期の見通しについて、業況 ( $\Delta 32.2$  予想) は悪化傾向がわずかに弱まると見込まれており、売上額 ( $\Delta 20.9$  予想) と収益 ( $\Delta 22.1$  予想) はともに大幅に改善すると予想されている。

価格面は、料金価格 ( $0.1$  予想) は下降傾向が一服するが、材料価格 ( $9.4$  予想) は上昇が多少強まると見込まれている。

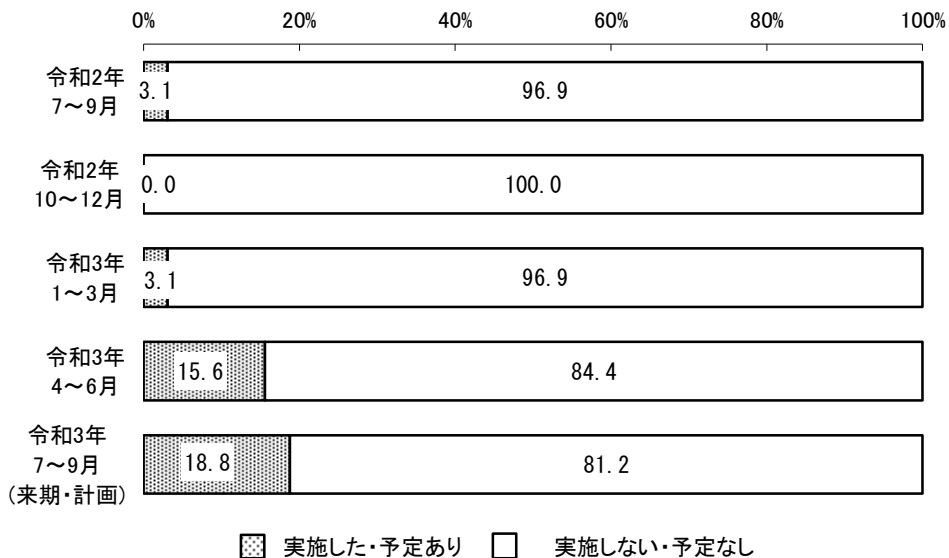
## 【サービス業】杉並区と東京都全体の業況の動き（実績）と来期の予想



## 業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予想

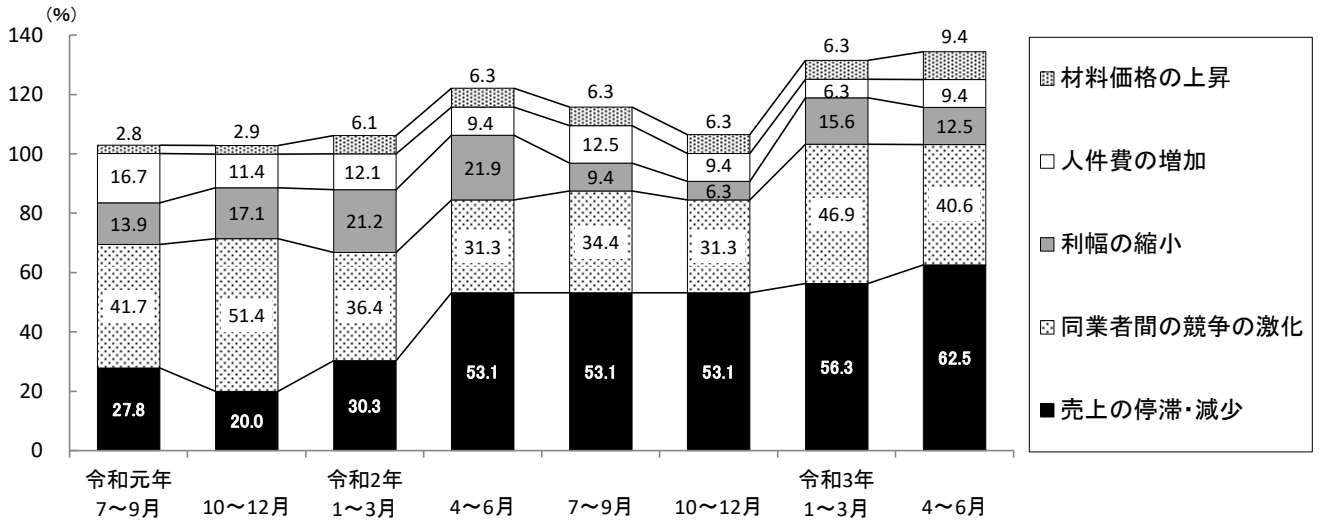


## 設備投資動向



## 経営上の問題点

(複数回答)



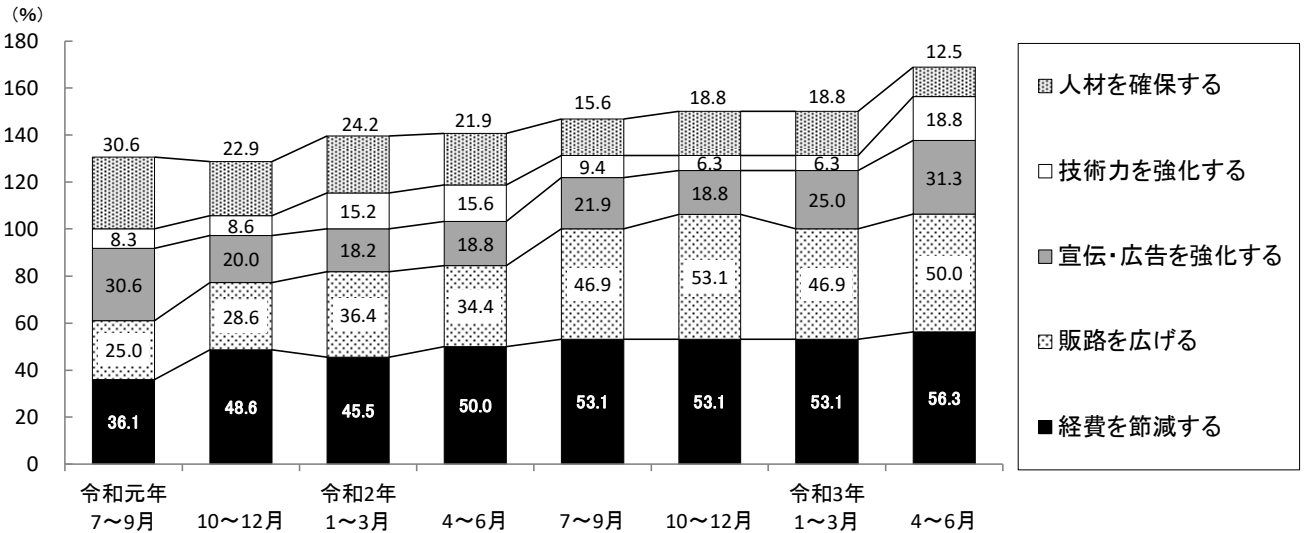
(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和2年7~9月期		令和2年10~12月期		令和3年1~3月期		令和3年4~6月期	
売上の停滞・減少	53.1%	売上の停滞・減少	53.1%	売上の停滞・減少	56.3%	売上の停滞・減少	62.5%
同業者間の競争の激化	34.4%	同業者間の競争の激化	31.3%	同業者間の競争の激化	46.9%	同業者間の競争の激化	40.6%
人手不足 人件費の増加	12.5%	人手不足 人件費の増加	18.8%	利幅の縮小 人手不足	15.6%	利幅の縮小 人件費の増加	12.5%
利幅の縮小 大企業との競争の激化	9.4%	利幅の縮小 大企業との競争の激化 材料価格の上昇	6.3%	大企業との競争の激化	9.4%	材料価格の上昇 取引先の減少	9.4%

<重点経営施策>

## 重点経営施策

(複数回答)



(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和2年7~9月期		令和2年10~12月期		令和3年1~3月期		令和3年4~6月期	
経費を節減する	53.1%	経費を節減する 販路を広げる	53.1%	経費を節減する 販路を広げる	53.1%	経費を節減する 販路を広げる	56.3%
販路を広げる	46.9%	販路を広げる	46.9%	販路を広げる	46.9%	販路を広げる	50.0%
宣伝・広告を強化する	21.9%	宣伝・広告を強化する 人材を確保する	18.8%	宣伝・広告を強化する 人材を確保する	25.0%	宣伝・広告を強化する 技術力を強化する	31.3%
人材を確保する	15.6%	人材を確保する	18.8%	人材を確保する	18.8%	技術力を強化する	18.8%
技術力を強化する	9.4%	技術力を強化する 新しい事業を始める	6.3%	技術力を強化する 新しい事業を始める 教育訓練を強化する 提携先を見つける	6.3%	人材を確保する	12.5%

## 中分類種別動向

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

### ●洗濯、理容、美容業●

業況（△38.2→△40.2→△26.8）は悪化傾向が大きく改善し、売上額（△41.2→△38.2→△30.3）と収益（△44.2→△39.1→△23.3）も減少・減益幅が大幅に縮小した。料金価格（△2.0→△7.0→1.6）は下降から上昇に好転したが、材料価格（△2.0→△5.8→3.5）は上昇し厳しい状況となった。

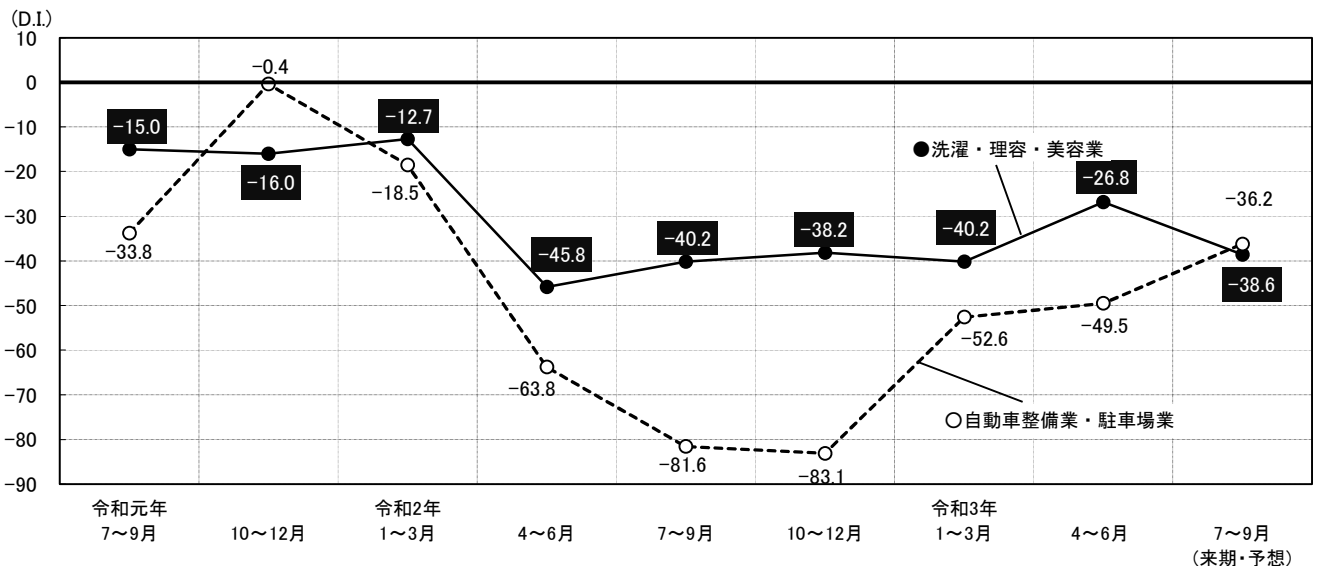
来期の見通しについて、業況（△38.6予想）は再び厳しさが大きく増すと見込まれている。売上額（△28.7予想）は今期並の減少幅で推移するが、収益（△30.2予想）は減少傾向を更に強めると予想されている。料金価格（0.0予想）と材料価格（4.0予想）は今期並の水準で推移すると見込まれている。

### ●自動車整備業、駐車場業●

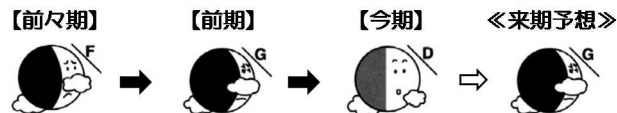
業況（△83.1→△52.6→△49.5）は悪化傾向が若干弱まった。売上額（△69.9→△51.0→△47.4）と収益（△68.4→△50.2→△47.1）も減少・減益幅がわずかに縮小した。料金価格（△16.7→△17.4→△12.2）は厳しさが多少和らぎ、材料価格（17.8→17.6→21.4）は上昇が幾分強まった。

来期の見通しについて、業況（△36.2予想）は改善傾向が続き大きく持ち直すと見込まれており、売上額（△17.6予想）と収益（△19.5予想）も減少・減益幅が極端に縮小すると予想されている。料金価格（△2.1予想）は下降傾向が大きく改善されるが、材料価格（21.7予想）は今期同様の厳しい水準で推移すると見込まれている。

【サービス業】中分類別の業況の動き（実績）と来期の予想



# 建設業



注：コメント中の ( ) 内の D. I. 値は (前々期→前期→今期) となっている。

## 業況

業況 ( $\Delta 30.4 \rightarrow \Delta 44.2 \rightarrow \Delta 2.3$ ) は極端に持ち直して明るさが見えた。

## 売上額・受注残・施工高・収益

売上額 ( $\Delta 18.3 \rightarrow \Delta 40.1 \rightarrow \Delta 0.8$ ) と収益 ( $\Delta 17.7 \rightarrow \Delta 25.9 \rightarrow \Delta 2.5$ ) は減少・減益幅が非常に大きく縮小し、受注残 ( $\Delta 15.5 \rightarrow \Delta 35.1 \rightarrow 1.8$ ) と施工高 ( $\Delta 9.7 \rightarrow \Delta 32.4 \rightarrow 6.2$ ) も極端に改善しわずかに増勢に転じた。

## 請負価格・材料価格・在庫

請負価格 ( $\Delta 5.4 \rightarrow \Delta 11.5 \rightarrow \Delta 0.4$ ) は下降傾向が一服し、材料価格 ( $22.6 \rightarrow 3.5 \rightarrow 0.3$ ) は上昇が弱まり落ち着きを見せた。

在庫 ( $\Delta 4.1 \rightarrow \Delta 2.4 \rightarrow \Delta 2.9$ ) は前期同様の不足感で推移した。

## 資金繰り・借入難易度・設備投資動向

資金繰り ( $\Delta 10.0 \rightarrow \Delta 5.0 \rightarrow 8.5$ ) は厳しい状況から楽な状態に転じた。借入難易度 ( $19.2 \rightarrow 7.7 \rightarrow 12.0$ ) は容易さが更に増した。

設備投資を「実施した」企業 ( $18.5\% \rightarrow 18.5\% \rightarrow 19.2\%$ ) は0.7ポイントの増加となった。

## 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」(37.0%) が今期最多となった。以下、「同業者間の競争の激化」(33.3%)、「材料価格の上昇」(25.9%)、「人手不足」と「人件費の増加」、「大企業との競争の激化」(各18.5%) の順であった。

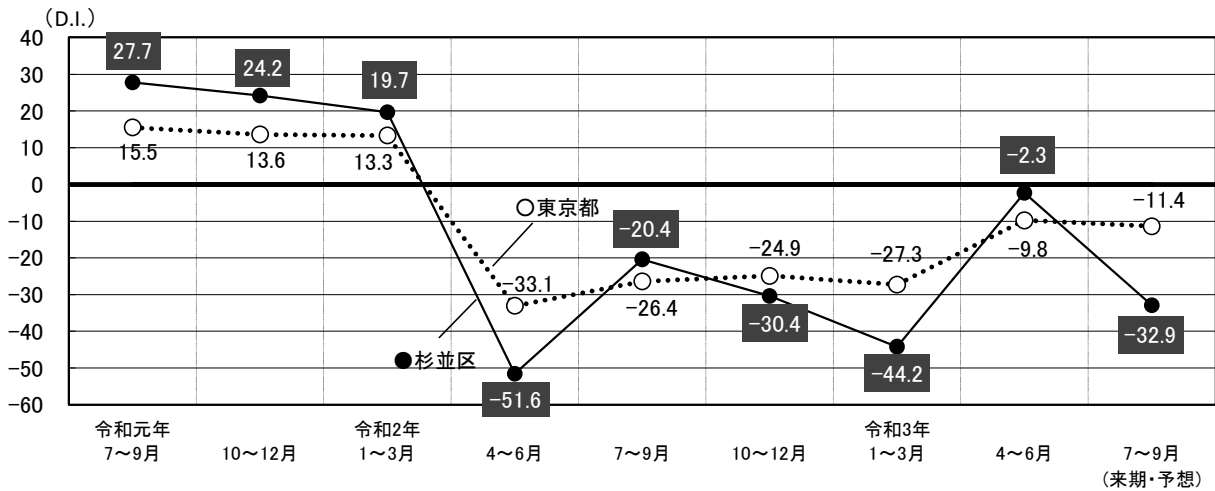
重点経営施策では、「経費を節減する」(55.6%) が今期も最多となった。以下、「人材を確保する」と「販路を広げる」(各33.3%)、「情報力を強化する」(22.2%)、「技術力を高める」(18.5%) の順であった。

## 来期の見通し

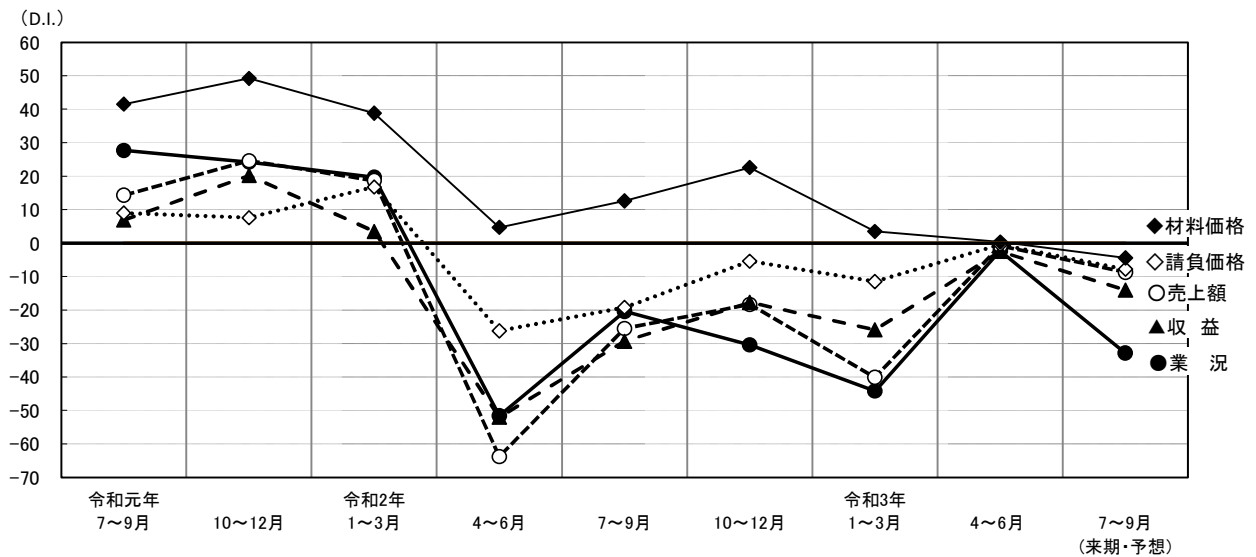
来期の見通しについて、業況 ( $\Delta 32.9$  予想) は再び悪化傾向を極端に強めると見込まれている。売上額 ( $\Delta 8.7$  予想) と収益 ( $\Delta 14.0$  予想) は減少・減益幅がかなり拡大し、受注残 ( $\Delta 15.5$  予想) と施工高 ( $\Delta 8.0$  予想) は下降に大きく転じると予想している。

価格面では、請負価格 ( $\Delta 7.8$  予想) は再び下降が大きく強まるが、材料価格 ( $\Delta 4.4$  予想) は上昇から下降に転じて好感が出てくると見込まれている。

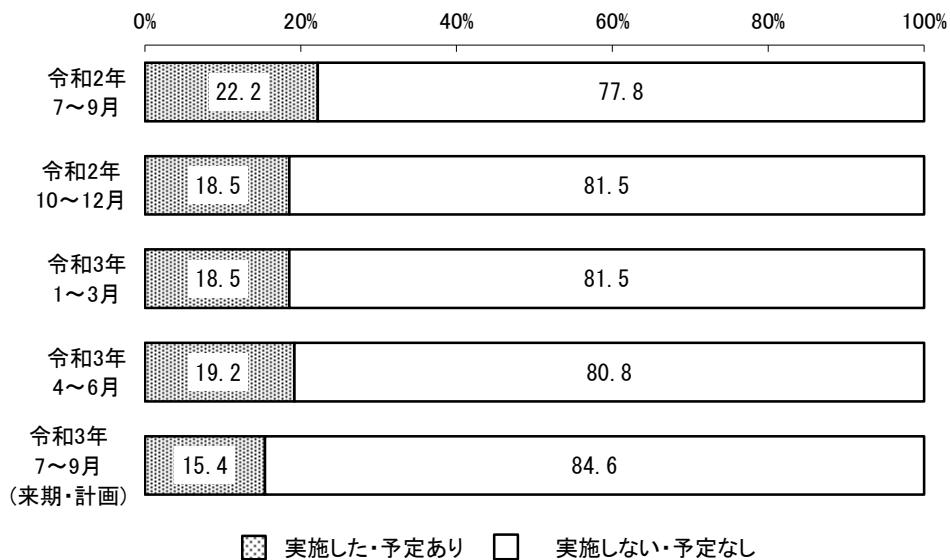
## 【建設業】 杉並区と東京都全体の業況の動き（実績）と来期の予想



## 業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予想

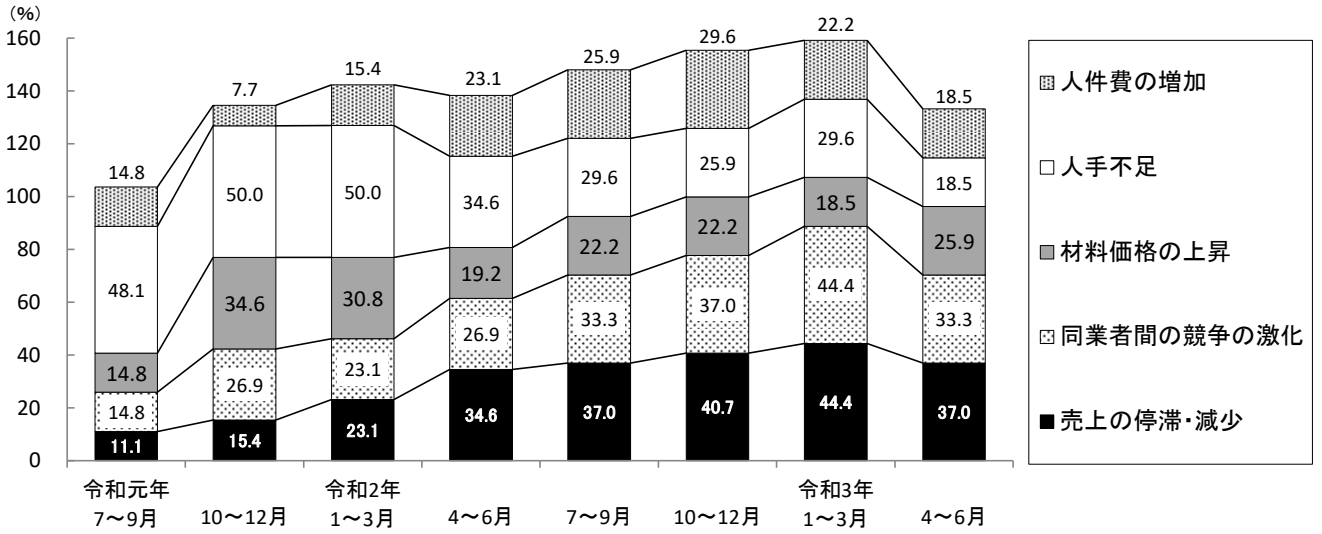


## 設備投資動向



## 経営上の問題点

(複数回答)

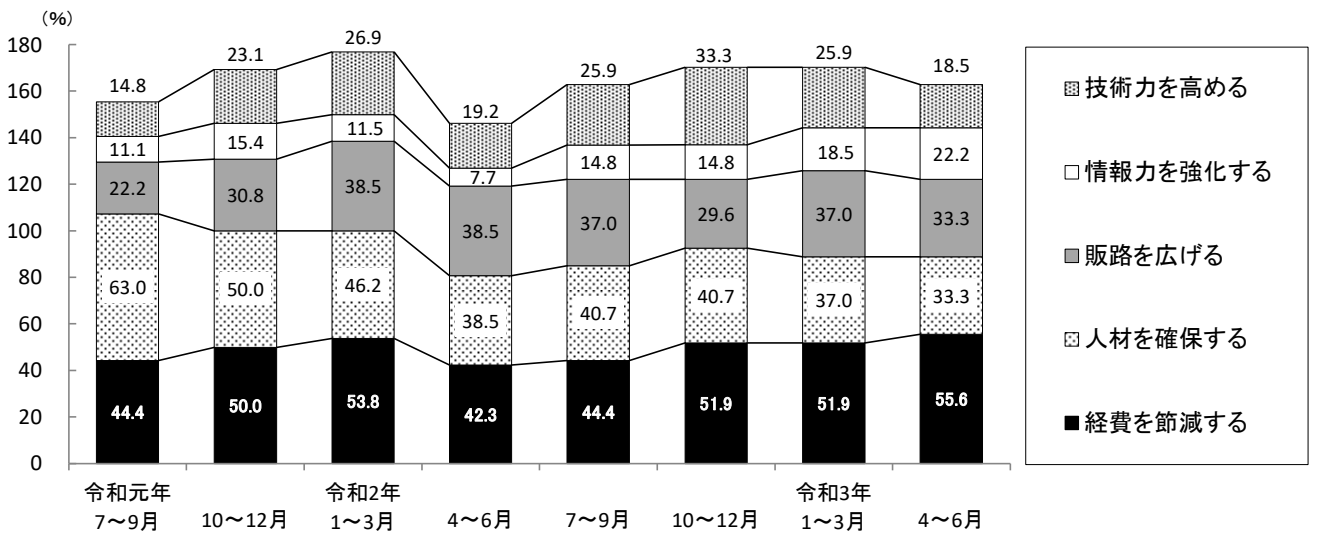


(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和2年7~9月期		令和2年10~12月期		令和3年1~3月期		令和3年4~6月期	
売上の停滞・減少	37.0%	売上の停滞・減少	40.7%	売上の停滞・減少	44.4%	売上の停滞・減少	37.0%
同業者間の競争の激化	33.3%	同業者間の競争の激化	37.0%	同業者間の競争の激化	33.3%	同業者間の競争の激化	33.3%
人手不足	29.6%	人件費の増加	29.6%	人手不足	29.6%	材料価格の上昇	25.9%
人件費の増加	25.9%	人手不足	25.9%	人件費の増加	22.2%	人手不足	18.5%
材料価格の上昇	22.2%	材料価格の上昇	22.2%	材料価格の上昇	18.5%	人件費の増加 大手企業との競争の激化	

## 重点経営施策

(複数回答)

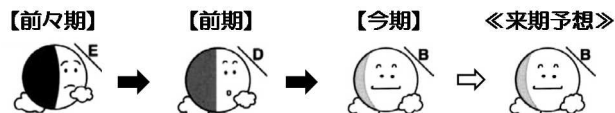


(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和2年7~9月期		令和2年10~12月期		令和3年1~3月期		令和3年4~6月期	
経費を節減する	44.4%	経費を節減する	51.9%	経費を節減する	51.9%	経費を節減する	55.6%
人材を確保する	40.7%	人材を確保する	40.7%	人材を確保する	37.0%	人材を確保する	33.3%
販路を広げる	37.0%	技術力を高める	33.3%	販路を広げる	25.9%	販路を広げる	
技術力を高める	25.9%	販路を広げる	29.6%	技術力を高める	25.9%	情報力を強化する	22.2%
新しい工法を導入する 情報力を強化する	14.8%	新しい工法を導入する	18.5%	新しい工法を導入する	22.2%	技術力を高める	18.5%



# 不動産業



注：コメント中の ( ) 内の D. I. 値は (前々期→前期→今期) となっている。

## 業況

業況 ( $\Delta 21.2 \rightarrow \Delta 14.0 \rightarrow 1.8$ ) は大幅に改善しプラスに転じた。

## 売上額 ・ 収益

売上額 ( $\Delta 28.7 \rightarrow \Delta 21.9 \rightarrow \Delta 28.1$ ) は再び減少傾向を大きく強めたが、収益 ( $\Delta 27.0 \rightarrow \Delta 30.6 \rightarrow \Delta 30.7$ ) は前期並の厳しさを推移した。

## 価格 ・ 在庫動向

販売価格 ( $\Delta 9.0 \rightarrow \Delta 12.8 \rightarrow \Delta 1.6$ ) は厳しさが一服したが、仕入価格 ( $1.4 \rightarrow \Delta 1.0 \rightarrow 16.7$ ) は大幅に上昇し厳しい状況に転じた。

在庫 ( $\Delta 17.3 \rightarrow \Delta 10.8 \rightarrow \Delta 21.3$ ) は不足感がかなり増した。

## 資金繰り ・ 借入難易度

資金繰り ( $\Delta 3.4 \rightarrow 8.0 \rightarrow \Delta 1.5$ ) は大きく低下し窮屈感が現れたが、借入難易度 ( $12.5 \rightarrow 18.8 \rightarrow 25.0$ ) は容易さが更に増した。

## 経営上の問題点 ・ 重点経営施策

経営上の問題点は、「同業者間の競争の激化」(44.4%) が今期も引き続き最多となった。以下、「売上の停滞・減少」と「商品物件の不足」(各27.8%)、「利幅の縮小」(16.7%)、「人件費の増加」と「商品物件の高騰」(各11.1%)の順であった。

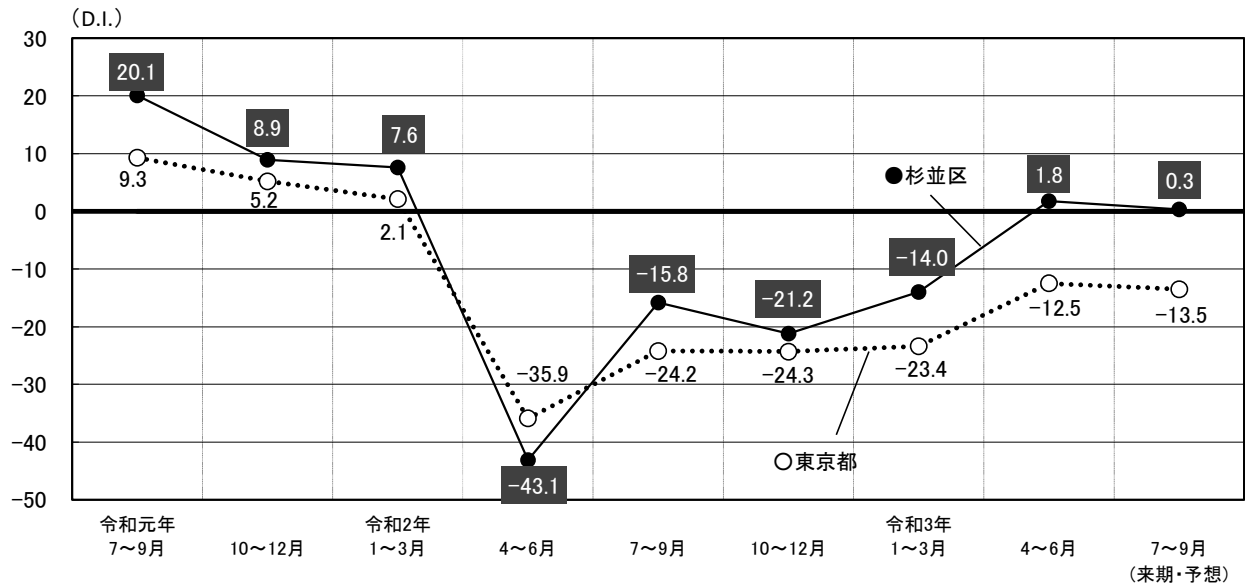
重点経営施策では、「経費を節減する」と「不動産の有効活用を図る」(各33.3%) がともに最多となった。以下、「販路を広げる」と「情報力を強化する」(各27.8%)、「宣伝・広告を強化する」と「人材を確保する」(各16.7%)の順であった。

## 来期の見通し

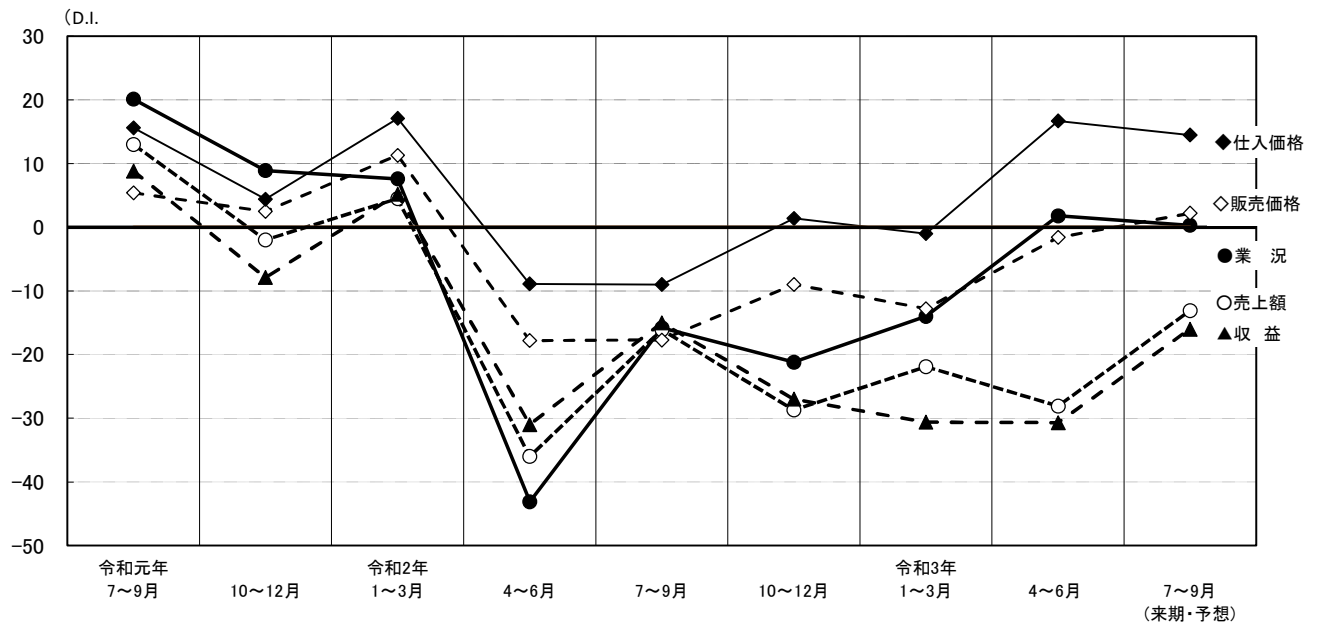
来期の見通しについて、業況 (0.3予想) は今期同様の落ち着いた水準が続くと見込まれているが、売上額 ( $\Delta 13.1$ 予想) と収益 ( $\Delta 16.0$ 予想) は減少・減益傾向が大幅に改善されると予想している。

価格面では、販売価格 (2.2予想) はわずかに増加に転じ、仕入価格 (14.5予想) は上昇傾向が多少弱まると予想している。

【不動産業】 杉並区と東京都全体の業況の動き（実績）と来期の予想

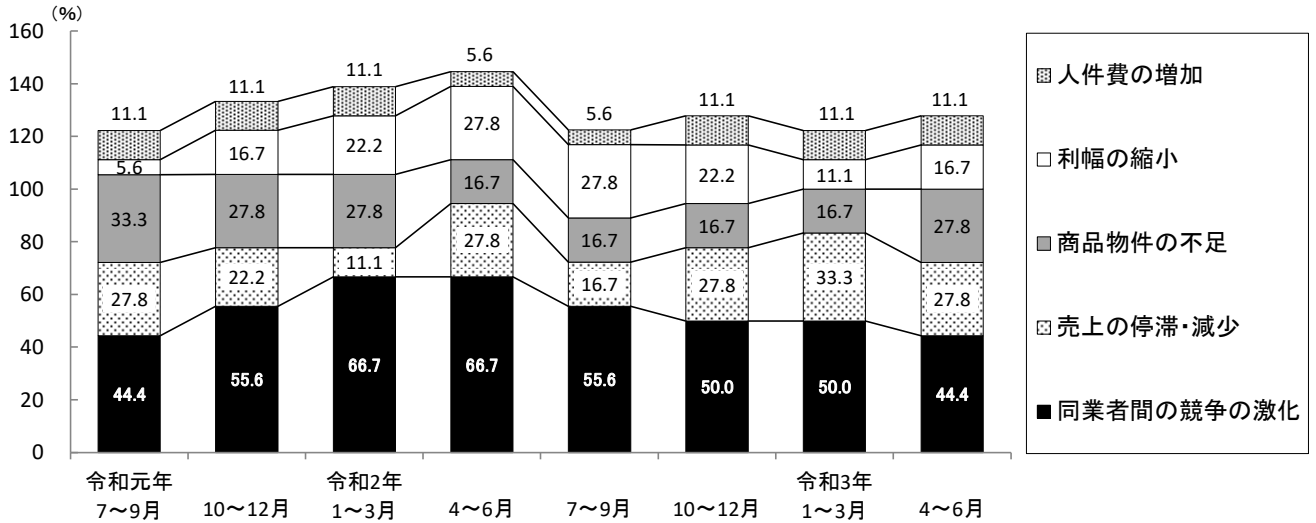


業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予想



## 経営上の問題点

(複数回答)

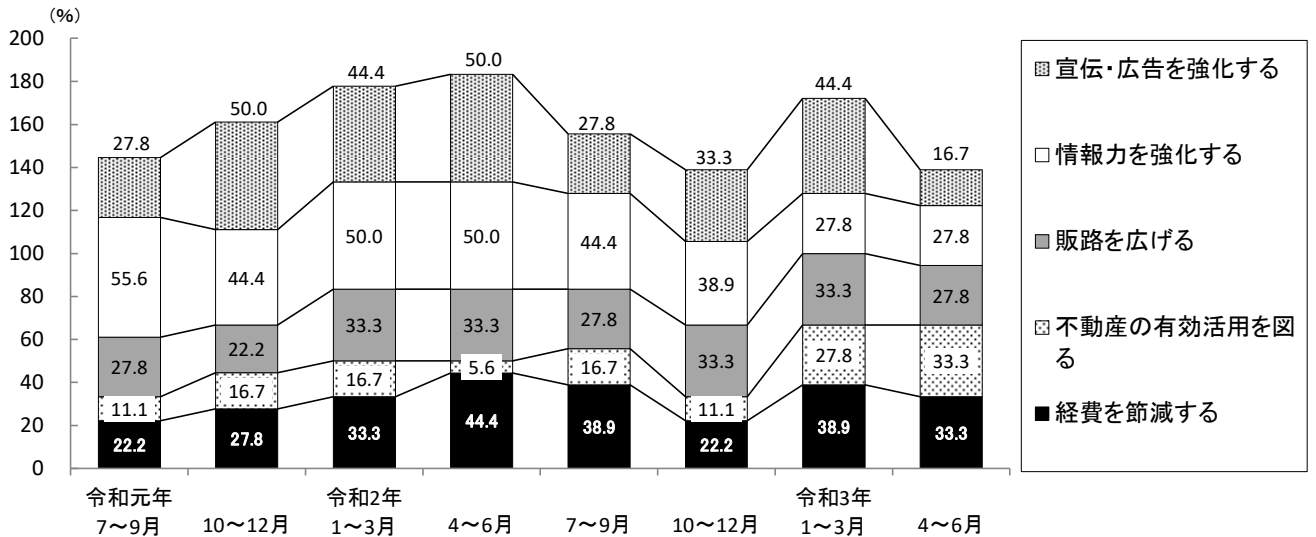


(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和2年7~9月期		令和2年10~12月期		令和3年1~3月期		令和3年4~6月期	
同業者間の競争の激化	55.6%	同業者間の競争の激化	50.0%	同業者間の競争の激化	50.0%	同業者間の競争の激化	44.4%
利幅の縮小	27.8%	売上の停滞・減少	27.8%	売上の停滞・減少	33.3%	売上の停滞・減少 商品物件の不足	27.8%
売上の停滞・減少 商品物件の不足 人手不足	16.7%	利幅の縮小	22.2%	商品物件の不足 大手企業との競争の激化	16.7%	利幅の縮小	16.7%
		商品物件の不足	16.7%				
		人手不足 大手企業との競争の激化 人件費の増加	11.1%	利幅の縮小 人件費の増加 商品物件の高騰	11.1%	人件費の増加 商品物件の高騰	11.1%

## 重点経営施策

(複数回答)



(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和2年7~9月期		令和2年10~12月期		令和3年1~3月期		令和3年4~6月期	
情報力を強化する	44.4%	情報力を強化する	38.9%	宣伝・広告を強化する	44.4%	経費を節減する 不動産の有効活用を図る	33.3%
経費を節減する	38.9%	宣伝・広告を強化する 販路を広げる	33.3%	経費を節減する	38.9%	販路を広げる 情報力を強化する	27.8%
宣伝・広告を強化する 販路を広げる	27.8%	経費を節減する		22.2%			
人材を確保する 不動産の有効活用を図る	16.7%	人材を確保する	16.7%	情報力を強化する 不動産の有効活用を図る	27.8%	宣伝・広告を強化する 人材を確保する	16.7%

## 製造業

- 令和元年12月より革靴・革小物の製造・卸業を営んでいる。今年になって業績が向上して受注が増えたため、先行して材料仕入れ、外注加工費、併せて広告宣伝などの運転資金の調達が必要となっている。

(革製品製造卸)

- 椅子の製造を行っている。創業は昭和48年。内装業者からの依頼で、主に飲食店の椅子を製造し卸している。新型コロナウイルスの影響で飲食店の内装工事の案件が激減し、売上が大きく減少している。特に昨年10月ごろより大きく落ち込み、国の休業補償などの給付金で何とか持ちこたえている。従業員が8人いるが、仕事がないので、休んでもらっている。

(家具製造)

## 卸売業

- 乾物卸売業を営んでいるが、得意先がホテルや飲食店のため新型コロナウイルスの影響で売り上げが減少している。

(乾物卸売)

- 都心部を中心にコンビニエンスストアの青果卸販売を主に営業しているが、新型コロナウイルスの影響により、テレワークの推奨、就業人口の減少、インバウンド客の消滅、飲食店の時短営業などにより、来店客数が大幅に減少している店舗が多く、売上が減少している。商品仕入れ、人件費などの運転資金が必要である。経済情勢の急変により売上が減少し、経営安定化を行うことが必要である。

(青果卸売)

## 小売業

- オリジナルデザインのアパレル業を営んでいるが、新規事業として友人からキッチンカーを借りて移動販売を行う予定である。現在は業務委託でキッチンカーでの調理・仕込みなどの経験を積んでいるところである。6月スタートを目指してキッチンカーでの営業許可の申請を準備中である。

(アパレル)

- とんかつ店を営んでいる。緊急事態宣言発出に伴い、利用客が減少するとともにアルコールの提供自粛により売上が低下している。

(飲食)

## サービス業

- 整体院を営んでいる。ジュエリーアクセサリを利用した耳つぼマッサージのサービスを提供している。顧客は10代後半から20代の女性が多く、順調に事業が伸びている状況である。今後はさらにウェブページの作成やウェブ広告、SNSなどで積極的に広告宣伝を行い、事業を拡大していく予定である。

(整体院)

- 消化器系の内科クリニックを運営しているが、コロナの影響で、来院患者数が2割程度減少した。また、胃や大腸の内視鏡などの検査を受ける患者が減り、保険医療収入も減少したことも経営に打撃を与えている。

(クリニック)

## 建設業

- 公民館や小学校の改修、クリニック、マンション、民家などの改装を主として請け負っている。主なクライアントは、大手建設業者であり、下請けとして安定した業績を維持してきた。新型コロナウイルスの影響で営業ができず、元請けが獲得する案件が減少し当社への発注も減少した。しかし、最近では動きが出始め小学校の建て替え工事の案件も入ってきており、外注確保や資材のために資金が必要な状況である。

(改修・改装)

- 内装工事業を営んでいる。新型コロナの影響で、顧客である飲食業の工事がほぼなくなった。

(内装工事)

## 不動産業

- 不動産賃貸業を営んでいる。大学生の入居者が3分の2くらいおり、コロナ禍で対面授業からリモート授業になっており、実家に帰省してしまって、退去が徐々に目立ち始め、入居者が減少している。入居のため仲介会社へ広告料を支払ったり、退去による原状回復修繕費としての資金が必要になった。

(不動産賃貸)

- 一戸建てを中心にした土地・建物の売買や自社物件の賃貸をしている。コロナの影響で、住宅ローンや投資ローンの審査が厳しくなり、消費者が物件を買い控えるようになった。現在多くの在庫物件を抱えているが、動きが極めて弱い。先の見通しが立たない状況の中、人件費や家賃などの運転資金を確保するため、借入を申込みことにした。

(不動産賃貸)

# 日 銀 短 観

## [調査対象企業数]

(令和3年6月調査) (参考) 事業計画の前提となっている想定為替レート (全規模・全産業)

	製造業	非製造業	合計	回答率	2020年度		2021年度			
					上期	下期	上期	下期		
全国企業	3,888社	5,519社	9,407社	99.2%	106.66	107.00	106.32	106.07	106.04	106.10
うち大企業	986社	886社	1,872社	99.0%	106.82	107.04	106.61	106.71	106.70	106.71
中堅企業	1,013社	1,628社	2,641社	99.1%	121.76	121.06	122.47	123.10	123.09	123.11
中小企業	1,889社	3,005社	4,894社	99.4%	122.58	121.25	123.90	125.27	125.28	125.26

## [業況判断]

(「良い」-「悪い」・%ポイント)

	2021年3月調査		2021年6月調査			
	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
大企業						
製造業	-21	-22	-16	5	-8	8
非製造業	22	7	15	-7	7	-8
全産業	-8	-7	2	10	2	0
中堅企業						
製造業	-41	-33	-35	6	-28	7
非製造業	18	0	16	-2	-2	-18
全産業	-15	-18	-8	7	-9	-1
中小企業						
製造業	-49	-49	-48	1	-38	10
非製造業	9	-7	10	1	-3	-13
全産業	-18	-23	-12	6	-15	-3
全規模合計						
製造業	-6	-7	2	8	0	-2
非製造業	-9	-12	-7	2	-9	-2
全産業	-8	-10	-3	5	-5	-2

## [売上・収益計画]

(前年度比・%)

		2020年度		2021年度	
		(計画)	修正率	(計画)	修正率
大企業	製造業	-7.8	0.5	6.0	3.9
	国内	-7.2	0.3	4.8	2.9
	輸出	-9.0	0.9	8.5	5.9
	非製造業	-9.0	-0.3	0.4	-1.6
	全産業	-8.5	0.0	2.7	0.7
中堅企業	製造業	-6.4	0.6	5.9	2.2
	非製造業	-6.9	1.0	2.8	0.9
	全産業	-6.8	0.9	3.6	1.2
中小企業	製造業	-7.7	1.0	4.0	1.6
	非製造業	-7.0	1.0	1.7	0.7
	全産業	-7.2	1.0	2.2	0.9
全規模合計	製造業	-7.6	0.6	5.6	3.2
	非製造業	-7.9	0.4	1.4	-0.3
	全産業	-7.8	0.5	2.8	0.9

(注) 修正率は、前回調査との対比。

## [需給・在庫・価格判断]

(%ポイント)

中小企業		2021年3月調査		2021年6月調査			
		最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
国内での製商品・サービス需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-26	-27	-21	5	-21	0
	うち素材業種	-28	-29	-23	5	-23	0
	加工業種	-24	-25	-18	6	-19	-1
	非製造業	-25	-26	-22	3	-22	0
海外での製商品需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-18	-18	-9	9	-10	-1
	うち素材業種	-22	-24	-12	10	-13	-1
	加工業種	-17	-14	-8	9	-9	-1
製商品在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	13		10	-3		
	うち素材業種	13		9	-4		
	加工業種	13		11	-2		
製商品流通在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	16		8	-8		
	うち素材業種	18		10	-8		
	加工業種	14		7	-7		
販売価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	0	2	5	5	8	3
	うち素材業種	6	10	15	9	19	4
	加工業種	-5	-4	-2	3	1	3
	非製造業	-5	-4	-1	4	0	1
仕入価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	29	36	43	14	45	2
	うち素材業種	35	39	49	14	47	-2
	加工業種	24	33	39	15	43	4
	非製造業	18	21	25	7	28	3

# 杉並区と東京都全体の企業倒産、休廃業・解散動向

出典：(株) 東京商工リサーチ調べ

## 1. 企業倒産動向

[倒産概況]

(負債総額単位：百万円) (対比率は伸び率)

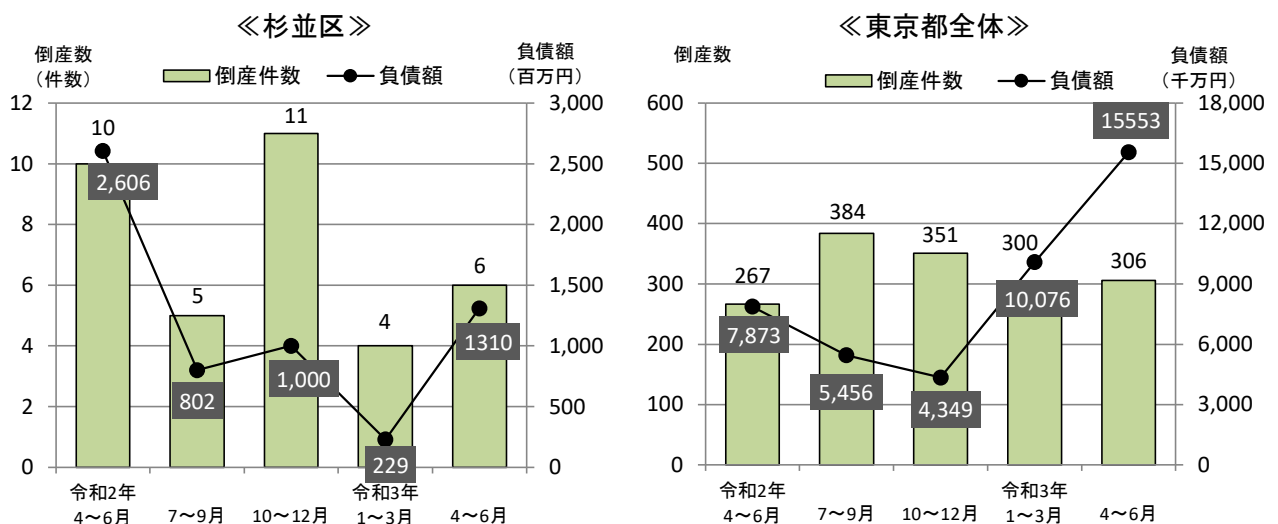
		令和2年	令和3年	令和3年		
		4~6月	1~3月	4~6月	前期比	前年同期比
杉並区	件数	10	4	6	50.0%	-40.0%
	負債総額	2,606	229	1,310	472.1%	-49.7%
東京都全体	件数	267	300	306	2.0%	14.6%
	負債総額	78,727	100,757	155,532	54.4%	97.6%

[業種別倒産概況]

(単位：件) (対比率は伸び率)

		令和2年	令和3年	令和3年		
		4~6月	1~3月	4~6月	前期比	前年同期比
杉並区	製造業	0	0	0	-	-
	卸売業	3	2	1	-50.0%	-66.7%
	小売業	3	0	2	-	-33.3%
	サービス業	0	2	2	0.0%	-
	建設業	0	0	0	-	-
	不動産業	2	0	0	-	-100.0%
	情報通信業・運輸業	0	0	0	-	-
	宿泊業、飲食サービス業	0	0	1	-	-
	その他	2	0	0	-	-100.0%
	合計	10	4	6	50.0%	-40.0%
東京都全体	製造業	20	19	23	21.1%	15.0%
	卸売業	57	53	50	-5.7%	-12.3%
	小売業	25	35	37	5.7%	48.0%
	サービス業	52	68	56	-17.6%	7.7%
	建設業	24	32	39	21.9%	62.5%
	不動産業	17	19	17	-10.5%	0.0%
	情報通信業・運輸業	27	36	35	-2.8%	29.6%
	宿泊業、飲食サービス業	30	22	30	36.4%	0.0%
	その他	15	16	19	18.8%	26.7%
	合計	267	300	306	2.0%	14.6%

[倒産件数と負債額の推移]



## 2. 休廃業・解散動向

### [休廃業概況]

		(件数)	(構成比)	(件数)	(構成比)	(増減比)
		令和3年 1～3月		令和3年 4～6月		前期比
杉	並	62	1.9	53	2.6	2.6
東	京	3,301	100.0	2,018	100.0	100.0

### [業種別休廃業概況]

		(件数)	(構成比)	(件数)	(構成比)	(増減比)
		令和3年 1～3月		令和3年 4～6月		前期比
杉	製	4	6.5	3	5.7	-25.0%
	卸	4	6.5	7	13.2	75.0%
	小	7	11.3	2	3.8	-71.4%
	サ	23	37.1	18	34.0	-21.7%
	建	8	12.9	7	13.2	-12.5%
	不	4	6.5	5	9.4	25.0%
	情	6	9.7	2	3.8	-66.7%
	宿	4	6.5	5	9.4	25.0%
	そ	2	3.2	4	7.5	100.0%
	合	62	100.0	53	100.0	-14.5%
東	製	348	10.5	230	11.4	-33.9%
	卸	309	9.4	194	9.6	-37.2%
	小	277	8.4	150	7.4	-45.8%
	サ	951	28.8	569	28.2	-40.2%
	建	277	8.4	130	6.4	-53.1%
	不	281	8.5	187	9.3	-33.5%
	情	394	11.9	234	11.6	-40.6%
	宿	168	5.1	95	4.7	-43.5%
	そ	296	9.0	229	11.3	-22.6%
	合	3,301	100.0	2,018	100.0	-38.9%

### 1. 企業倒産動向

令和3年4月～6月期の倒産件数は306件と前期比2.0%増、杉並区内は6件で前期比50.0%増となった。業種別に見ると、“サービス業”（56件：18.3%）が最も多く、次いで“卸売業”（50件：16.3%）、“建設業”（39件：12.7%）、“小売業”（37件：12.1%）などであった。また、増減で見ると、“宿泊業、飲食サービス業”（36.4%増）、“建設業”（21.9%増）、“製造業”（21.1%増）で増加し、“サービス業”（17.6%減）、“不動産業”（10.5%減）、“卸売業”（5.7%減）で減少となった。杉並区内では、“小売業”と“サービス業”で各2件、“卸売業”と“宿泊業、飲食サービス業”で各1件であった。

コロナ禍の長期化による景気の落ち込みが激しいにも関わらず、政府や自治体からの資金繰り支援策が奏功し、倒産件数の大幅な増加は避けられている。しかし、再三の緊急事態宣言によって営業制限を受ける“宿泊業、飲食サービス業”では3割以上の増加となっている。

### 2. 休廃業・解散動向

令和3年4月～6月期の休廃業・解散件数は2,018件と前期に対し38.9%の減少となった。杉並区内は53件で14.5%の減少となった。

業種別に見ると、“サービス業”が569件（28.2%）で今期も最も多く、次いで“情報通信・運輸・郵便業”（234件：11.6%）、“製造業”（230件：11.4%）であった。杉並区内でも、“サービス業”が18件（34.0%）で最も多く、次いで“卸売業”と“建設業”（各7件・13.2%）であった。

前期比約4割減少となっているものの、休廃業・解散は倒産に比較して件数が多いことから、特に“宿泊業、飲食サービス業”など緊急事態宣言による営業制限を受けている業種において、雇用面で減少傾向が続くことが大きく懸念されている。

注1. 本調査は、杉並区の状況について記載しており、問2. 3. 5のグラフは本区と東京都全体との比較をしています。  
 注2. 単数回答の質問の場合、小数点2位で四捨五入しているため、値の合計が100%にならないことがあります。

① コロナ禍での事業継続について(業歴)	事業継続:『危機を感じている』58.1% 業歴:『30年以上50年未満』50.7%、『50年以上』24.3%
② 事業継続を困難化させる要因で重視するリスクについて	「仕入や調達の困難化」27.9%、「事業所の使用不能」14.0% 「経営者の離脱」14.0%、「物流の停止」14.0%、「販売先の倒産」14.0%
③ 災害に備えて取っている対策について	「社内の連絡体制の整備」23.0%、「損害保険への加入」19.3% 「必要な資金の確保」18.5%、「特に対策は取っていない」37.0%
④ 「事業継続計画(BCP)」の作成状況について	『作成している』5.2%:「業界団体からの薦め」3.0% 『作成していない』94.8%: →「BCPについてよくわからない」38.8%、「当社には必要ない」36.6%
⑤ 事業継続にあたっての相談先について	「税理士・公認会計士」52.6%、「金融機関」42.2% 「特にない」17.8%

### 問1. 事業継続について

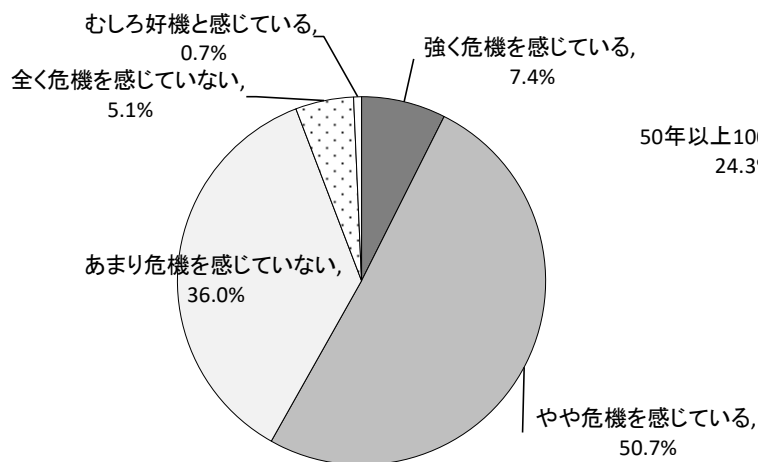
区内の中小企業を対象に現下の状況を受けて、事業継続についてどう感じているかについて伺った。

その結果、事業継続について「やや危機を感じている」が50.7%で最も高く、「強く危機を感じている」(7.4%)を合わせた『危機を感じている』との回答が全体の58.1%と6割近くを占めた。また、「あまり危機を感じていない」が36.0%で、「全く危機を感じていない」(5.1%)を合わせた『危機を感じていない』は41.1%であった。

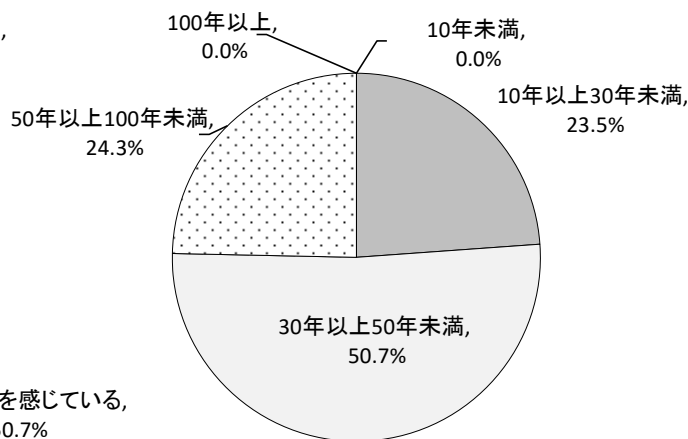
業種別に見ると、『危機を感じている』は“小売業”が87.9%で最も高く、次いで“サービス業”(65.7%)となっている。反対に『危機を感じていない』は“不動産業”が72.3%で最も高く、次いで“建設業”(66.7%)となっている。

業歴については、「30年以上50年未満」が50.7%で5割を占めている。

図表1-1 事業継続について



図表1-2 業歴



※回答により 100%にならないこともあります。



## 問2. 事業継続を困難化させる要因で重視するリスクについて

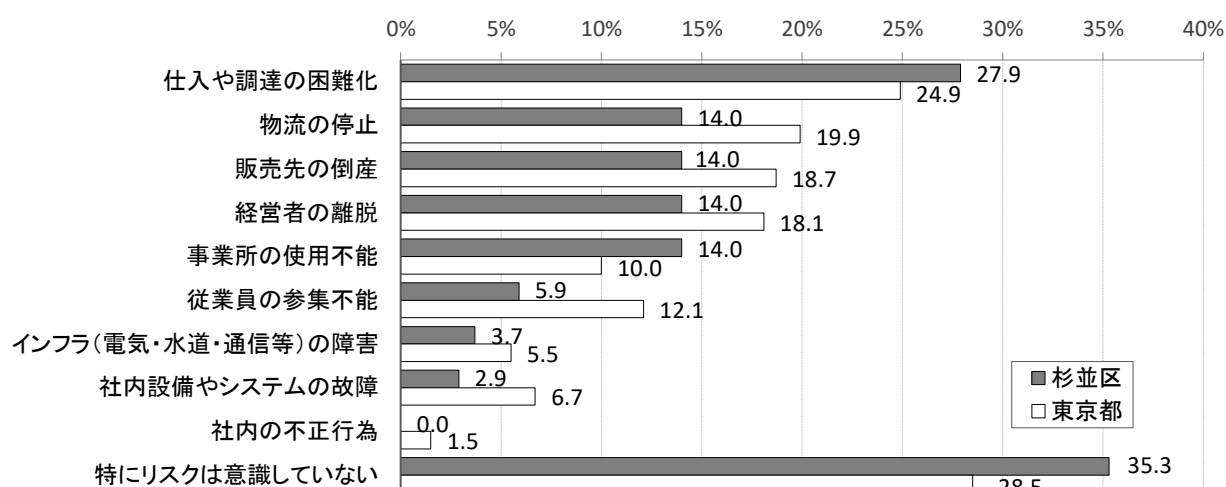
次に事業継続を困難化させる要因について、どのようなリスクを重視しているか伺った(最大3項目まで)。

その結果、「仕入れや調達の困難化」が7.9%で最も高く、次いで、「物流の停止」、「販売先の倒産」、「経営者の離脱」、「事業所の使用不能」(各14.0%)と続いた。一方、「特にリスクは意識していない」は35.3%であった。

業種別に見ると、「仕入れや調達の困難化」は“卸売業”(40.0%)、「物流の停止」は“小売業”(21.7%)、「販売先の倒産」は“卸売業”(53.3%)、「経営者の離脱」は“小売業”(21.2%)で最も高い割合であった。一方、「特にリスクは意識していない」は“不動産業”(50.0%)で最も高い割合であった。

なお、東京都全体と比較すると、「特にリスクは意識していない」で杉並区が6.8ポイント高く、「仕入れや調達の困難化」、「事業所の仕様不能」でも杉並区の方が高い割合であったが、他の7つの項目では、東京都全体の方が高い割合であった。

図表2 事業継続を困難化させる要因(リスク)



## 問3. 災害に備えた対策について

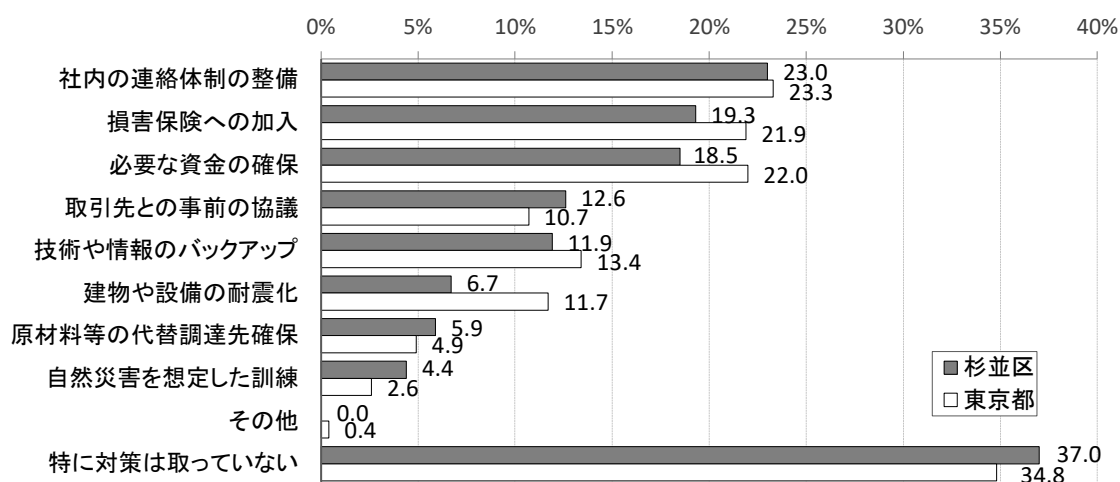
更に、災害に備え、どのような対策をとっているか伺った(最大3項目まで)。

その結果、「社内の連絡体制の整備」が23.0%でも高く、次いで、「損害保険への加入」(19.3%)、「必要な資金の確保」(18.5%)と続いた。一方、「特に対策はとっていない」(37.0%)との回答が全体の3割台半ばを占めた。

業種別に見ると、「社内の連絡体制の整備」は“サービス業”(34.4%)で最も高く、「損害保険への加入」は“不動産業”(33.3%)で最も高い割合であった。一方、「特に対策はとっていない」は“製造業”(45.5%)と“小売業”(43.8%)で4割台半ばで他の業種に比べ高い割合であった。

なお、東京都全体と比較すると、「特にリスクは意識していない」と「仕入れや調達の困難化」は杉並区の方が高い割合であったが、「損害保険への加入」と「必要な資金の確保」は、東京都全体の方が高い割合であった。

図表3 災害に備えてどのような対策をとっているか



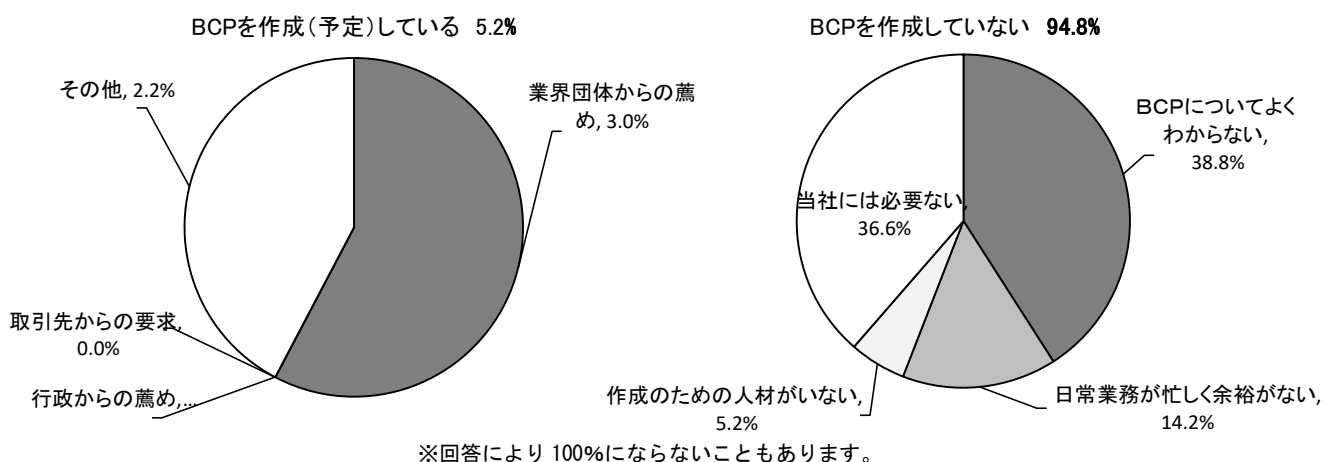
#### 問4. 事業継続計画(BCP)作成(予定)状況ときっかけについて

感染症の蔓延時や災害などの緊急時における業務の早期復旧のためには「事業継続計画(BCP)」の作成が有効とされている。そこで、「事業継続計画(BCP)」の作成状況について、作成(予定)している場合は作成のきっかけについて、作成していない場合はその理由について調査した。

その結果、BCPを「作成(予定)している」との回答は5.2%に留まった。作成のきっかけとしては、「業界団体からの薦め」(3.0%)と「その他」(2.2%)であった。逆に、「作成していない」との回答は全体の94.8%と大半を占めた。作成していない理由としては「BCPについてよくわからない」(38.8%)、「当社には必要ない」(36.6%)、「日常業務が忙しくて余裕がない」(14.2%)などであった。

業種別に見ると、BCPを「作成(予定)している」は、「卸売業」が13.3%で最も高く、「製造業」と「小売業」では該当する事業所が無かった。

図表4 BCP作成(予定)状況ときっかけ・理由



#### 問5. 事業継続にあたり頼りにしている相談先について

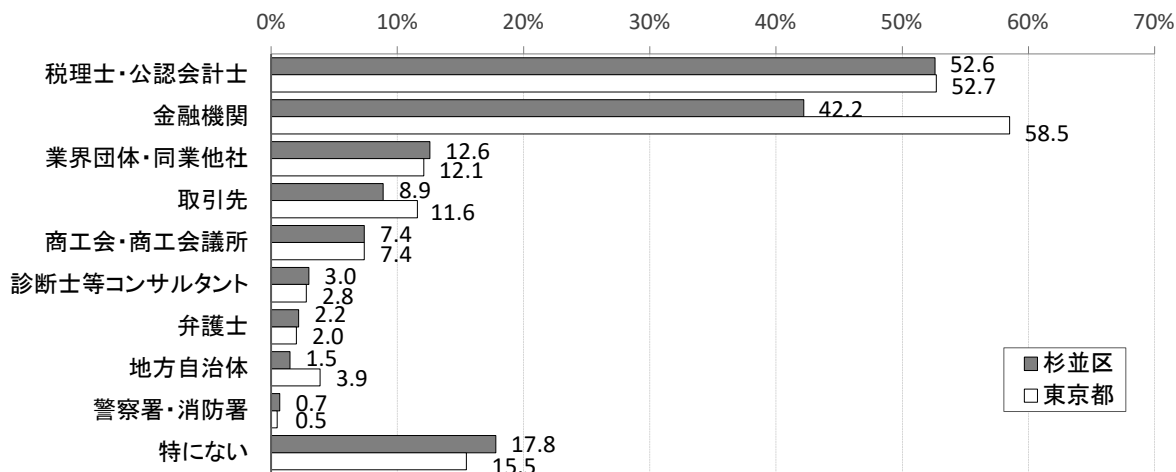
最後に、事業継続にあたって常日頃から頼りにしている相談先について尋ねてみた(最大3項目まで)。

その結果、「税理士・公認会計士」が52.6%で最も高く、次いで、「金融機関」(42.2%)であった。また「特にない」は17.8%であった。

業種別にみると、「税理士・公認会計士」は、「卸売業」(66.7%)で最も高く、「金融機関」は「製造業」(63.6%)で最も高い割合であった。

なお、東京都全体と比較すると、「税理士・公認会計士」はほぼ同じ割合であったが、「金融機関」は東京都全体の方が杉並区より16.3ポイント高くなった。

図表5 事業継続にあたり頼りにしている相談先



# 中小企業景況調査 比較表

(令和3年4月～6月期)

## 製造業

### [今期の景況]

		全体	
		杉並区	全都
業況		-42	-38
売上額		-32	-33
受注残		-43	-29
収益		-34	-32
販売価格		-9	-7
原材料価格		3	10
原材料在庫		1	-5
資金繰り		7	-18
雇用	残業時間	-27	-16
	人手	0	-5
同期比	売上額	-27	-32
	収益	-18	-32
経営上の問題点	① 売上の停滞・減少	73	54
	② 利幅の縮小	46	13
	③ 同業者間の競争の激化	27	24
	④ 大手企業との競争の激化	27	7
	⑤ 工場・機械の狭小・老朽化	9	9
重点経営施策	① 販路を広げる	100	61
	② 経費を節減する	64	45
	③ 提携先を見つける	18	6
	④ 工場・機械を増設・移転する	9	4
	⑤ 教育訓練を強化する	9	4
借入の難易度		20	1

## 卸売業

### [今期の景況]

		全体	
		杉並区	全都
業況		-42	-38
売上額		-35	-33
収益		-40	-32
販売価格		-7	-1
仕入価格		15	14
在庫		2	5
資金繰り		-13	-10
雇用	残業時間	-7	-13
	人手	0	-6
同期比	売上額	-27	-28
	収益	-40	-29
経営上の問題点	① 売上の停滞・減少	67	55
	② 同業者間の競争の激化	33	30
	③ 利幅の縮小	20	17
	④ 大手企業・工場の縮小・撤退	13	1
	⑤ 為替レートの変動	13	4
重点経営施策	① 販路を広げる	67	64
	② 経費を節減する	60	46
	③ 情報力を強化する	33	19
	④ 流通経路の見直しをする	13	6
	⑤ 労働条件を改善する	7	2
借入の難易度		-22	2

### [来期の景況見通し]

業況		-31	-34
売上額		-32	-27
受注残		-43	-24
収益		-27	-26
販売価格		-9	-6
原材料価格		1	8
原材料在庫		1	-5
資金繰り		-4	-17
雇用	残業時間	-18	-14
	人手	0	-5

### [来期の景況見通し]

業況		-49	-34
売上額		-16	-24
収益		-23	-25
販売価格		-7	-1
仕入価格		19	11
在庫		2	3
資金繰り		-14	-11
雇用	残業時間	-7	-11
	人手	-7	-7

\* 季節変動調整済D・Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

\* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

# 小売業

## [今期の景況]

	全体		家具・建具 ・じゅう器		飲食店		飲食料品		衣服、呉服 身の回り品		
	杉並区	全都	杉並区	全都	杉並区	全都	杉並区	全都	杉並区	全都	
業況	-43	-42	-	-52	-75	-71	-24	-38	-6	-55	
売上額	-36	-39	-	-44	-62	-61	-29	-37	-9	-55	
収益	-40	-38	-	-40	-63	-60	-30	-37	-8	-54	
販売価格	0	-4	-	-7	12	-6	-3	-3	-11	-15	
仕入価格	7	4	-	2	11	4	7	6	4	-6	
在庫	18	1	-	-6	34	4	20	1	-16	6	
資金繰り	-36	-22	-	-23	-76	-38	-20	-18	11	-35	
雇用	残業時間	-12	-13	0	-9	-40	-30	0	-10	-17	-13
	人手	-12	-4	0	-3	10	3	-18	-7	-50	-3
同期比	売上額	-33	-38	-100	-54	-50	-60	-27	-38	-17	-47
	収益	-36	-38	-100	-52	-60	-59	-27	-39	-17	-43
	販売価格	-6	-7	0	-9	-10	-11	0	-6	-17	-15
経営上の 問題点	① 売上の停滞・減少	55	54	-	57	70	77	46	51	50	66
	② 同業者間の競争の激化	36	22	-	40	-	15	55	21	50	19
	③ 大型店との競争の激化	24	21	-	31	20	7	36	26	17	20
	④ 商店街の集客力の低下	21	17	100	17	10	17	18	18	50	21
	⑤ 人手不足	18	7	-	3	10	6	36	8	-	5
重点経営 施策	① 宣伝・広告を強化する	33	22	-	20	20	22	18	20	67	26
	② 経費を節減する	33	43	-	31	40	51	36	43	17	33
	③ 品揃えを改善する	33	30	-	26	10	14	36	33	67	39
	④ 人材を確保する	15	5	-	-	20	6	27	6	-	1
	⑤ 商店街事業を活性化させる	12	13	100	14	-	13	-	14	33	16
借入の難易度	-4	-4	0	13	-38	-11	14	-5	0	-9	

## [来期の景況見通し]

業況	-52	-40	-	-62	-78	-71	-36	-36	-28	-50	
売上額	-35	-33	-	-51	-61	-57	-35	-30	-12	-38	
収益	-40	-33	-	-51	-63	-56	-34	-30	-15	-40	
販売価格	1	-5	-	-6	11	-7	1	-3	-15	-12	
仕入価格	4	3	-	1	11	3	-2	4	4	-4	
在庫	13	0	-	-5	35	1	16	-1	-17	5	
資金繰り	-35	-20	-	-21	-76	-38	-18	-18	4	-29	
雇用	残業時間	-18	-11	0	-6	-30	-23	-18	-10	-17	-11
	人手	-3	-4	0	-3	10	0	9	-6	-50	-3

\* 季節変動調整済D-Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

\* 単純D-Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

# サービス業

## [今期の景況]

		全 体		洗濯、理容 美容業		自動車整備業 駐車場業	
		杉並区	全都	杉並区	全都	杉並区	全都
業況		-35	-36	-27	-55	-50	-27
売上額		-35	-33	-30	-51	-47	-24
収益		-36	-32	-23	-48	-47	-24
料金価格		-2	-3	2	-2	-12	-6
材料価格		7	4	4	3	21	2
資金繰り		-11	-13	-4	-26	-30	-16
雇 用	残業時間	-9	-16	-8	-13	-17	-6
	人手	0	-11	-8	-4	0	-15
同 期 比	売上額	-41	-30	-33	-42	-50	-27
	収益	-41	-30	-33	-41	-50	-27
経 営 上 の 問 題 点	① 売上の停滞・減少	63	49	75	55	50	42
	② 同業者間の競争の激化	41	30	67	35	50	36
	③ 利幅の縮小	13	10	-	8	17	13
	④ 取引先の減少	9	9	-	8	17	11
	⑤ 人件費の増加	9	10	8	4	-	5
重 点 経 営 施 策	① 経費を節減する	56	42	58	41	67	41
	② 販路を広げる	50	42	50	29	50	49
	③ 宣伝・広告を強化する	31	19	58	28	17	15
	④ 技術力を強化する	19	13	33	13	-	19
	⑤ 人材を確保する	13	16	-	5	17	12
借入の難易度		15	0	0	-8	0	0

## [来期の景況見通し]

業況		-32	-33	-39	-51	-36	-25
売上額		-21	-26	-29	-39	-18	-17
収益		-22	-25	-30	-37	-20	-19
料金価格		0	-2	0	0	-2	-3
材料価格		9	5	4	4	22	5
資金繰り		-8	-12	-5	-21	-21	-13
雇 用	残業時間	-6	-13	-8	-12	0	-5
	人手	0	-11	-8	-4	0	-13

\* 季節変動調整済D・Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

\* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

## 建設業

### [今期の景況]

		全体	
		杉並区	全都
業況		-2	-10
売上額		-1	-14
受注残		2	-11
施工高		6	-11
収益		-3	-16
請負価格		0	-3
材料価格		0	20
在庫		-3	-2
資金繰り		9	-2
雇用	残業時間	0	-12
	人手	-8	-18
同期比	売上額	-12	-18
	収益	-15	-20
経営上の問題点	① 売上の停滞・減少	37	37
	② 同業者間の競争の激化	33	32
	③ 材料価格の上昇	26	20
	④ 人件費の増加	19	7
	⑤ 大手企業との競争の激化	19	10
重点経営施策	① 経費を節減する	56	42
	② 人材を確保する	33	36
	③ 販路を広げる	33	46
	④ 情報力を強化する	22	18
	⑤ 技術力を高める	19	19
借入の難易度		12	8

### [来期の景況見通し]

業況		-33	-11
売上額		-9	-12
受注残		-16	-12
施工高		-8	-10
収益		-14	-16
請負価格		-8	-4
材料価格		-4	20
在庫		0	-3
資金繰り		2	-4
雇用	残業時間	8	-8
	人手	-19	-20

\* 季節変動調整済D・Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

\* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

## 不動産業

### [今期の景況]

		全体	
		杉並区	全都
業況		2	-13
売上額		-28	-13
収益		-31	-13
販売価格		-2	5
仕入価格		17	18
在庫		-21	-17
資金繰り		-2	-1
雇用	残業時間	-17	-10
	人手	-17	-5
同期比	売上額	-39	-14
	収益	-39	-16
経営上の問題点	① 同業者間の競争の激化	44	32
	② 商品物件の不足	28	31
	③ 売上の停滞・減少	28	28
	④ 利幅の縮小	17	15
	⑤ 人件費の増加	11	3
重点経営施策	① 不動産の有効活用を図る	33	13
	② 経費を節減する	33	29
	③ 情報力を強化する	28	41
	④ 販路を広げる	28	31
	⑤ 人材を確保する	17	7
借入の難易度		25	7

### [来期の景況見通し]

業況		0	-14
売上額		-13	-13
収益		-16	-13
販売価格		2	3
仕入価格		15	14
在庫		-22	-17
資金繰り		1	-1
雇用	残業時間	-17	-9
	人手	-11	-5

# 中小企業景況調査 転記表

(令和3年4月～6月期)

製造業  
地域名: 杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.1

令和3年4月～6月期

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期	令和元年		令和元年		令和元年		令和2年		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		対前期比	令和3年 7月～9月期	
		7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期				
業況	良い	9.1	25.0	27.3	9.1	9.1	20.0	-	9.1	-	9.1	-	-	-	-	-	-	-	-	
	普通	72.7	66.7	36.3	72.7	54.5	60.0	9.1	81.8	36.4	18.2	54.5	40.0	45.5	72.7	54.5	63.6		63.6	
	悪い	18.2	8.3	36.4	18.2	36.4	20.0	90.9	9.1	63.6	72.7	45.5	60.0	54.5	27.3	45.5	36.4		36.4	
	D・I	-9.1	16.7	-9.1	-9.1	-27.3	0.0	-90.9	0.0	-63.6	-63.6	-45.5	-60.0	-54.5	-27.3	-45.5	-36.4		-36.4	
	修正値	<b>-7.6</b>	<b>7.5</b>	<b>-1.9</b>	<b>-12.0</b>	<b>-31.3</b>	<b>3.6</b>	<b>-90.6</b>	<b>-2.8</b>	<b>-63.7</b>	<b>-62.5</b>	<b>-43.6</b>	<b>-59.6</b>	<b>-56.9</b>	<b>-28.1</b>	<b>-42.0</b>	<b>-39.7</b>	<b>14.9</b>		<b>-31.0</b>
	傾向値	-4.7		-1.7		-3.8		-20.7		-40.9		-52.3		-60.2		-58.0				
売上額	増加	25.0	16.7	27.3	9.1	18.2	30.0	-	18.2	9.1	9.1	-	-	-	-	9.1	-		-	
	変らず	58.3	75.0	54.5	72.7	63.6	70.0	18.2	72.7	27.3	27.3	45.5	45.5	45.5	72.7	45.4	72.7		63.6	
	減少	16.7	8.3	18.2	18.2	18.2	-	81.8	9.1	63.6	63.6	54.5	54.5	54.5	27.3	45.5	27.3		36.4	
	D・I	8.3	8.4	9.1	-9.1	0.0	30.0	-81.8	9.1	-54.5	-54.5	-54.5	-54.5	-54.5	-27.3	-36.4	-27.3		-36.4	
	修正値	<b>6.6</b>	<b>2.8</b>	<b>9.1</b>	<b>-11.2</b>	<b>-3.5</b>	<b>26.1</b>	<b>-80.2</b>	<b>10.9</b>	<b>-54.0</b>	<b>-53.3</b>	<b>-53.7</b>	<b>-52.1</b>	<b>-55.5</b>	<b>-31.0</b>	<b>-32.1</b>	<b>-29.1</b>	<b>23.4</b>		<b>-31.7</b>
	傾向値	4.1		8.8		9.7		-3.8		-24.0		-39.8		-54.5		-55.7				
受注残	増加	16.7	16.7	18.2	9.1	18.2	20.0	-	18.2	10.0	9.1	-	-	-	-	9.1	-		-	
	変らず	66.6	75.0	63.6	72.7	72.7	80.0	18.2	72.7	30.0	27.3	36.4	50.0	36.4	54.5	36.4	63.6		54.5	
	減少	16.7	8.3	18.2	18.2	9.1	-	81.8	9.1	60.0	63.6	63.6	50.0	63.6	45.5	54.5	36.4		45.5	
	D・I	0.0	8.4	0.0	-9.1	9.1	20.0	-81.8	9.1	-50.0	-54.5	-63.6	-50.0	-63.6	-45.5	-45.4	-36.4		-45.5	
	修正値	<b>-1.8</b>	<b>0.1</b>	<b>1.1</b>	<b>-7.4</b>	<b>3.6</b>	<b>16.2</b>	<b>-80.4</b>	<b>9.8</b>	<b>-48.6</b>	<b>-54.9</b>	<b>-60.8</b>	<b>-45.6</b>	<b>-65.1</b>	<b>-45.7</b>	<b>-42.5</b>	<b>-38.3</b>	<b>22.6</b>		<b>-43.2</b>
	傾向値	-0.9		2.5		5.3		-5.9		-24.4		-38.6		-55.7		-60.2				
収益	増加	25.0	16.7	18.2	9.1	9.1	20.0	-	18.2	-	9.1	-	-	-	-	9.1	-		-	
	変らず	58.3	75.0	54.5	72.7	72.7	60.0	27.3	63.6	36.4	36.4	45.5	45.5	45.5	63.6	45.4	72.7		72.7	
	減少	16.7	8.3	27.3	18.2	18.2	20.0	72.7	18.2	63.6	54.5	54.5	54.5	54.5	36.4	45.5	27.3		27.3	
	D・I	8.3	8.4	-9.1	-9.1	-9.1	0.0	-72.7	0.0	-63.6	-45.4	-54.5	-54.5	-54.5	-36.4	-36.4	-27.3		-27.3	
	修正値	<b>9.5</b>	<b>2.4</b>	<b>-5.9</b>	<b>-7.5</b>	<b>-15.9</b>	<b>1.9</b>	<b>-71.2</b>	<b>-4.6</b>	<b>-61.4</b>	<b>-46.9</b>	<b>-52.1</b>	<b>-49.8</b>	<b>-57.5</b>	<b>-34.5</b>	<b>-34.4</b>	<b>-32.9</b>	<b>23.1</b>		<b>-27.1</b>
	傾向値	0.1		3.5		2.8		-9.5		-29.6		-44.3		-55.7		-56.8				
価格動向	販売価格	8.3	16.7	9.1	9.1	0.0	0.0	-18.2	9.1	-9.1	-9.1	-9.1	-9.1	-9.1	-18.2	-9.1	-9.1		-9.1	
	修正値	<b>4.4</b>	<b>16.0</b>	<b>12.4</b>	<b>8.6</b>	<b>0.6</b>	<b>0.0</b>	<b>-19.1</b>	<b>6.9</b>	<b>-9.5</b>	<b>-9.7</b>	<b>-7.8</b>	<b>-8.5</b>	<b>-7.9</b>	<b>-16.8</b>	<b>-8.6</b>	<b>-11.0</b>	<b>-0.7</b>	<b>-9.3</b>	
	傾向値	6.4		9.5		10.6		5.2		-2.4		-6.8		-10.2		-10.2				
	原材料価格	33.3	16.7	18.2	18.2	18.2	10.0	-9.1	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-9.1	0.0	0.0		0.0	
	修正値	<b>38.9</b>	<b>19.7</b>	<b>21.5</b>	<b>22.2</b>	<b>18.1</b>	<b>13.4</b>	<b>-6.9</b>	<b>17.1</b>	<b>3.4</b>	<b>2.7</b>	<b>1.1</b>	<b>1.7</b>	<b>-1.8</b>	<b>-5.9</b>	<b>2.5</b>	<b>-3.5</b>	<b>4.3</b>	<b>1.2</b>	
	傾向値	17.2		23.7		24.8		19.4		11.0		4.6		0.0		-1.1				
在庫・資金繰り	原材料在庫数量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-9.1	0.0	9.1	-9.1	-9.1	9.1	9.1	-9.1	0.0	9.1		0.0	
	修正値	<b>1.7</b>	<b>1.9</b>	<b>1.3</b>	<b>0.0</b>	<b>-0.3</b>	<b>-1.2</b>	<b>-9.3</b>	<b>0.8</b>	<b>6.0</b>	<b>-7.6</b>	<b>-9.0</b>	<b>5.1</b>	<b>7.6</b>	<b>-10.2</b>	<b>1.1</b>	<b>6.9</b>	<b>-6.5</b>	<b>1.1</b>	
	資金繰り	-8.4	-8.4	-18.2	-9.1	-18.2	-20.0	-63.6	-9.1	-45.5	-54.5	-9.1	-45.5	0.0	-9.1	0.0	0.0		-9.1	
	修正値	<b>-6.6</b>	<b>-6.1</b>	<b>-17.1</b>	<b>-7.6</b>	<b>-22.1</b>	<b>-18.9</b>	<b>-59.7</b>	<b>-13.7</b>	<b>-44.2</b>	<b>-51.3</b>	<b>-13.7</b>	<b>-43.6</b>	<b>-8.8</b>	<b>-11.1</b>	<b>6.8</b>	<b>-10.4</b>	<b>15.6</b>	<b>-4.1</b>	
前年同期比	売上額	8.3		9.1		0.0		-90.9		-63.6		-72.7		-45.4		-27.3				
	収益	8.3		0.0		-9.1		-81.8		-54.5		-72.7		-45.4		-18.2				
雇用	残業時間	25.0	0.0	-9.1	27.3	-9.1	10.0	-36.4	-9.1	-18.2	-18.2	-9.1	0.0	-27.3	-9.1	-27.3	-27.3		-18.2	
	人手	-58.3	0.0	-18.2	-45.5	-27.3	-20.0	-27.3	-27.3	-18.2	-27.3	-9.1	-18.2	0.0	-9.1	0.0	0.0		0.0	
借入金	借入をした/借入の予定あり(%)	41.7	33.3	27.3	33.3	36.4	30.0	27.3	27.3	27.3	63.6	36.4	36.4	27.3	18.2	27.3	27.3		9.1	
	借入しない/借入の予定なし(%)	58.3	66.7	72.7	66.7	63.6	70.0	72.7	72.7	72.7	36.4	63.6	63.6	72.7	81.8	72.7	72.7		90.9	
	借入難易度	<b>0.0</b>		<b>-20.0</b>		<b>0.0</b>		<b>11.1</b>		<b>20.0</b>		<b>11.1</b>		<b>20.0</b>		<b>20.0</b>				
有効回答事業所数	12		11		11		11		11		11		11		11					

製造業  
地域名：杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.2

令和3年4月～6月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		令和元年		令和元年		令和元年		令和2年		令和2年		令和2年		令和2年		令和3年		対 前期比	令和3年 4月～7月期
	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	4月～6月期	4月～6月期			
設備投資動向(%)	現在の設備	-8.3	0.0	0.0	-9.1	0.0	-10.0	-9.1	0.0	-18.2	-9.1	-18.2	-18.2	0.0	-18.2	0.0	0.0		0.0	
	実施した・予定あり	8.3	16.7	18.2	9.1	18.2	12.5	18.2	20.0	27.3	18.2	18.2	27.3	9.1	10.0	9.1	0.0		0.0	
	事業用土地・建物	100.0	50.0	50.0	100.0	50.0	100.0	50.0	50.0	33.3	50.0	50.0	33.3	-	100.0	-	-		-	
	機械・設備の新・増設	100.0	-	-	100.0	50.0	-	50.0	50.0	33.3	50.0	-	33.3	-	-	-	-		-	
	機械・設備の更改	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-		-	
	事務機器	-	-	50.0	-	-	-	-	-	33.3	-	50.0	33.3	100.0	-	100.0	-		-	
	車両	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	
	実施しない・予定なし	91.7	83.3	81.8	90.9	81.8	87.5	81.8	80.0	72.7	81.8	81.8	72.7	90.9	90.0	90.9	100.0		100.0	
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	58.3		63.6		45.5		63.6		63.6		63.6		63.6		72.7			
人手不足		33.3		27.3		27.3		-		9.1		18.2		-		-				
大手企業との競争の激化		-		9.1		18.2		18.2		18.2		18.2		27.3		27.3				
同業者間の競争の激化		8.3		9.1		27.3		18.2		27.3		27.3		18.2		27.3				
親企業による選別の強化		-		-		-		-		-		-		-		-				
輸入製品との競争の激化		-		-		-		-		-		-		-		-				
合理化の不足		16.7		-		-		-		-		-		-		-				
利幅の縮小		33.3		45.5		27.3		27.3		27.3		36.4		36.4		45.5				
原材料高		16.7		27.3		27.3		27.3		18.2		9.1		9.1		9.1				
販売納入先からの値下げ要請		8.3		9.1		9.1		9.1		9.1		9.1		9.1		9.1				
仕入先からの値上げ要請		8.3		-		-		-		-		-		-		-				
人件費の増加		8.3		9.1		-		-		-		-		-		-				
人件費以外の経費増加		-		-		-		-		-		-		-		-				
工場・機械の狭小・老朽化		16.7		9.1		9.1		9.1		9.1		9.1		9.1		9.1				
生産能力の不足		-		-		-		-		-		-		-		-				
下請の確保難		-		-		-		-		-		-		-		-				
代金回収の悪化		-		9.1		-		-		-		-		-		-				
地価の高騰		-		-		-		-		-		-		-		-				
天候の不順		-		-		-		-		-		-		-		-				
地場産業の衰退		-		-		-		-		-		-		-		-				
大手企業・工場の縮小・撤退		-		-		-		-		-		-		-		-				
為替レートの変動		-		-		9.1		-		-		9.1		-		-				
その他		-		-		9.1		18.2		-		-		-		-				
問題なし	-		-		-		-		-		-		9.1		-					
重点経営施策(%)	販路を広げる	50.0		90.9		90.9		90.9		90.9		90.9		90.9		100.0				
	経費を節減する	33.3		36.4		36.4		36.4		45.5		54.5		63.6		63.6				
	情報力を強化する	-		9.1		9.1		-		9.1		-		9.1		9.1				
	新製品・技術を開発する	16.7		18.2		9.1		9.1		18.2		-		9.1		9.1				
	不採算部門を整理・縮小する	-		-		-		-		-		-		-		-				
	提携先を見つける	25.0		18.2		18.2		18.2		18.2		18.2		27.3		18.2				
	機械化を推進する	8.3		-		-		-		-		-		9.1		-				
	人材を確保する	41.7		27.3		36.4		18.2		9.1		27.3		9.1		9.1				
	パート化を図る	-		-		-		-		-		-		-		-				
	教育訓練を強化する	-		9.1		-		-		-		-		-		9.1				
	労働条件を改善する	-		-		-		-		-		-		-		-				
	工場・機械を増設・移転する	8.3		9.1		9.1		9.1		9.1		9.1		9.1		9.1				
	不動産の有効活用を図る	-		-		-		-		-		-		-		-				
	その他	-		-		9.1		9.1		-		-		-		-				
特になし	-		-		-		-		-		-		-		-					
有効回答事業所数	12		11		11		11		11		11		11		11					



卸売業  
地域名：杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.1

令和3年4月～6月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期		令和元年		令和元年		令和元年		令和2年		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		対 前期比	令和3年 7月～9月期
	7月～9月期	10月～12月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期				
業 況	良 い	6.3	-	6.7	6.7	6.7	-	-	-	-	-	6.7	-	7.1	-	6.7	7.1		-	
	普 通	62.4	68.7	53.3	60.0	60.0	53.3	28.6	46.7	46.7	28.6	46.6	46.7	28.6	50.0	40.0	35.7		46.7	
	悪 い	31.3	31.3	40.0	33.3	33.3	46.7	71.4	53.3	53.3	71.4	46.7	53.3	64.3	50.0	53.3	57.2		53.3	
	D・I	-25.0	-31.3	-33.3	-26.6	-26.6	-46.7	-71.4	-53.3	-53.3	-71.4	-40.0	-53.3	-57.2	-50.0	-46.6	-50.1		-53.3	
	修 正 値	<b>-20.8</b>	<b>-29.5</b>	<b>-31.9</b>	<b>-27.8</b>	<b>-25.5</b>	<b>-42.5</b>	<b>-70.1</b>	<b>-51.4</b>	<b>-50.6</b>	<b>-70.0</b>	<b>-38.0</b>	<b>-55.1</b>	<b>-54.6</b>	<b>-46.2</b>	<b>-41.8</b>	<b>-46.6</b>	<b>12.8</b>	<b>-49.3</b>	
	傾 向 値	-25.0		-26.0		-26.5		-32.5		-42.6		-47.0		-51.7		-52.4				
売 上 額	増 加	6.3	-	13.3	12.5	13.3	13.3	14.3	6.7	6.7	7.1	6.7	-	7.1	-	6.7	14.3		6.7	
	変 ら ず	68.7	75.0	46.7	62.5	53.4	53.4	21.4	53.3	20.0	21.4	40.0	40.0	28.6	40.0	53.3	35.7		66.6	
	減 少	25.0	25.0	40.0	25.0	33.3	33.3	64.3	40.0	73.3	71.5	53.3	60.0	64.3	60.0	40.0	50.0		26.7	
	D・I	-18.7	-25.0	-26.7	-12.5	-20.0	-20.0	-50.0	-33.3	-66.6	-64.4	-46.6	-60.0	-57.2	-60.0	-33.3	-35.7		-20.0	
	修 正 値	<b>-19.7</b>	<b>-23.5</b>	<b>-21.9</b>	<b>-14.4</b>	<b>-17.4</b>	<b>-18.5</b>	<b>-51.4</b>	<b>-32.8</b>	<b>-65.6</b>	<b>-60.1</b>	<b>-40.3</b>	<b>-60.3</b>	<b>-54.9</b>	<b>-57.2</b>	<b>-35.0</b>	<b>-36.6</b>	<b>19.9</b>	<b>-15.5</b>	
	傾 向 値	-16.4		-18.9		-19.3		-24.2		-34.8		-43.3		-50.5		-53.0				
収 益	増 加	-	-	6.7	-	13.3	6.7	7.1	6.7	6.7	7.1	6.7	-	7.1	-	6.7	14.3		6.7	
	変 ら ず	68.7	75.0	53.3	75.0	53.4	60.0	28.6	53.3	26.7	21.4	53.3	33.3	28.6	53.3	46.6	35.7		60.0	
	減 少	31.3	25.0	40.0	25.0	33.3	33.3	64.3	40.0	66.6	71.5	40.0	66.7	64.3	46.7	46.7	50.0		33.3	
	D・I	-31.3	-25.0	-33.3	-25.0	-20.0	-26.6	-57.2	-33.3	-59.9	-64.4	-33.3	-66.7	-57.2	-46.7	-40.0	-35.7		-26.6	
	修 正 値	<b>-31.0</b>	<b>-25.6</b>	<b>-29.0</b>	<b>-25.4</b>	<b>-15.9</b>	<b>-22.2</b>	<b>-58.7</b>	<b>-34.2</b>	<b>-57.9</b>	<b>-61.6</b>	<b>-28.9</b>	<b>-65.8</b>	<b>-53.5</b>	<b>-42.9</b>	<b>-40.1</b>	<b>-37.0</b>	<b>13.4</b>	<b>-23.3</b>	
	傾 向 値	-22.7		-26.1		-26.5		-30.7		-39.0		-42.6		-47.3		-49.8				
価 格 動 向	販 売 価 格	0.0	-12.5	-13.3	0.0	-6.6	-13.3	0.0	-6.6	-13.3	-7.2	-13.3	-13.3	-14.3	-13.3	-6.6	-21.5		-6.6	
	” 修 正 値	<b>2.6</b>	<b>-11.1</b>	<b>-12.5</b>	<b>0.7</b>	<b>-5.4</b>	<b>-12.4</b>	<b>1.6</b>	<b>-2.6</b>	<b>-11.4</b>	<b>-5.4</b>	<b>-11.4</b>	<b>-13.0</b>	<b>-13.3</b>	<b>-12.6</b>	<b>-7.3</b>	<b>-17.5</b>	<b>6.0</b>	<b>-6.6</b>	
	” 傾 向 値	-5.5		-5.6		-7.3		-6.5		-6.6		-8.3		-9.3		-11.1				
	仕 入 価 格	18.8	37.5	13.3	18.8	26.7	6.6	35.7	33.3	6.6	28.6	6.6	20.0	21.4	0.0	20.0	7.1		26.7	
	” 修 正 値	<b>24.0</b>	<b>36.7</b>	<b>18.0</b>	<b>23.2</b>	<b>26.1</b>	<b>8.8</b>	<b>32.3</b>	<b>34.9</b>	<b>13.8</b>	<b>25.2</b>	<b>12.9</b>	<b>24.9</b>	<b>19.1</b>	<b>4.2</b>	<b>15.2</b>	<b>7.7</b>	<b>-3.9</b>	<b>19.3</b>	
	” 傾 向 値	20.3		21.2		20.7		22.3		22.1		19.7		18.2		15.6				
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在 庫 数 量	12.5	20.0	-6.7	6.3	13.3	-6.7	7.1	6.6	-13.3	0.0	-13.3	-13.3	0.0	-20.0	6.7	7.1		6.7	
	” 修 正 値	<b>10.9</b>	<b>16.1</b>	<b>-3.1</b>	<b>5.6</b>	<b>12.3</b>	<b>-3.9</b>	<b>6.7</b>	<b>7.8</b>	<b>-12.2</b>	<b>-2.2</b>	<b>-7.4</b>	<b>-11.4</b>	<b>-2.9</b>	<b>-15.8</b>	<b>1.7</b>	<b>4.3</b>	<b>4.6</b>	<b>1.5</b>	
	資 金 繰 り	-18.7	-20.0	-20.0	-12.5	-13.4	-20.0	-50.1	-33.3	-40.0	-57.2	-26.6	-40.0	-21.4	-40.0	-13.3	-7.2		-13.3	
	” 修 正 値	<b>-23.5</b>	<b>-27.3</b>	<b>-22.2</b>	<b>-17.6</b>	<b>-6.6</b>	<b>-20.6</b>	<b>-48.6</b>	<b>-24.7</b>	<b>-40.7</b>	<b>-56.1</b>	<b>-28.2</b>	<b>-41.9</b>	<b>-19.1</b>	<b>-41.5</b>	<b>-13.3</b>	<b>-4.1</b>	<b>5.8</b>	<b>-13.8</b>	
前 年 同 期 比	売 上 額	-25.0		-13.4		-13.3		-64.3		-59.9		-40.1		-57.2		-26.7				
	収 益	-31.3		-20.0		-26.6		-64.4		-59.9		-40.1		-57.2		-40.0				
	販 売 価 格	0.0		0.0		-6.6		-21.5		-13.3		-26.7		-7.1		-6.6				
雇 用	残 業 時 間	0.0	6.2	-6.6	6.2	13.3	0.0	-28.6	-6.7	-20.0	-21.4	-20.0	-20.0	-21.4	-6.6	-6.7	-7.2		-6.7	
	人 手	-25.0	-18.8	-20.0	-25.0	-20.0	-20.0	7.1	-20.0	-14.3	0.0	-14.3	-15.4	7.7	-14.3	0.0	7.7		-7.2	
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	18.8	18.8	26.7	25.0	13.3	0.0	28.6	6.7	33.3	28.6	26.7	13.3	28.6	6.7	6.7	7.1		0.0	
	借入しない/借入の予定なし(%)	81.2	81.2	73.3	75.0	86.7	100.0	71.4	93.3	66.7	71.4	73.3	86.7	71.4	93.3	93.3	92.9		100.0	
	借 入 難 易 度	<b>-33.3</b>		<b>-30.8</b>		<b>-33.3</b>		<b>-33.3</b>		<b>-21.5</b>		<b>-21.5</b>		<b>-23.1</b>		<b>-21.5</b>				
有効回答事業所数	16		15		15		14		15		15		14		15					

卸売業  
地域名: 杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.2

令和3年4月～6月期

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		令和元年		令和元年		令和元年		令和2年		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		対 前期比	令和3年 7月～9月期
	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期					
設備投資動向(%)	現在の設備	-12.5	-12.5	-6.6	-6.3	-7.2	-6.6	-7.1	-7.2	-20.0	-14.3	-13.3	-20.0	-21.4	-13.3	-13.3	-14.3		-13.3	
	実施した・予定あり	18.8	18.8	20.0	13.3	13.3	6.7	14.3	20.0	13.3	7.1	13.3	13.3	7.1	13.3	21.4	14.3		14.3	
	事業用土地・建物	33.3	33.3	33.3	50.0	50.0	100.0		33.3											
	機械・設備の新・増設								33.3	100.0	100.0	100.0	50.0	100.0	50.0	33.3	50.0		50.0	
	機械・設備の更改	66.7	33.3	33.3	50.0	50.0	100.0	50.0	66.7	50.0	100.0	50.0	100.0	100.0	66.7	100.0		50.0		
	事務機器	66.7	33.3	33.3	50.0	50.0		50.0				50.0	50.0		50.0					
	車両	66.7	66.7	66.7				50.0	33.3	50.0	100.0	50.0				33.3			50.0	
	その他															33.3				
	実施しない・予定なし	81.2	81.2	80.0	86.7	86.7	93.3	85.7	80.0	86.7	92.9	86.7	86.7	92.9	86.7	78.6	85.7		85.7	
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	31.3		40.0		40.0		28.6		40.0		53.3		64.3		66.7			
人手不足		18.8		26.7		26.7		21.4		13.3		13.3		14.3		6.7				
同業者間の競争の激化		37.5		46.7		33.3		21.4		26.7		33.3		35.7		33.3				
輸入品との競争の激化		18.8		6.7		6.7		7.1		6.7		6.7		7.1		6.7				
流通経路の変化による競争の激化		6.3				6.7				6.7				7.1		6.7				
合理化の不足				13.3		13.3				6.7						6.7				
小口注文・多頻度配送の増加		12.5		6.7		6.7														
利幅の縮小		18.8		13.3		6.7		21.4		20.0		13.3		7.1		20.0				
取扱商品の陳腐化																				
販売商品の不足						6.7				6.7		13.3		7.1						
販売納入先からの値下げ要請								7.1						7.1		6.7				
仕入先からの値上げ要請		6.3		6.7		6.7		7.1		13.3				14.3		6.7				
人件費の増加		12.5		6.7																
人件費以外の経費の増加		12.5				6.7		7.1		6.7		6.7		7.1						
取引先の減少		12.5		20.0		13.3		7.1		13.3		20.0		21.4		13.3				
店舗の狭小・老朽化										6.7										
代金回収の悪化						6.7										6.7				
地価の高騰																				
駐車場の確保難																6.7				
天候の不順				6.7		6.7														
地場産業の衰退																				
為替レートの変動		12.5		13.3		13.3		14.3		13.3		13.3		14.3		13.3				
大手企業・工場の縮小・撤退		12.5		13.3		6.7		14.3		13.3		13.3		7.1		13.3				
その他		6.3		6.7		13.3		35.7		13.3		13.3		21.4		13.3				
問題なし		12.5		6.7		6.7		7.1		6.7										
重点経営施策(%)	販路を広げる	56.3		73.3		66.7		50.0		60.0		60.0		78.6		66.7				
	経費を節減する	62.5		60.0		66.7		57.1		60.0		53.3		57.1		60.0				
	品揃えを充実する	6.3		13.3		6.7				13.3		6.7		7.1		6.7				
	情報力を強化する	25.0		33.3		6.7		28.6		26.7		26.7		35.7		33.3				
	新しい事業を始める	12.5		6.7		13.3		7.1		6.7						6.7				
	提携先を見つける			6.7		13.3						6.7				6.7				
	機械化を推進する													14.3						
	人材を確保する	12.5		13.3		13.3				13.3		13.3		14.3		6.7				
	パート化を図る					6.7				6.7		6.7								
	教育訓練を強化する			6.7				14.3		6.7		13.3				6.7				
	流通経路の見直しをする	6.3		6.7		6.7				6.7				14.3		13.3				
	取引先を支援する	6.3		6.7		6.7		7.1				6.7				6.7				
	輸入品の取扱いを増やす	6.3						7.1		6.7		6.7								
	労働条件を改善する	6.3				13.3				6.7		6.7		7.1		6.7				
	不動産の有効活用を図る					6.7				6.7		6.7		7.1						
その他	6.3						14.3													
特になし	12.5		13.3		13.3		14.3		13.3		13.3		7.1		6.7					
有効回答事業所数	16		15		15		14		15		15		14		15					

小売業  
地域名：杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.1

令和3年4月～6月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期	令和元年 7月～9月期		令和元年 10月～12月期		令和元年 1月～3月期		令和2年 4月～6月期		令和2年 7月～9月期		令和2年 10月～12月期		令和3年 1月～3月期		令和3年 4月～6月期		対 前期比	令和3年 7月～9月期		
業 況	良	い	5.6	5.7	2.8	2.9	8.6	5.6	3.0	3.0	5.9	3.1	8.8	2.9	12.1	5.9	6.1	12.1		3.0	
	普	通	66.6	71.4	66.6	73.6	71.4	69.4	30.3	81.8	26.5	37.5	26.5	41.2	36.4	38.2	39.4	30.3		36.4	
	悪	い	27.8	22.9	30.6	23.5	20.0	25.0	66.7	15.2	67.6	59.4	64.7	55.9	51.5	55.9	54.5	57.6		60.6	
	D・I		-22.2	-17.2	-27.8	-20.6	-11.4	-19.4	-63.7	-12.2	-61.7	-56.3	-55.9	-53.0	-39.4	-50.0	-48.4	-45.5		-57.6	
	修	正 値	-22.7	-17.4	-27.4	-24.3	-12.8	-17.4	-59.3	-14.8	-58.8	-51.4	-55.7	-51.7	-44.4	-48.2	-42.7	-48.8	1.7	-51.9	
	傾	向 値	-17.5		-19.8		-20.5		-25.1		-36.2		-44.7		-51.7		-53.3				
売 上 額	増	加	8.3	-	8.3	5.6	8.6	8.3	6.1	14.3	2.9	-	8.8	8.8	12.1	5.9	3.0	6.1		3.0	
	変	ら ず	75.0	80.0	75.0	77.7	74.3	77.8	24.2	71.4	29.4	33.3	26.5	35.3	33.3	41.2	51.5	42.4		48.5	
	減	少	16.7	20.0	16.7	16.7	17.1	13.9	69.7	14.3	67.7	66.7	64.7	55.9	54.6	52.9	45.5	51.5		48.5	
	D・I		-8.4	-20.0	-8.4	-11.1	-8.5	-5.6	-63.6	0.0	-64.8	-66.7	-55.9	-47.1	-42.5	-47.0	-42.5	-45.4		-45.5	
	修	正 値	-9.6	-19.3	-10.1	-15.3	-4.7	-5.1	-59.1	-1.1	-62.2	-61.0	-56.6	-46.6	-43.1	-46.5	-35.9	-47.7	7.2	-34.9	
	傾	向 値	-13.4		-12.9		-11.4		-15.7		-29.3		-42.3		-52.5		-54.1				
収 益	増	加	5.6	-	2.8	2.8	2.9	5.6	6.1	8.6	-	-	8.8	8.8	12.1	5.9	3.0	6.1		3.0	
	変	ら ず	72.2	77.1	72.2	75.0	77.1	75.0	24.2	74.3	32.4	39.4	29.4	38.2	33.3	44.1	48.5	42.4		45.5	
	減	少	22.2	22.9	25.0	22.2	20.0	19.4	69.7	17.1	67.6	60.6	61.8	53.0	54.6	50.0	48.5	51.5		51.5	
	D・I		-16.6	-22.9	-22.2	-19.4	-17.1	-13.8	-63.6	-8.5	-67.6	-60.6	-53.0	-44.2	-42.5	-44.1	-45.5	-45.4		-48.5	
	修	正 値	-18.6	-22.2	-22.8	-23.9	-14.0	-12.8	-59.7	-9.5	-65.8	-55.0	-53.0	-44.4	-44.1	-42.7	-40.2	-47.4	3.9	-40.0	
	傾	向 値	-14.5		-17.1		-18.7		-24.1		-36.3		-46.5		-53.5		-54.4				
価 格 動 向	販	売 価 格	-5.5	2.8	-2.8	-2.7	-14.3	-11.1	-18.2	-8.5	-23.5	-15.2	-5.9	-8.8	-3.1	-5.9	0.0	-12.1		0.0	
	"	修 正 値	-2.4	3.9	-3.1	-1.2	-12.8	-12.0	-16.1	-7.0	-19.6	-12.8	-8.2	-8.4	-3.3	-6.3	0.0	-10.1	3.3	0.9	
	"	傾 向 値	-4.3		-4.0		-4.9		-7.9		-12.5		-15.1		-14.1		-10.4				
	仕	入 価 格	8.3	8.6	5.6	11.1	0.0	5.6	-24.3	0.0	0.0	-15.2	-11.8	5.9	3.0	-5.9	3.0	-3.0		0.0	
	"	修 正 値	9.6	8.5	6.8	11.9	2.9	5.0	-20.7	4.0	-0.4	-11.7	-11.2	4.1	3.1	-6.1	7.0	-0.8	3.9	3.7	
	"	傾 向 値	5.1		4.9		5.6		1.5		-3.6		-6.9		-8.7		-4.9				
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在	庫 数 量	-2.8	5.7	0.0	-5.6	2.9	-8.3	-9.1	-2.8	3.0	-3.0	11.8	0.0	15.2	8.8	18.2	12.2		15.2	
	"	修 正 値	-2.3	4.1	1.0	-4.9	2.9	-7.5	-8.5	-2.7	3.5	-3.5	11.5	0.8	12.1	8.8	18.0	9.9	5.9	13.4	
	資	金 繰 り	-22.2	-20.0	-22.2	-16.6	-17.1	-22.2	-48.4	-20.0	-41.2	-42.5	-44.2	-38.3	-45.5	-41.2	-39.4	-51.6		-39.4	
	"	修 正 値	-19.0	-21.8	-21.5	-15.9	-17.3	-21.9	-46.7	-19.7	-38.7	-40.1	-43.3	-36.8	-46.2	-40.5	-36.0	-51.0	10.2	-35.3	
前 年 同 期 比	売	上 額	-11.1		-16.7		-11.4		-63.6		-55.8		-61.7		-66.6		-33.3				
	収	益	-25.0		-33.3		-20.0		-60.5		-61.8		-58.8		-66.6		-36.4				
	販	売 価 格	-5.5		-5.6		-8.6		-27.3		-20.6		-2.9		-9.1		-6.1				
雇 用	残	業 時 間	0.0	-5.7	-5.6	0.0	0.0	-5.6	-12.2	2.9	-8.9	-15.2	-14.7	-8.9	-24.2	-20.6	-12.1	-18.1		-18.2	
	人	手	-5.5	-11.4	-13.8	-17.1	-11.7	-13.9	-9.4	-20.6	-9.1	-3.1	-14.7	-12.2	-6.1	-20.6	-12.1	-6.0		-3.1	
借 入 金	借	入 を し た / 借 入 の 予 定 あり (%)	8.3	2.9	5.6	0.0	11.4	8.3	18.2	2.9	20.6	18.2	17.6	8.8	12.1	5.9	15.2	9.1		3.0	
	借	入 し な い / 借 入 の 予 定 な し (%)	91.7	97.1	94.4	100.0	88.6	91.7	81.8	97.1	79.4	81.8	82.4	91.2	87.9	94.1	84.8	90.9		97.0	
	借	入 難 易 度	13.0		-4.5		0.0		10.3		7.4		7.4		-8.0		-3.9				
有効回答事業所数			36		36		35		33		34		34		33		33				

項目	調査期	令和元年		令和元年		令和元年		令和2年		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		対 前期比	令和3年 7月～9月期	
		7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期				
設備投資動向(%)	現在の設備	-5.6	-5.9	-5.6	-5.6	-2.9	-5.6	-15.2	-5.9	-5.9	-12.5	-2.9	-5.9	-9.1	-2.9	-9.4	-6.1		-9.4	
	実施した・予定あり	8.8	0.0	5.9	5.9	9.1	2.9	3.0	12.1	5.9	3.0	2.9	5.9	6.3	5.9	6.1	3.2		3.1	
	投資内容																			
	事業用土地・建物	-	-	-	-	33.3	-	-	25.0	50.0	-	-	100.0	-	50.0	-	-	-		-
	事務機器	33.3	-	50.0	50.0	33.3	100.0	100.0	50.0	-	-	100.0	-	100.0	50.0	50.0	100.0		100.0	
	車両	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-		-	
	その他	66.7	-	50.0	50.0	33.3	-	-	25.0	50.0	100.0	-	-	-	-	-	-		-	
	実施しない・予定なし	91.2	100.0	94.1	94.1	90.9	97.1	97.0	87.9	94.1	97.0	97.1	94.1	93.7	94.1	93.9	96.8		96.9	
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	52.8		50.0		45.7		63.6		64.7		70.6		69.7		54.5			
		人手不足	11.1		11.1		20.0		9.1		14.7		11.8		9.1		18.2			
同業者間の競争の激化		19.4		19.4		14.3		30.3		26.5		20.6		24.2		36.4				
大型店との競争の激化		30.6		36.1		34.3		33.3		23.5		26.5		33.3		24.2				
輸入製品との競争の激化		2.8		2.8		2.9		3.0		2.9		2.9		3.0		3.0				
利幅の縮小		19.4		16.7		20.0		18.2		17.6		8.8		15.2		3.0				
取扱商品の陳腐化		2.8		8.3		-		-		-		5.9		3.0		3.0				
販売商品の不足		2.8		-		-		-		2.9		-		-		-				
販売納入先からの値下げ要請		-		-		-		-		-		-		-		-				
仕入先からの値上げ要請		8.3		16.7		14.3		9.1		8.8		5.9		6.1		3.0				
人件費の増加		-		2.8		5.7		3.0		2.9		5.9		6.1		6.1				
人件費以外の経費の増加		-		-		-		-		-		-		-		-				
取引先の減少		-		2.8		5.7		3.0		-		8.8		9.1		6.1				
商圏人口の減少		-		-		-		3.0		-		2.9		6.1		-				
商店街の集客力の低下		25.0		25.0		28.6		12.1		17.6		14.7		18.2		21.2				
店舗の狭小・老朽化		11.1		11.1		11.4		6.1		5.9		5.9		-		9.1				
代金回収の悪化		-		-		-		-		-		-		-		-				
地価の高騰		-		-		-		-		-		5.9		-		-				
駐車場の確保難		-		-		-		-		-		-		-		-				
天候の不順		13.9		8.3		2.9		3.0		8.8		2.9		9.1		3.0				
地場産業の衰退		-		-		-		-		-		-		-		-				
大手企業・工場の縮小・撤退		-		-		-		-		-		-		-		3.0				
その他		-		-		-		12.1		8.8		2.9		9.1		12.1				
問題なし		8.3		5.6		2.9		6.1		-		-		-		-				
重点経営施策(%)		品揃えを改善する	41.7		52.8		37.1		42.4		41.2		35.3		33.3		33.3			
	経費を節減する	27.8		27.8		31.4		36.4		44.1		50.0		39.4		33.3				
	宣伝・広告を強化する	22.2		22.2		14.3		18.2		20.6		29.4		39.4		33.3				
	新しい事業を始める	2.8		2.8		2.9		-		-		2.9		-		-				
	店舗・設備を改装する	8.3		8.3		8.6		12.1		11.8		8.8		9.1		6.1				
	仕入先を開拓・選別する	11.1		11.1		11.4		3.0		2.9		5.9		6.1		3.0				
	営業時間を延長する	-		-		2.9		-		-		-		3.0		-				
	売れ筋商品を取り扱う	25.0		30.6		22.9		21.2		17.6		11.8		21.2		12.1				
	商店街事業を活性化させる	22.2		25.0		22.9		18.2		14.7		14.7		9.1		12.1				
	機械化を推進する	-		-		-		-		-		-		-		3.0				
	人材を確保する	13.9		8.3		14.3		9.1		8.8		11.8		15.2		15.2				
	パート化を図る	2.8		-		8.6		3.0		5.9		-		-		3.0				
	教育訓練を強化する	-		2.8		-		-		2.9		8.8		3.0		-				
	輸入品の取扱いを増やす	-		-		-		-		-		-		-		-				
	不動産の有効活用を図る	-		2.8		2.9		-		5.9		-		3.0		3.0				
	その他	-		-		-		-		-		-		3.0		3.0				
	特になし	8.3		8.3		5.7		12.1		2.9		2.9		3.0		9.1				
有効回答事業所数		36		36		35		33		34		34		33		33				

サービス業  
地域名:杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.1

令和3年4月～6月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期		令和元年		令和元年		令和元年		令和2年		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		対 前期比	令和3年 7月～9月期
	7月～9月期	10月～12月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期				
業 況	良 い	13.9	19.4	14.3	20.6	21.2	14.3	3.1	12.1	3.1	3.2	3.1	3.1	3.1	3.1	6.3	6.3		3.1	
	普 通	72.2	75.0	68.6	70.6	54.6	68.6	40.6	63.7	40.6	48.4	43.8	46.9	59.4	46.9	49.9	56.2		59.4	
	悪 い	13.9	5.6	17.1	8.8	24.2	17.1	56.3	24.2	56.3	48.4	53.1	50.0	37.5	50.0	43.8	37.5		37.5	
	D・I	0.0	13.8	-2.8	11.8	-3.0	-2.8	-53.2	-12.1	-53.2	-45.2	-50.0	-46.9	-34.4	-46.9	-37.5	-31.2		-34.4	
	修 正 値	-3.0	10.4	-2.2	4.5	-2.1	-0.2	-49.9	-10.2	-51.8	-42.4	-49.4	-46.7	-36.3	-45.2	-34.5	-30.9	1.8	-32.2	
	傾 向 値	-2.8		-0.6		-0.4		-7.8		-21.4		-34.0		-43.8		-45.7				
売 上 額	増 加	19.4	21.6	17.1	19.4	18.2	17.1	3.1	12.1	6.3	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	6.3	6.3		3.1	
	変 ら ず	66.7	67.6	60.0	72.3	57.6	62.9	37.5	63.7	31.3	50.0	40.6	50.0	53.1	53.1	49.9	59.3		71.9	
	減 少	13.9	10.8	22.9	8.3	24.2	20.0	59.4	24.2	62.4	46.9	56.3	46.9	43.8	43.8	43.8	34.4		25.0	
	D・I	5.5	10.8	-5.8	11.1	-6.0	-2.9	-56.3	-12.1	-56.1	-43.8	-53.2	-43.8	-40.7	-40.7	-37.5	-28.1		-21.9	
	修 正 値	2.3	6.5	-3.5	7.3	-2.7	0.2	-53.8	-9.7	-55.0	-42.4	-51.6	-42.4	-39.1	-38.5	-34.8	-26.3	4.3	-20.9	
	傾 向 値	3.1		3.4		1.9		-7.3		-23.4		-37.0		-47.2		-49.2				
収 益	増 加	11.1	10.8	14.3	11.1	12.1	11.4	3.1	3.0	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	6.3	3.1		3.1	
	変 ら ず	69.5	83.8	65.7	80.6	63.7	65.7	40.6	75.8	37.5	46.9	40.6	50.0	53.1	53.1	49.9	59.4		71.9	
	減 少	19.4	5.4	20.0	8.3	24.2	22.9	56.3	21.2	59.4	50.0	56.3	46.9	43.8	43.8	43.8	37.5		25.0	
	D・I	-8.3	5.4	-5.7	2.8	-12.1	-11.5	-53.2	-18.2	-56.3	-46.9	-53.2	-43.8	-40.7	-40.7	-37.5	-34.4		-21.9	
	修 正 値	-7.4	1.4	-3.8	0.0	-10.1	-8.8	-51.8	-16.0	-53.1	-45.9	-52.1	-41.6	-39.4	-38.5	-36.2	-32.2	3.2	-22.1	
	傾 向 値	-6.1		-5.0		-5.7		-13.2		-25.8		-37.8		-47.3		-48.9				
価 格 動 向	料 金 価 格	5.6	8.1	2.9	5.6	6.1	5.7	-9.3	3.0	-6.2	-6.2	-9.4	-6.2	-9.4	-3.2	0.0	-9.4		3.1	
	" 修 正 値	6.1	6.3	1.7	4.3	7.0	3.9	-9.4	5.9	-4.0	-6.9	-9.9	-5.4	-8.9	-5.1	-2.0	-6.9	6.9	0.1	
	" 傾 向 値	2.0		2.8		3.6		2.8		-0.2		-3.2		-6.6		-7.4				
	材 料 価 格	16.7	16.2	11.4	19.4	12.1	11.4	-3.1	9.1	15.6	0.0	6.3	15.6	3.1	6.3	6.3	3.1		6.3	
	" 修 正 値	15.1	13.9	12.5	19.5	17.8	12.3	-3.2	10.9	13.2	1.3	6.3	13.0	4.8	6.8	7.3	3.9	2.5	9.4	
	" 傾 向 値	13.1		14.2		14.6		12.0		9.1		8.4		6.6		6.7				
在 庫 ・ 資 金 繰 り	資 金 繰 り	2.7	10.8	5.7	0.0	-6.1	-2.9	-43.8	-9.1	-31.3	-34.4	-21.8	-21.9	-18.8	-9.3	-9.4	-21.9		-6.2	
	" 修 正 値	2.8	5.8	4.0	-1.1	-2.2	-3.6	-43.5	-6.3	-29.4	-34.1	-23.9	-20.8	-18.1	-12.2	-10.5	-19.4	7.6	-7.6	
前 年 同 期 比	売 上 額	-2.8		0.0		-3.0		-59.4		-62.5		-56.3		-53.2		-40.6				
	収 益	-5.5		-8.6		-15.1		-59.4		-62.5		-56.3		-53.2		-40.6				
雇 用	残 業 時 間	2.7	10.8	8.6	5.5	-3.2	0.0	-25.0	0.0	-15.7	-26.7	0.0	-12.5	-18.8	-3.1	-9.4	-15.6		-6.3	
	人 手	-38.9	-35.1	-28.6	-36.1	-25.0	-26.5	-9.3	-24.2	-3.2	-10.0	-6.2	-3.2	6.2	-3.1	0.0	6.2		0.0	
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	13.9	11.1	14.7	13.9	12.1	14.7	25.0	18.2	28.1	16.1	25.0	15.6	21.9	12.5	12.5	15.6		6.3	
	借入しない/借入の予定なし(%)	86.1	88.9	85.3	86.1	87.9	85.3	75.0	81.8	71.9	83.9	75.0	84.4	78.1	87.5	87.5	84.4		93.7	
	借 入 難 易 度	17.2		19.3		17.3		23.1		40.0		32.0		23.1		15.4				
有効回答事業所数	36		35		33		32		32		32		32		32					

サービス業  
地域名:杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.2

令和3年4月～6月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		令和元年		令和元年		令和元年		令和2年		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		対 前期比	令和3年 7月～9月期
	7月～9月期	10月～12月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期				
設備投資動向(%)	現在の設備	-2.8	-2.7	2.9	2.8	0.0	2.9	0.0	0.0	6.3	0.0	3.1	6.3	6.5	3.1	3.1	6.5		3.1	
	実施した・予定あり	13.9	13.9	20.0	11.4	15.2	11.8	12.5	9.4	3.1	13.3	0.0	6.5	3.1	0.0	15.6	3.2		18.8	
	事業用土地・建物	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	機械・設備の新・増設	40.0	20.0	28.6	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	20.0	100.0		16.7	
	機械・設備の更改	40.0	40.0	42.9	50.0	40.0	50.0	25.0	66.7	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	事務機器	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	車両	20.0	40.0	42.9	25.0	60.0	50.0	75.0	33.3	100.0	75.0	-	100.0	-	-	80.0	-		83.3	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
実施しない・予定なし	86.1	86.1	80.0	88.6	84.8	88.2	87.5	90.6	96.9	86.7	100.0	93.5	96.9	100.0	84.4	96.8		81.2		
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	27.8		20.0		30.3		53.1		53.1		53.1		56.3		62.5				
	人手不足	44.4		34.3		30.3		15.6		12.5		18.8		12.5		6.3				
	同業者間の競争の激化	41.7		51.4		36.4		31.3		34.4		31.3		46.9		40.6				
	大企業との競争の激化	8.3		8.6		12.1		6.3		9.4		6.3		9.4		-				
	合理化の不足	2.8		2.9		-		-		3.1		3.1		-		-				
	利幅の縮小	13.9		17.1		21.2		21.9		9.4		6.3		15.6		12.5				
	取扱事務の陳腐化	-		-		3.0		-		-		-		-		-				
	材料価格の上昇	2.8		2.9		6.1		6.3		6.3		6.3		6.3		9.4				
	料金の値下げ要請	2.8		5.7		6.1		-		3.1		3.1		-		-				
	人件費の増加	16.7		11.4		12.1		9.4		12.5		9.4		6.3		9.4				
	人件費以外の経費の増加	2.8		-		-		-		-		-		3.1		3.1				
	技術力の不足	2.8		-		3.0		-		-		-		-		-				
	取引先の減少	-		2.9		-		-		-		3.1		3.1		9.4				
	商圏人口の減少	-		-		-		-		-		-		3.1		-				
	地価の高騰	-		-		-		-		-		-		-		-				
	駐車場の確保難	-		-		-		-		-		-		3.1		-				
	店舗・設備の狭小・老朽化	5.6		8.6		6.1		-		-		-		-		-				
	代金回収の悪化	-		2.9		3.0		3.1		3.1		3.1		-		-				
	天候の不順	2.8		-		-		6.3		6.3		3.1		-		-				
	地場産業の衰退	-		2.9		3.0		-		-		-		-		-				
	大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		-		-		-		-		-		-				
その他	-		-		-		12.5		3.1		15.6		9.4		15.6					
問題なし	11.1		11.4		9.1		9.4		9.4		9.4		9.4		9.4					
重点経営施策(%)	販路を広げる	25.0		28.6		36.4		34.4		46.9		53.1		46.9		50.0				
	経費を節減する	36.1		48.6		45.5		50.0		53.1		53.1		53.1		56.3				
	宣伝・広告を強化する	30.6		20.0		18.2		18.8		21.9		18.8		25.0		31.3				
	新しい事業を始める	-		2.9		3.0		3.1		3.1		6.3		6.3		6.3				
	店舗・設備を改装する	5.6		5.7		6.1		-		-		-		-		-				
	提携先を見つける	11.1		8.6		9.1		6.3		6.3		3.1		6.3		-				
	技術力を強化する	8.3		8.6		15.2		15.6		9.4		6.3		6.3		18.8				
	機械化を推進する	-		-		-		-		-		-		-		-				
	人材を確保する	30.6		22.9		24.2		21.9		15.6		18.8		18.8		12.5				
	パート化を図る	5.6		5.7		3.0		-		-		-		-		-				
	教育訓練を強化する	11.1		11.4		12.1		6.3		6.3		3.1		6.3		3.1				
	労働条件を改善する	5.6		2.9		3.0		3.1		3.1		-		-		-				
	不動産の有効活用を図る	-		-		-		-		-		-		-		-				
その他	-		-		-		3.1		-		-		-		-					
特になし	16.7		17.1		12.1		18.8		18.8		3.1		6.3		6.3					
有効回答事業所数	36		35		33		32		32		32		32		32					

建設業  
地域名：杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.1

令和3年4月～6月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期	令和元年		令和元年		令和元年		令和2年		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		対 前期比	令和3年 7月～9月期
		7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期			
業 況	良	25.9	40.0	26.9	23.1	30.8	24.0	4.0	16.7	3.7	-	3.7	3.7	4.0	7.4	19.2	4.2		3.8
	普	70.4	56.0	73.1	69.2	61.5	64.0	36.0	75.0	66.7	50.0	63.0	63.0	48.0	48.2	53.9	45.8		53.9
	悪	3.7	4.0	-	7.7	7.7	12.0	60.0	8.3	29.6	50.0	33.3	33.3	48.0	44.4	26.9	50.0		42.3
	D・I	22.2	36.0	26.9	15.4	23.1	12.0	-56.0	8.4	-25.9	-50.0	-29.6	-29.6	-44.0	-37.0	-7.7	-45.8		-38.5
	修正値	<b>27.7</b>	<b>39.5</b>	<b>24.2</b>	<b>19.1</b>	<b>19.7</b>	<b>13.4</b>	<b>-51.6</b>	<b>4.0</b>	<b>-20.4</b>	<b>-45.1</b>	<b>-30.4</b>	<b>-24.9</b>	<b>-44.2</b>	<b>-34.1</b>	<b>-2.3</b>	<b>-47.3</b>	<b>41.9</b>	<b>-32.9</b>
	傾向値	15.7		18.6		21.2		13.6		-2.0		-15.0		-30.5		-32.8			
売 上 額	増	22.2	32.0	26.9	18.5	34.6	26.9	-	19.2	3.7	4.0	14.8	14.8	3.7	3.7	19.2	22.2		19.2
	変	66.7	60.0	69.3	74.1	57.7	61.6	32.0	65.4	63.0	48.0	51.9	59.3	55.6	51.9	50.0	37.0		46.2
	減	11.1	8.0	3.8	7.4	7.7	11.5	68.0	15.4	33.3	48.0	33.3	25.9	40.7	44.4	30.8	40.8		34.6
	D・I	11.1	24.0	23.1	11.1	26.9	15.4	-68.0	3.8	-29.6	-44.0	-18.5	-11.1	-37.0	-40.7	-11.6	-18.6		-15.4
	修正値	<b>14.3</b>	<b>31.4</b>	<b>24.6</b>	<b>12.0</b>	<b>18.7</b>	<b>12.3</b>	<b>-63.8</b>	<b>2.9</b>	<b>-25.5</b>	<b>-37.3</b>	<b>-18.3</b>	<b>-9.7</b>	<b>-40.1</b>	<b>-39.8</b>	<b>-0.8</b>	<b>-20.4</b>	<b>39.3</b>	<b>-8.7</b>
	傾向値	19.3		17.9		18.4		8.8		-6.8		-17.1		-30.3		-31.2			
受 注 残	増	25.9	36.0	30.8	25.9	26.9	19.2	-	11.5	7.4	8.0	18.5	11.1	7.4	3.7	19.2	22.2		15.4
	変	66.7	60.0	61.5	66.7	65.4	73.1	36.0	73.1	55.6	48.0	48.2	55.6	51.9	51.9	57.7	40.8		50.0
	減	7.4	4.0	7.7	7.4	7.7	7.7	64.0	15.4	37.0	44.0	33.3	33.3	40.7	44.4	23.1	37.0		34.6
	D・I	18.5	32.0	23.1	18.5	19.2	11.5	-64.0	-3.9	-29.6	-36.0	-14.8	-22.2	-33.3	-40.7	-3.9	-14.8		-19.2
	修正値	<b>20.2</b>	<b>34.8</b>	<b>23.3</b>	<b>19.9</b>	<b>14.3</b>	<b>9.4</b>	<b>-60.3</b>	<b>-2.4</b>	<b>-25.7</b>	<b>-30.2</b>	<b>-15.5</b>	<b>-19.9</b>	<b>-35.1</b>	<b>-39.2</b>	<b>1.8</b>	<b>-15.8</b>	<b>36.9</b>	<b>-15.5</b>
	傾向値	24.3		23.3		22.3		10.7		-6.8		-17.6		-28.9		-27.9			
施 工 高	増	18.5	20.0	26.9	18.5	30.8	15.4	4.0	15.4	7.4	-	18.5	18.5	7.4	7.4	19.2	18.5		15.4
	変	74.1	72.0	69.3	74.1	61.5	76.9	40.0	69.2	59.3	60.0	55.6	55.6	55.6	59.3	57.7	51.9		53.8
	減	7.4	8.0	3.8	7.4	7.7	7.7	56.0	15.4	33.3	40.0	25.9	25.9	37.0	33.3	23.1	29.6		30.8
	D・I	11.1	12.0	23.1	11.1	23.1	7.7	-52.0	0.0	-25.9	-40.0	-7.4	-7.4	-29.6	-25.9	-3.9	-11.1		-15.4
	修正値	<b>12.7</b>	<b>17.5</b>	<b>22.9</b>	<b>13.4</b>	<b>16.2</b>	<b>4.1</b>	<b>-45.9</b>	<b>0.0</b>	<b>-22.5</b>	<b>-33.4</b>	<b>-9.7</b>	<b>-6.2</b>	<b>-32.4</b>	<b>-26.6</b>	<b>6.2</b>	<b>-13.4</b>	<b>38.6</b>	<b>-8.0</b>
	傾向値	16.3		14.9		15.4		8.8		-3.3		-11.7		-22.1		-22.7			
収 益	増	18.5	28.0	30.8	18.5	15.4	19.2	-	11.5	3.7	4.0	18.5	14.8	11.1	3.7	19.2	14.8		11.5
	変	66.7	68.0	61.5	70.4	73.1	65.4	44.0	69.3	59.3	56.0	48.2	55.6	51.9	55.6	53.9	51.9		57.7
	減	14.8	4.0	7.7	11.1	11.5	15.4	56.0	19.2	37.0	40.0	33.3	29.6	37.0	40.7	26.9	33.3		30.8
	D・I	3.7	24.0	23.1	7.4	3.9	3.8	-56.0	-7.7	-33.3	-36.0	-14.8	-14.8	-25.9	-37.0	-7.7	-18.5		-19.3
	修正値	<b>6.9</b>	<b>30.8</b>	<b>20.2</b>	<b>5.0</b>	<b>3.5</b>	<b>2.4</b>	<b>-52.0</b>	<b>-5.1</b>	<b>-29.3</b>	<b>-30.1</b>	<b>-17.7</b>	<b>-17.6</b>	<b>-25.9</b>	<b>-35.5</b>	<b>-2.5</b>	<b>-16.8</b>	<b>23.4</b>	<b>-14.0</b>
	傾向値	12.3		12.0		12.7		3.2		-11.0		-20.3		-28.8		-26.5			
価 格 動 向	請負価格	11.1	12.0	3.9	7.4	15.4	-3.9	-28.0	11.5	-18.5	-20.0	-7.4	-3.7	-11.1	-11.1	0.0	-18.5		-7.7
	修正値	<b>9.0</b>	<b>12.9</b>	<b>7.6</b>	<b>8.4</b>	<b>16.8</b>	<b>-2.8</b>	<b>-26.2</b>	<b>12.1</b>	<b>-19.2</b>	<b>-19.4</b>	<b>-5.4</b>	<b>-5.0</b>	<b>-11.5</b>	<b>-8.4</b>	<b>-0.4</b>	<b>-17.3</b>	<b>11.1</b>	<b>-7.8</b>
	傾向値	7.5		6.4		8.2		5.6		-3.1		-8.2		-12.9		-12.8			
	材料価格	37.0	40.0	46.2	29.6	42.3	42.3	0.0	27.0	7.4	0.0	22.2	7.4	7.4	14.8	-3.8	7.4		-7.7
	修正値	<b>41.5</b>	<b>39.2</b>	<b>49.2</b>	<b>34.9</b>	<b>38.8</b>	<b>43.7</b>	<b>4.7</b>	<b>25.5</b>	<b>12.6</b>	<b>2.5</b>	<b>22.6</b>	<b>13.3</b>	<b>3.5</b>	<b>14.7</b>	<b>0.3</b>	<b>3.2</b>	<b>-3.2</b>	<b>-4.4</b>
	傾向値	34.0		37.3		40.1		35.9		27.7		21.0		13.6		8.8			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在庫数量	-3.7	-8.3	-3.9	0.0	-7.7	-3.9	-20.0	-7.7	-11.1	-12.0	-3.7	-11.1	-3.7	3.7	-3.9	-3.7		-3.9
	修正値	<b>-2.6</b>	<b>-7.2</b>	<b>-2.1</b>	<b>-2.0</b>	<b>-5.1</b>	<b>-3.5</b>	<b>-19.0</b>	<b>-8.1</b>	<b>-9.7</b>	<b>-9.0</b>	<b>-4.1</b>	<b>-11.6</b>	<b>-2.4</b>	<b>2.4</b>	<b>-2.9</b>	<b>-3.8</b>	<b>-0.5</b>	<b>0.4</b>
	資金繰り	0.0	4.0	3.9	-3.7	3.9	-3.9	-28.0	-3.9	-11.1	-16.0	-7.4	-11.1	0.0	0.0	7.7	-3.7		3.8
	修正値	<b>6.3</b>	<b>2.6</b>	<b>2.1</b>	<b>1.9</b>	<b>2.9</b>	<b>-7.1</b>	<b>-25.5</b>	<b>-4.7</b>	<b>-7.7</b>	<b>-15.2</b>	<b>-10.0</b>	<b>-7.8</b>	<b>-5.0</b>	<b>-4.9</b>	<b>8.5</b>	<b>-6.6</b>	<b>13.5</b>	<b>2.2</b>
前 年 同 期 比	売上額	14.8		23.1		15.4		-64.0		-29.6		-25.9		-33.4		-11.6			
	収益	7.4		19.2		0.0		-56.0		-29.6		-14.8		-22.3		-15.4			
雇 用	残業時間	-22.2	0.0	3.8	-18.5	3.8	0.0	-36.0	4.2	-14.8	-20.8	3.7	-4.0	0.0	3.7	0.0	0.0		7.7
	人手	-44.4	-16.0	-34.6	-40.7	-38.5	-28.0	-20.0	-47.8	-18.5	-25.0	-18.5	-28.0	-11.1	-18.5	-7.7	-14.8		-19.3
借 入 金	借入をし/借入の予定あり(%)	14.8	24.0	30.8	33.3	38.5	30.8	32.0	24.0	48.1	45.8	46.2	26.9	25.9	23.1	23.1	7.4		8.0
	借入しない/借入の予定なし(%)	85.2	76.0	69.2	66.7	61.5	69.2	68.0	76.0	51.9	54.2	53.8	73.1	74.1	76.9	76.9	92.6		92.0
	借入難易度	<b>4.0</b>		<b>8.3</b>		<b>20.0</b>		<b>8.4</b>		<b>11.5</b>		<b>19.2</b>		<b>7.7</b>		<b>12.0</b>			
有効回答事業所数		27		26		26		26		27		27		27		27			

建設業  
地域名：杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.2

令和3年4月～6月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		令和元年		令和元年		令和元年		令和2年		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		対 前期比	令和3年 7月～9月期
	7月～9月期	10月～12月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期				
現在の設備	-7.7	0.0	-4.0	-3.8	-4.2	0.0	-8.0	-4.3	-7.4	-8.0	-3.8	-7.4	0.0	-3.8	0.0	0.0				0.0
実施した・予定あり	20.0	22.7	24.0	15.4	21.7	20.8	20.0	30.4	22.2	16.0	18.5	18.5	18.5	18.5	19.2	14.8				15.4
事業用土地・建物	-	20.0	16.7	-	40.0	20.0	-	28.6	16.7	-	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	25.0				25.0
機械・設備の新・増設	20.0	40.0	33.3	50.0	60.0	20.0	20.0	42.9	16.7	25.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	25.0				25.0
機械・設備の更改	40.0	20.0	33.3	50.0	20.0	40.0	40.0	14.3	50.0	50.0	60.0	40.0	20.0	40.0	40.0	25.0				50.0
事務機器	40.0	40.0	16.7	-	20.0	40.0	60.0	42.9	16.7	25.0	20.0	40.0	-	40.0	20.0	25.0				50.0
車両	20.0	-	50.0	50.0	20.0	40.0	20.0	42.9	50.0	50.0	40.0	40.0	60.0	20.0	40.0	50.0				25.0
その他	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				-
実施しない・予定なし	80.0	77.3	76.0	84.6	78.3	79.2	80.0	69.6	77.8	84.0	81.5	81.5	81.5	81.5	80.8	85.2				84.6
売上の停滞・減少	11.1		15.4		23.1		34.6		37.0		40.7		44.4		37.0					
人手不足	48.1		50.0		50.0		34.6		29.6		25.9		29.6		18.5					
大手企業との競争の激化	14.8		11.5		11.5		11.5		11.1		11.1		14.8		18.5					
同業者間の競争の激化	14.8		26.9		23.1		26.9		33.3		37.0		44.4		33.3					
親企業による選別の強化	-		-		-		-		-		-		-		3.7					
合理化の不足	-		-		-		7.7		3.7		3.7		3.7		7.4					
利幅の縮小	3.7		15.4		7.7		15.4		18.5		14.8		14.8		14.8					
材料価格の上昇	14.8		34.6		30.8		19.2		22.2		22.2		18.5		25.9					
下請の確保難	22.2		23.1		23.1		19.2		7.4		7.4		11.1		11.1					
駐車場・資材置場の確保難	-		-		3.8		-		-		-		-		-					
人件費の増加	14.8		7.7		15.4		23.1		25.9		29.6		22.2		18.5					
人件費以外の経費の増加	-		3.8		-		-		3.7		-		-		-					
技術力の不足	-		-		-		-		-		7.4		-		7.4					
代金回収の悪化	-		-		-		-		-		-		-		-					
天候の不順	18.5		7.7		7.7		3.8		3.7		-		3.7		3.7					
地場産業の衰退	-		-		3.8		-		-		7.4		-		-					
大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		-		-		-		-		-		-					
その他	3.7		3.8		-		11.5		7.4		3.7		-		3.7					
問題なし	14.8		15.4		11.5		7.7		7.4		7.4		14.8		14.8					
販路を広げる	22.2		30.8		38.5		38.5		37.0		29.6		37.0		33.3					
経費を節減する	44.4		50.0		53.8		42.3		44.4		51.9		51.9		55.6					
情報力を強化する	11.1		15.4		11.5		7.7		14.8		14.8		18.5		22.2					
新しい工法を導入する	7.4		7.7		7.7		11.5		14.8		18.5		22.2		7.4					
新しい事業を始める	-		-		-		3.8		-		-		-		-					
技術力を高める	14.8		23.1		26.9		19.2		25.9		33.3		25.9		18.5					
人材を確保する	63.0		50.0		46.2		38.5		40.7		40.7		37.0		33.3					
パート化を図る	-		-		-		-		-		3.7		-		-					
教育訓練を強化する	-		11.5		3.8		15.4		11.1		14.8		14.8		11.1					
労働条件を改善する	18.5		7.7		15.4		11.5		3.7		14.8		7.4		7.4					
不動産の有効活用を図る	3.7		3.8		7.7		-		3.7		3.7		7.4		3.7					
その他	3.7		3.8		-		3.8		-		-		-		-					
特になし	11.1		11.5		7.7		7.7		7.4		3.7		7.4		11.1					
有効回答事業所数	27		26		26		26		27		27		27		27					



不動産業  
地域名: 杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.1

令和3年4月～6月期

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		令和元年		令和元年		令和元年		令和2年		令和2年		令和2年		令和3年		令和3年		対 前期比	令和3年 7月～9月期	
	7月～9月期	10月～12月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期					
業 況	良 い	22.2	17.6	27.8	5.6	22.2	5.9	5.6	-	5.9	-	5.6	5.9	11.1	-	5.6	5.6			5.6	
	普 通	72.2	70.6	50.0	83.3	72.2	82.3	38.9	94.4	70.6	41.2	66.6	70.6	72.2	77.8	77.7	72.2			83.3	
	悪 い	5.6	11.8	22.2	11.1	5.6	11.8	55.5	5.6	23.5	58.8	27.8	23.5	16.7	22.2	16.7	22.2			11.1	
	D・I	16.6	5.8	5.6	-5.5	16.6	-5.9	-49.9	-5.6	-17.6	-58.8	-22.2	-17.6	-5.6	-22.2	-11.1	-16.6			-5.5	
	修正値	<b>20.1</b>	<b>8.0</b>	<b>8.9</b>	<b>-1.4</b>	<b>7.6</b>	<b>-7.1</b>	<b>-43.1</b>	<b>-7.4</b>	<b>-15.8</b>	<b>-54.8</b>	<b>-21.2</b>	<b>-14.6</b>	<b>-14.0</b>	<b>-23.4</b>	<b>1.8</b>	<b>-19.9</b>	<b>15.8</b>			<b>0.3</b>
	傾向値	17.8		13.7		10.8		3.5		-7.1		-14.8		-21.1		-19.0					
売 上 額	増 加	22.2	17.6	22.2	5.6	22.2	16.7	16.7	5.6	11.8	11.1	5.9	-	11.1	11.1	-	5.6			5.6	
	変 ら ず	66.7	64.8	55.6	88.8	66.7	61.1	22.2	88.8	58.8	33.3	58.8	70.6	61.1	66.7	61.1	61.1			66.6	
	減 少	11.1	17.6	22.2	5.6	11.1	22.2	61.1	5.6	29.4	55.6	35.3	29.4	27.8	22.2	38.9	33.3			27.8	
	D・I	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	-5.5	-44.4	0.0	-17.6	-44.5	-29.4	-29.4	-16.7	-11.1	-38.9	-27.7			-22.2	
	修正値	<b>13.0</b>	<b>7.0</b>	<b>-2.0</b>	<b>2.2</b>	<b>4.5</b>	<b>-6.7</b>	<b>-36.0</b>	<b>-2.3</b>	<b>-16.1</b>	<b>-36.6</b>	<b>-28.7</b>	<b>-26.6</b>	<b>-21.9</b>	<b>-13.4</b>	<b>-28.1</b>	<b>-30.6</b>	<b>-6.2</b>			<b>-13.1</b>
	傾向値	22.3		15.6		10.7		2.1		-9.1		-16.4		-23.6		-26.3					
収 益	増 加	22.2	17.6	22.2	-	22.2	16.7	11.1	11.1	5.9	11.1	5.6	-	-	11.1	-	5.6			5.6	
	変 ら ず	61.1	64.8	50.0	94.4	66.7	61.1	38.9	83.3	70.6	50.0	61.1	70.6	72.2	66.7	61.1	61.1			66.6	
	減 少	16.7	17.6	27.8	5.6	11.1	22.2	50.0	5.6	23.5	38.9	33.3	29.4	27.8	22.2	38.9	33.3			27.8	
	D・I	5.5	0.0	-5.6	-5.6	11.1	-5.5	-38.9	5.5	-17.6	-27.8	-27.7	-29.4	-27.8	-11.1	-38.9	-27.7			-22.2	
	修正値	<b>8.8</b>	<b>7.3</b>	<b>-7.9</b>	<b>-5.1</b>	<b>5.2</b>	<b>-5.8</b>	<b>-31.0</b>	<b>1.5</b>	<b>-15.0</b>	<b>-19.7</b>	<b>-27.0</b>	<b>-26.6</b>	<b>-30.6</b>	<b>-12.1</b>	<b>-30.7</b>	<b>-31.5</b>	<b>-0.1</b>			<b>-16.0</b>
	傾向値	22.9		14.1		7.9		0.0		-9.9		-15.5		-23.1		-28.0					
価 格 動 向	販売価格	5.5	-11.8	0.0	5.5	11.1	5.6	-22.2	0.0	-18.8	-11.1	-11.1	-18.8	-11.1	-11.1	-5.5	-11.1			0.0	
	修正値	<b>5.4</b>	<b>-9.6</b>	<b>2.5</b>	<b>7.2</b>	<b>11.3</b>	<b>5.0</b>	<b>-17.8</b>	<b>4.1</b>	<b>-17.7</b>	<b>-8.8</b>	<b>-9.0</b>	<b>-18.1</b>	<b>-12.8</b>	<b>-11.4</b>	<b>-1.6</b>	<b>-9.7</b>	<b>11.2</b>		<b>2.2</b>	
	傾向値	9.3		6.5		5.7		2.1		-4.4		-8.9		-13.0		-13.7					
	仕入価格	11.1	-5.9	0.0	11.1	16.7	0.0	-11.1	11.1	-12.5	-11.1	0.0	-12.5	0.0	0.0	16.6	0.0			11.1	
	修正値	<b>15.6</b>	<b>-3.2</b>	<b>4.4</b>	<b>13.3</b>	<b>17.1</b>	<b>2.6</b>	<b>-8.9</b>	<b>12.2</b>	<b>-9.0</b>	<b>-7.5</b>	<b>1.4</b>	<b>-11.7</b>	<b>-1.0</b>	<b>0.5</b>	<b>16.7</b>	<b>0.2</b>	<b>17.7</b>		<b>14.5</b>	
	傾向値	21.2		17.2		13.5		8.3		1.2		-1.7		-3.8		-2.4					
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在庫数量	-5.6	-5.8	-22.2	-27.8	-22.2	-16.6	-16.7	-22.2	-29.4	-16.7	-17.6	-29.4	-11.1	-23.5	-22.2	-11.1			-22.2	
	修正値	<b>-5.0</b>	<b>-9.2</b>	<b>-22.8</b>	<b>-23.0</b>	<b>-20.0</b>	<b>-15.8</b>	<b>-17.6</b>	<b>-23.9</b>	<b>-26.5</b>	<b>-18.9</b>	<b>-17.3</b>	<b>-23.3</b>	<b>-10.8</b>	<b>-22.1</b>	<b>-21.3</b>	<b>-13.5</b>	<b>-10.5</b>		<b>-22.4</b>	
	資金繰り	0.0	5.9	-5.6	-5.5	0.0	-5.6	0.0	0.0	-5.9	-5.6	-5.6	0.0	11.1	-5.6	0.0	11.1			0.0	
修正値	<b>4.8</b>	<b>7.4</b>	<b>-3.9</b>	<b>-0.4</b>	<b>-2.4</b>	<b>-6.0</b>	<b>-2.4</b>	<b>-2.6</b>	<b>-0.8</b>	<b>-5.5</b>	<b>-3.4</b>	<b>4.3</b>	<b>8.0</b>	<b>-4.6</b>	<b>-1.5</b>	<b>6.2</b>	<b>-9.5</b>		<b>1.1</b>		
前 年 同 期 比	売上額	-5.5		-16.6		5.5		-33.4		-29.4		-49.9		-44.4		-38.9					
	収 益	-5.5		-16.6		-5.5		-27.8		-41.2		-44.4		-44.4		-38.9					
雇 用	残業時間	0.0	0.0	-5.5	-5.5	5.6	0.0	-33.3	0.0	0.0	-16.6	-11.1	0.0	-16.7	-11.1	-16.7	-11.1			-16.7	
	人 手	-16.6	-11.8	-11.1	-22.2	-27.7	-16.6	-17.6	-27.7	-17.6	-17.6	-11.1	-17.6	-22.2	-16.6	-16.7	-16.7			-11.1	
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	33.3	35.3	33.3	38.9	38.9	33.3	27.8	27.8	47.1	33.3	38.9	17.6	22.2	16.7	33.3	22.2			27.8	
	借入しない/借入の予定なし(%)	66.7	64.7	66.7	61.1	61.1	66.7	72.2	72.2	52.9	66.7	61.1	82.4	77.8	83.3	66.7	77.8			72.2	
	借入難易度	<b>0.0</b>		<b>5.8</b>		<b>13.4</b>		<b>26.7</b>		<b>21.4</b>		<b>12.5</b>		<b>18.8</b>		<b>25.0</b>					
有効回答事業所数	18		18		18		18		18		18		18		18						

不動産業  
地域名：杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.2

令和3年4月～6月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期	令和元年	令和元年	令和元年	令和2年	令和2年	令和2年	令和3年	令和3年	対 前期比	令和3年
		7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期		7月～9月期
経営上の 問題点 (%)	売上の停滞・減少	27.8	22.2	11.1	27.8	16.7	27.8	33.3	27.8		
	人手不足	16.7	22.2	16.7	11.1	16.7	11.1	5.6	-		
	大手企業との競争の激化	11.1	11.1	5.6	11.1	5.6	11.1	16.7	5.6		
	同業者間の競争の激化	44.4	55.6	66.7	66.7	55.6	50.0	50.0	44.4		
	利幅の縮小	5.6	16.7	22.2	27.8	27.8	22.2	11.1	16.7		
	商品物件の不足	33.3	27.8	27.8	16.7	16.7	16.7	16.7	27.8		
	商品物件の高騰	33.3	16.7	11.1	5.6	5.6	5.6	11.1	11.1		
	人件費の増加	11.1	11.1	11.1	5.6	5.6	11.1	11.1	11.1		
	人件費以外の経費の増加	-	5.6	11.1	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6		
	代金回収の悪化	-	-	-	11.1	11.1	5.6	5.6	-		
	その他	5.6	5.6	5.6	5.6	-	5.6	5.6	5.6		
	問題なし	11.1	5.6	5.6	-	11.1	16.7	22.2	22.2		
重点経営 施策 (%)	販路を広げる	27.8	22.2	33.3	33.3	27.8	33.3	33.3	27.8		
	経費を節減する	22.2	27.8	33.3	44.4	38.9	22.2	38.9	33.3		
	宣伝・広告を強化する	27.8	50.0	44.4	50.0	27.8	33.3	44.4	16.7		
	情報力を強化する	55.6	44.4	50.0	50.0	44.4	38.9	27.8	27.8		
	新しい事業を始める	5.6	16.7	-	-	-	5.6	-	5.6		
	提携先を見つける	11.1	5.6	5.6	5.6	11.1	5.6	-	5.6		
	機械化を推進する	-	-	-	-	5.6	5.6	-	-		
	人材を確保する	11.1	22.2	27.8	22.2	16.7	16.7	11.1	16.7		
	パート化を図る	-	-	5.6	5.6	5.6	5.6	-	-		
	教育訓練を強化する	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	11.1	-		
	労働条件を改善する	-	-	-	11.1	11.1	11.1	-	-		
	不動産の有効活用を図る	11.1	16.7	16.7	5.6	16.7	11.1	27.8	33.3		
その他	-	-	-	5.6	-	-	-	5.6			
特になし	11.1	5.6	-	-	-	11.1	5.6	-			
有効回答事業所数	18	18	18	18	18	18	18	18			

---

## 杉並区 中小企業の景況

令和3年度第1四半期（令和3年4月～6月）

令和3年8月 発行

登録印刷物番号
---------

03-0015 (2)
-------------

【発行】 杉並区 産業振興センター  
杉並区上荻 1-2-1 Daiwa 荻窪タワー2 階  
TEL：03（5347）9077

【調査機関】 一般社団法人 東京都信用金庫協会  
中央区京橋 3-8-1 信用金庫会館 京橋別館 12F  
TEL：03（6228）8556

【分析委託業者】 株式会社 サーベイリサーチセンター

---